【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2024年6月14日提出
【計算期間】	野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型 第27特定期間 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型 第27期 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型 第27特定期間 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型 第27期 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型 第27特定期間 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型 第27期 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型 第27特定期間 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型 第27期 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型 第25特定期間 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型 第25期 (自 2023年9月21日至 2024年3月21日)
【ファンド名】	野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型 野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	ＣＥＯ兼代表取締役社長 小池　広靖
【本店の所在の場所】	東京都江東区豊洲二丁目２番１号
【事務連絡者氏名】	松井　秀仁
【連絡場所】	東京都江東区豊洲二丁目２番１号
【電話番号】	03-6387-5000
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第１【ファンドの状況】

１【ファンドの性格】

（１）【ファンドの目的及び基本的性格】

[1]世界各国のインフラ関連企業※1の株式、および米国の金融商品取引所に上場されているMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)※2等を実質的な主要投資対象※3とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。なお、カナダの金融商品取引所に上場されているインカム・トラスト※4にも実質的に投資を行ないます。

世界各国のインフラ関連企業の株式、および、米国の金融商品取引所に上場されているMLP等を主要投資対象とする円建ての外国投資信託と、円建ての国内籍の投資信託である「野村マネー　マザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

※1　当ファンドにおいて「インフラ関連企業」とは、産業や生活の基盤となる設備やサービスの提供を行なう企業や、インフラの発展に伴って恩恵を受けると考えられる企業をいいます。

※2　当ファンドが実質的に投資を行なうMLPは、米国で行われている共同投資事業形態の一つであるLP(リミテッド・パートナーシップ)のうち、総所得の90%以上を天然資源の探査・採掘・精製・運搬・備蓄、金利、配当等から得ており、かつ、その出資持分が金融商品取引所に上場されているものを指します。

※3　「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー　マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

※4　インカム・トラストとは、カナダの法律に基づき、信託の形態で設立された事業体のことをいい、その受益証券は、株式と同様に金融商品取引所等で取引されています。

[2]「野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託における為替取引手法の異なるコースから構成されています。各コースには「毎月分配型」および「年2回決算型」があります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	組入資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
米ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行ないません。
豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、豪ドルを買う為替取引を行ないます。
ブラジルレアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、ブラジルレアルを買う為替取引を行ないます。
通貨セレクトコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、選定通貨※（米ドルを除く）を買う為替取引を行ないます。

※　選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した通貨を指します。
詳細は、後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご覧ください。

[3]分配頻度の異なる「毎月分配型」と「年2回決算型」があります。

○毎月分配型

毎月原則20日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行ない、毎期分配します。

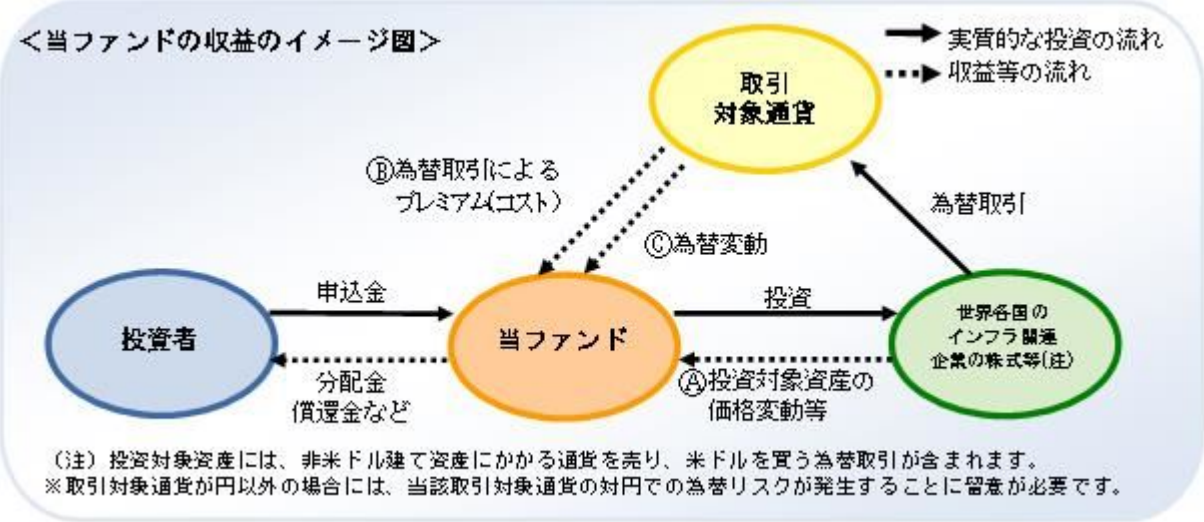
○年2回決算型

年2回、原則として3月および9月の各20日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行ない、毎

期分配します。

■当ファンドの収益のイメージ■

●当ファンドは、投資対象資産の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行なっております。



●各コースの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。（括弧内は、損失やコストの発生要因を表します。）

Ⓐ　Ⓑ　Ⓒ

◆豪ドルコース、ブラジルレアルコース、通貨セレクトコース

収益の源泉 ＝ 投資対象資産の利子・配当等収入 値上がり(値下がり) ＋ 為替取引による プレミアム(コスト) ＋ 為替差益(差損)

◆円コース

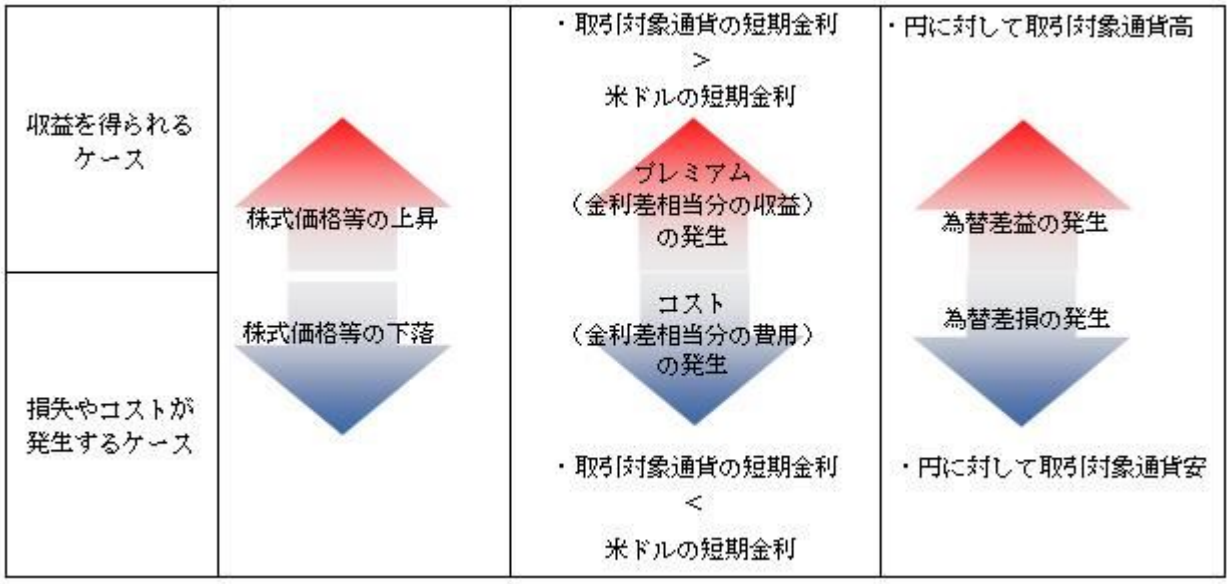
収益の源泉 ＝ 投資対象資産の利子・配当等収入 値上がり(値下がり) ＋ 為替取引による プレミアム（コスト） ＋ 収益源となりません ※1

◆米ドルコース

収益の源泉 ＝ 投資対象資産の利子・配当等収入 値上がり(値下がり) ＋ 収益源となりません ＋ 為替差益(差損) ※2

※1　円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※2　米ドルコースでは、原則として対円で為替ヘッジを行なわないため、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。



※取引対象通貨が新興国通貨の場合などは、為替取引によるプレミアム／コストに短期金利差がそのまま反映されない場合があります。
※市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

■信託金の限度額■

信託金限度額は、各ファンドにつき各々2兆円です。ただし、受託者と合意のうえ、当該信託金限度額を変更することができます。

＜商品分類＞

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類は以下の通りです。
なお、ファンドに該当する商品分類及び属性区分は下記の表中に網掛け表示しております。

(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型)

《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型 追加型	国　内 海　外 内　外	株　式 債　券 不動産投信 その他資産 （　）
		資産複合

《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ

株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 （　）	年1回 年2回 年4回 年6回 (隔月) 年12回 (毎月) 日々 その他 （　）	グローバル (日本を含む) 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 (中東) エマージング	ファミリーファンド ファンド・オブ・ファンズ	あり (フルヘッジ) なし
不動産投信 その他資産 (投資信託証券(資産複合(株式、その他資産)　資産配分変更型)) 資産複合 (　) 資産配分固定型 資産配分変更型				

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産(その他資産(投資信託証券))と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産(資産複合)とが異なります。

(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型)
(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型)
(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型)
(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型)

《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型 追加型	国　内 海　外 内　外	株　式 債　券 不動産投信 その他資産 (　) 資産複合

《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ

株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 （　）	年1回 年2回 年4回 年6回 （隔月） 年12回 （毎月） 日々 その他 （　）	グローバル （日本を含む） 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 （中東） エマージング	ファミリーファンド	あり （　）
不動産投信 その他資産 （投資信託証券（資産複合（株式、その他資産）　資産配分変更型）） 資産複合 （　） 資産配分固定型 資産配分変更型			ファンド・オブ・ファンズ	なし

各ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産(その他資産(投資信託証券))と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産(資産複合)とが異なります。

(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)年2回決算型)

《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単位型 追加型	国　内 海　外 内　外	株　式 債　券 不動産投信 その他資産 （　） 資産複合

《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ

株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 （　）	年1回 年2回 年4回 年6回 （隔月） 年12回 （毎月） 日々 その他 （　）	グローバル （日本を含む） 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 （中東） エマージング	ファミリーファンド ファンド・オブ・ファンズ	あり （フルヘッジ） なし
不動産投信 その他資産 （投資信託証券（資産複合（株式、その他資産）　資産配分変更型）） 資産複合 （　） 資産配分固定型 資産配分変更型				

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産(その他資産(投資信託証券))と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産(資産複合)とが異なります。

(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型)
(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)年2回決算型)
(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型)
(野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型)

《商品分類表》

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 （収益の源泉）
単位型 追加型	国　内 海　外 内　外	株　式 債　券 不動産投信 その他資産 （　） 資産複合

《属性区分表》

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ

株式 一般 大型株 中小型株 債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 （　）	年1回 年2回 年4回 年6回 (隔月) 年12回 (毎月) 日々 その他 （　）	グローバル (日本を含む) 日本 北米 欧州 アジア オセアニア 中南米 アフリカ 中近東 (中東) エマージング	ファミリーファンド	あり （　）
不動産投信 その他資産 (投資信託証券(資産複合(株式、その他資産)　資産配分変更型)) 資産複合 （　） 資産配分固定型 資産配分変更型			ファンド・オブ・ファンズ	なし

各ファンドは、ファンド・オブ・ファンズです。このため、組入れている資産を示す属性区分上の投資対象資産(その他資産(投資信託証券))と収益の源泉となる資産を示す商品分類上の投資対象資産(資産複合)とが異なります。

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

上記、商品分類及び属性区分の定義については、下記をご覧ください。
なお、下記一般社団法人投資信託協会のホームページでもご覧頂けます。
《一般社団法人投資信託協会インターネットホームページアドレス》　http://www.toushin.or.jp/

◆一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（2023年1月19日現在）

＜商品分類表定義＞
［単位型投信・追加型投信の区分］
(1)単位型投信…当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われないファンドをいう。
(2)追加型投信…一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいう。
［投資対象地域による区分］
(1)国内…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(2)海外…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(3)内外…目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。
［投資対象資産による区分］
(1)株式…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(2)債券…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(3)不動産投信(リート)…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。

(4)その他資産…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。

(5)資産複合…目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

［独立した区分］

(1)MMF(マネー・マネージメント・ファンド)…MRF及びMMFの運営に関する規則（以下「MRF等規則」という。）に定めるMMFをいう。

(2)MRF(マネー・リザーブ・ファンド)…MRF等規則に定めるMRFをいう。

(3)ETF…投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号)第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

［補足分類］

(1)インデックス型…目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。

(2)特殊型…目論見書又は投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、下記の属性区分で特殊型の小分類において「条件付運用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

＜属性区分表定義＞

［投資対象資産による属性区分］

株式

(1)一般…次の大型株、中小型株属性にあてはまらないすべてのものをいう。

(2)大型株…目論見書又は投資信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいう。

(3)中小型株…目論見書又は投資信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいう。

債券

(1)一般…次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらないすべてのものをいう。

(2)公債…目論見書又は投資信託約款において、日本国又は各国の政府の発行する国債(地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含む。以下同じ。)に主として投資する旨の記載があるものをいう。

(3)社債…目論見書又は投資信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいう。

(4)その他債券…目論見書又は投資信託約款において、公債又は社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいう。

(5)格付等クレジットによる属性…目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)の「発行体」による区分のほか、特にクレジットに対して明確な記載があるものについては、上記(1)から(4)に掲げる区分に加え「高格付債」「低格付債」等を併記することも可とする。

不動産投信…これ以上の詳細な分類は行わないものとする。

その他資産…組入れている資産を記載するものとする。

資産複合…以下の小分類に該当する場合には当該小分類を併記することができる。

(1)資産配分固定型…目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

(2)資産配分変更型…目論見書又は投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については、機動的な変更を行なう旨の記載があるもの若しくは固定的とする旨の記載がないものをいう。なお、組み合わせている資産を列挙するものとする。

［決算頻度による属性区分］

(1)年１回…目論見書又は投資信託約款において、年１回決算する旨の記載があるものをいう。

(2)年２回…目論見書又は投資信託約款において、年２回決算する旨の記載があるものをいう。

(3)年４回…目論見書又は投資信託約款において、年４回決算する旨の記載があるものをいう。

(4)年６回(隔月)…目論見書又は投資信託約款において、年６回決算する旨の記載があるものをいう。

(5)年12回(毎月)…目論見書又は投資信託約款において、年12回(毎月)決算する旨の記載があるものをいう。

(6)日々…目論見書又は投資信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいう。

(7)その他…上記属性にあてはまらないすべてのものをいう。

［投資対象地域による属性区分(重複使用可能)］

(1)グローバル…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、「世界の資産」の中に「日本」を含むか含まないかを明確に記載するものとする。

(2)日本…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(3)北米…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(4)欧州…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(5)アジア…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(6)オセアニア…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(7)中南米…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(8)アフリカ…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(9)中近東(中東)…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
(10)エマージング…目論見書又は投資信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。

［投資形態による属性区分］
(1)ファミリーファンド…目論見書又は投資信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除く。)を投資対象として投資するものをいう。
(2)ファンド・オブ・ファンズ…「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいう。

［為替ヘッジによる属性区分］
(1)為替ヘッジあり…目論見書又は投資信託約款において、為替のフルヘッジ又は一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいう。
(2)為替ヘッジなし…目論見書又は投資信託約款において、為替のヘッジを行なわない旨の記載があるもの又は為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいう。

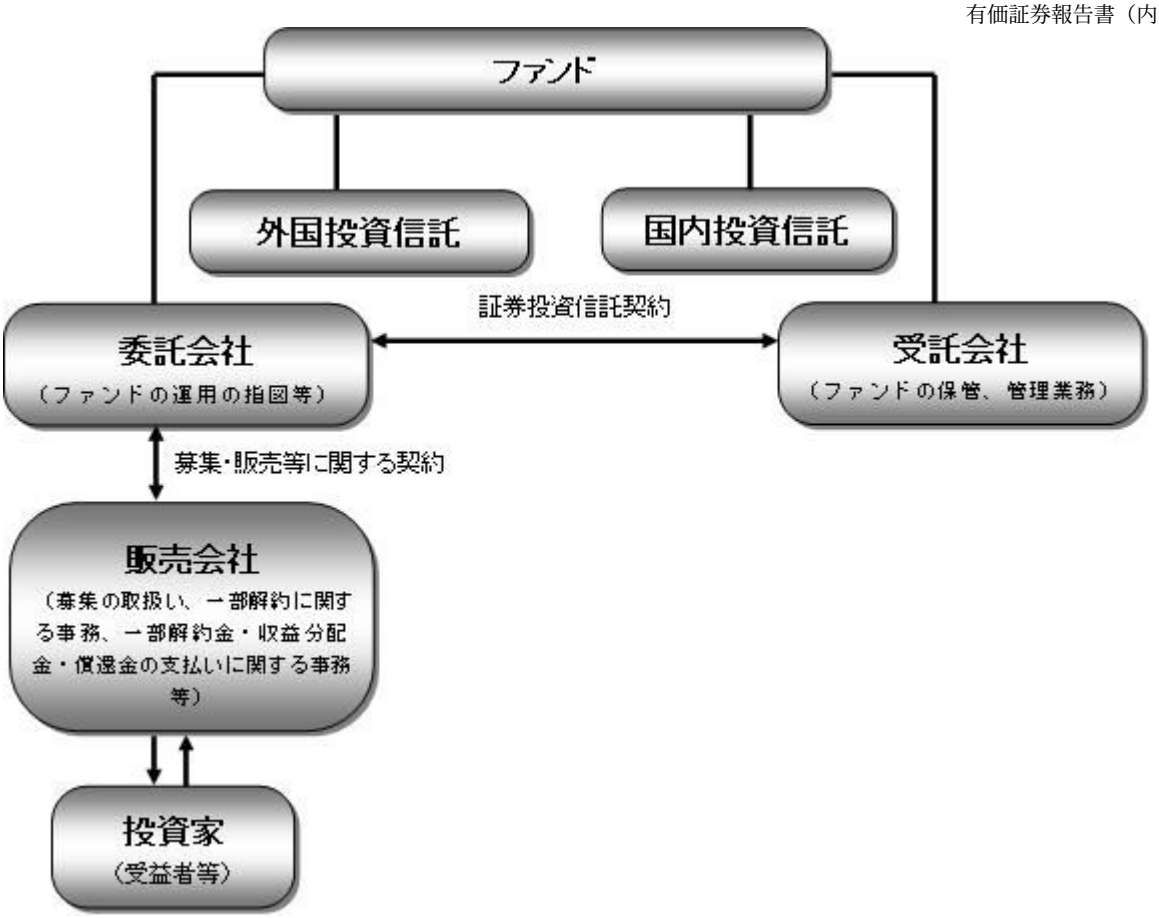
［インデックスファンドにおける対象インデックスによる属性区分］
(1)日経225
(2)TOPIX
(3)その他の指数…上記指数にあてはまらないすべてのものをいう。

［特殊型］
(1)ブル・ベア型…目論見書又は投資信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動若しくは逆連動(一定倍の連動若しくは逆連動を含む。)を目指す旨の記載があるものをいう。
(2)条件付運用型…目論見書又は投資信託約款において、仕組債への投資又はその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果(基準価額、償還価額、収益分配金等)や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいう。
(3)ロング・ショート型／絶対収益追求型…目論見書又は投資信託約款において、特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨若しくはロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨の記載があるものをいう。
(4)その他型…目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(3)に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。

（２）【ファンドの沿革】

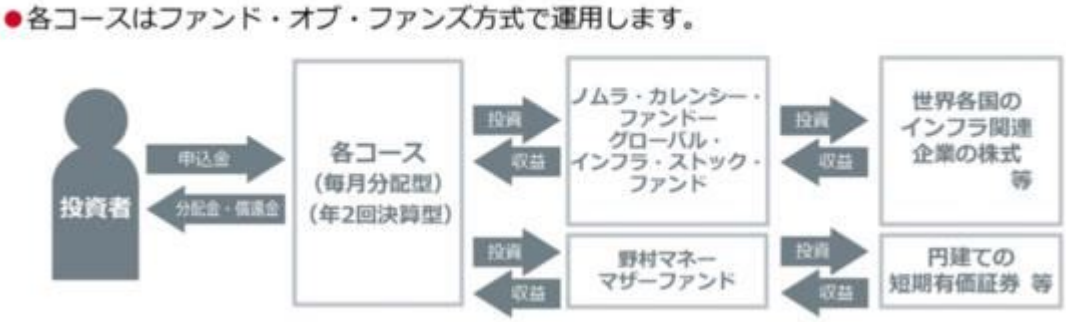
2010年10月28日	「円コース」「米ドルコース」「豪ドルコース」「ブラジルレアルコース」「マネープールファンド」につき信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始
2011年10月27日	「通貨セレクトコース」につき信託契約締結、ファンドの設定日、運用開始
2020年9月23日	「マネープールファンド」の償還

（３）【ファンドの仕組み】



ファンド	外国投資信託	国内投資信託
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスJPY	野村マネー　マザーファンド
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース) 年2回決算型		
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスUSD	
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型		
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスAUD	
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)年2回決算型		
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスBRL	
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型		
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－通貨セレクトクラス	
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース)年2回決算型		

委託会社(委託者)	野村アセットマネジメント株式会社
受託会社(受託者)	野村信託銀行株式会社



■委託会社の概況(2024年4月末現在)■

・名称

野村アセットマネジメント株式会社

・資本金の額

17,180百万円

・会社の沿革

1959年12月１日	野村證券投資信託委託株式会社として設立
1997年10月１日	投資顧問会社である野村投資顧問株式会社と合併して野村アセット・マネジメント投信株式会社に商号を変更
2000年11月１日	野村アセットマネジメント株式会社に商号を変更

・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	比率
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋1-13-1	5,150,693株	100%

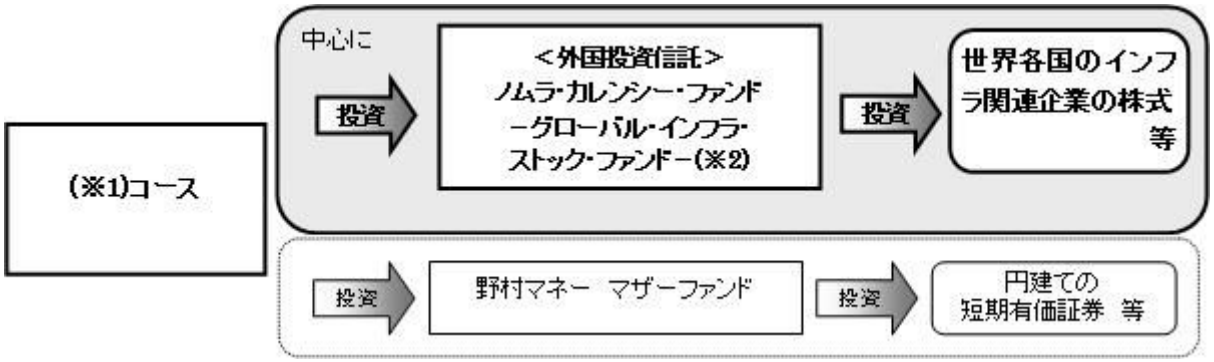
2【投資方針】

（1）【投資方針】

各コースにおいて、各々投資対象とする外国投資信託および「野村マネー　マザーファンド」への投資比率は、通常の状況においては、外国投資信託への投資を中心とします＊。

また、外国投資信託および「野村マネー　マザーファンド」への投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに各コースの資金動向等を勘案のうえ決定します。

＊通常の状況において、外国投資信託への投資比率は概ね90%以上を目処とします。



・「ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド」には、為替取引手法の異なる5つのクラスがあります。

・外国投資信託について、詳しくは後述の「(参考)投資対象とする外国投資信託について」をご参照ください。

・「野村マネー　マザーファンド」について、詳しくは後述の「第1　ファンドの状況　2　投資方針　(参考)マザーファンドの概要」をご参照ください。

注)上記の図中(※1)、(※2)については下記の表よりそれぞれあてはめてご覧ください。

	円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	ブラジルレアル コース	通貨セレクト コース
(※1)	円	米ドル	豪ドル	ブラジルレアル	通貨セレクト
(※2)	クラスJPY	クラスUSD	クラスAUD	クラスBRL	通貨セレクト クラス

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

（２）【投資対象】

世界各国のインフラ関連企業の株式、および米国の金融商品取引所に上場されているMLP等を実質的な主要投資対象※とします。なお、カナダの金融商品取引所に上場されているインカム・トラストにも実質的に投資を行ないます。

※各コースは、各々以下の円建ての外国投資信託受益証券および円建ての国内籍の投資信託である「野村マネー　マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、各コースは、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。

ファンド名	投資対象
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスJPY
	野村マネー　マザーファンド
米ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスUSD
	野村マネー　マザーファンド
豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスAUD
	野村マネー　マザーファンド
ブラジルレアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスBRL
	野村マネー　マザーファンド

通貨セレクトコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－通貨セレクトクラス
	野村マネー　マザーファンド

◆デリバティブの直接利用は行ないません。

①投資の対象とする資産の種類(約款第15条)

この信託において投資の対象とする資産(本邦通貨表示のものに限ります。)の種類は、次に掲げるものとします。

1.次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)

イ.有価証券

ロ.約束手形(イに掲げるものに該当するものを除きます。)

ハ.金銭債権(イ及びロに掲げるものに該当するものを除きます。)

2.次に掲げる特定資産以外の資産

イ.為替手形

②有価証券の指図範囲(約款第16条第1項)

委託者は、信託金を、円建ての外国投資信託であるノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－(※)受益証券および野村アセットマネジメント株式会社を委託者とし、野村信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託である野村マネー　マザーファンド受益証券のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除くものとし、本邦通貨表示のものに限ります。)に投資することを指図します。

1.コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

2.外国または外国の者の発行する証券または証書で、前号の証券の性質を有するもの

3.国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。)

4.指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)

なお、第3号の証券を以下「公社債」といい、公社債にかかる運用の指図は買い現先取引(売戻し条件付の買い入れ)および債券貸借取引(現金担保付き債券借入れ)に限り行なうことができるものとします。

(注)上記(※)印となっている箇所は、コース毎に下記のようにそれぞれあてはめてご覧願います。

円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	ブラジルレアル コース	通貨セレクト コース
クラスJPY	クラスUSD	クラスAUD	クラスBRL	通貨セレクトクラス

③金融商品の指図範囲(約款第16条第2項)

委託者は、信託金を、上記②に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

1.預金

2.指定金銭信託(上記「(2)投資対象　当該ファンドの②有価証券の指図範囲」に掲げるものを除く。)

3.コール・ローン

4.手形割引市場において売買される手形

(参考)投資対象とする外国投資信託について

ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド

クラスJPY／クラスUSD／クラスAUD／クラスBRL／通貨セレクトクラス

(ケイマン諸島籍円建外国投資信託)

＜運用の基本方針＞	
主要投資対象	世界各国のインフラ関連企業の株式、および米国の金融商品取引所に上場されているMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等
投資方針	・世界各国のインフラ関連企業の株式、および米国の金融商品取引所に上場されているMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。なお、カナダの金融商品取引所に上場されているインカム・トラストにも投資を行ないます。 ・ポートフォリオ構築にあたっては、トップ・ダウン分析とボトム・アップ分析を組み合わせ、投資銘柄を絞り込みます。 ・銘柄の選定にあたっては、配当の安定性や成長性、企業の業績、キャッシュフロー予測、資本構造、市場価格対比での純資産価値等に着目し、主として、予想配当利回りが市場平均を上回る銘柄に投資を行ないます。 ・国別配分、セクター配分の決定にあたっては、各国・地域の経済成長見通し、各セクターの動向、資本移動、為替動向等を総合的に勘案します。 ・米ドル建以外の資産に投資を行なった場合は、副投資顧問会社が、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。 ファンドには5つのクラス(クラスJPY／クラスUSD／クラスAUD／クラスBRL／通貨セレクトクラス)があり、クラスごとに、組入資産について、原則として、米ドルを売り、各クラスの通貨（通貨セレクトクラスについては、米ドル以外の選定通貨）を買う為替取引を行なうことで、各通貨への投資効果を追求します。クラスUSDについては、対円で為替ヘッジを行なわず、米ドルへの投資効果を追求します。 ＜通貨セレクトクラスにおける通貨運用方針＞ ・原則として、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・ブロード構成国の通貨の中から、金利水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、相対的に金利が高い5つの通貨を選定することを基本とします。選定通貨は、定期的に(原則、毎月)見直すこととします。 ・1通貨当りのエクスポージャーについては、原則として、純資産総額の10%～30%程度の範囲内に維持することを基本とします。 ・ファンダメンタルズおよび流動性を考慮して、選択される通貨が4以下または6以上となる場合があります。この場合、1通貨当りのエクスポージャーは上記の範囲を超える場合があります。
主な投資制限	・同一発行体の証券への投資は、ファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等への投資割合は、原則としてファンドの純資産総額の50%以内とします。 ・インカム・トラストへの投資割合は、原則としてファンドの純資産総額の20%以内とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除く。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の5%以内とします。 ・デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。
収益分配方針	毎月、投資顧問会社と協議の上、受託会社の判断により、分配を行なう方針です。
償還条項	全クラスの合計の純資産残高が50億円を下回った場合にはファンドを、各クラスの純資産残高が50億円を下回った場合には当該クラスを、それぞれ償還する場合があります。
＜主な関係法人＞	
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社

副投資顧問会社	リーフ・アメリカ・エル・エル・シー ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッド
管理事務代行会社保管銀行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー
＜管理報酬等＞	
信託報酬	[通貨セレクトクラスを除く各クラス] 純資産総額の1.00%（年率） [通貨セレクトクラス] 通貨セレクトクラスの純資産総額に応じて次の通りです。 ・500億円以下の部分　1.15%（年率） ・500億円超の部分　　1.10%（年率）
申込手数料	なし
信託財産留保額	1口につき純資産価格の0.30%(当初1口＝1万円)
その他の費用	信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息など。

上記のほか、一般社団法人投資信託協会の定めるファンド・オブ・ファンズ組入投資信託および投資法人の要件を満たしております。

■指数の著作権等について■
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・ブロードは、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建ての世界主要国の債券、現地通貨建ての新興国の債券をそれぞれ対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

＊上記は2024年6月14日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

「ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド」の運用の体制等について

シカゴ、香港、ニューヨークの拠点において、ポートフォリオ・マネージャーおよびアナリストが投資対象であるインフラ関連株等を調査・分析します。

ポートフォリオ・マネージャーが、グローバル・リサーチ・チームの情報提供等をもとに、銘柄選定やポートフォリオの構築などを行ないます。

(参考)マザーファンドの概要

「野村マネー　マザーファンド」

運　用　の　基　本　方　針

約款第13条に基づき委託者の定める方針は、次のものとします。

1.基本方針

この投資信託は、本邦通貨表示の公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

2.運用方法

(1)投資対象

本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。

(2)投資態度

①残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益

の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。

②資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3)投資制限

①株式への投資は行ないません。

②外貨建資産への投資は行ないません。

③有価証券先物取引等は約款第14条の範囲で行ないます。

④スワップ取引は約款第15条の範囲で行ないます。

⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の利用は行ないません。

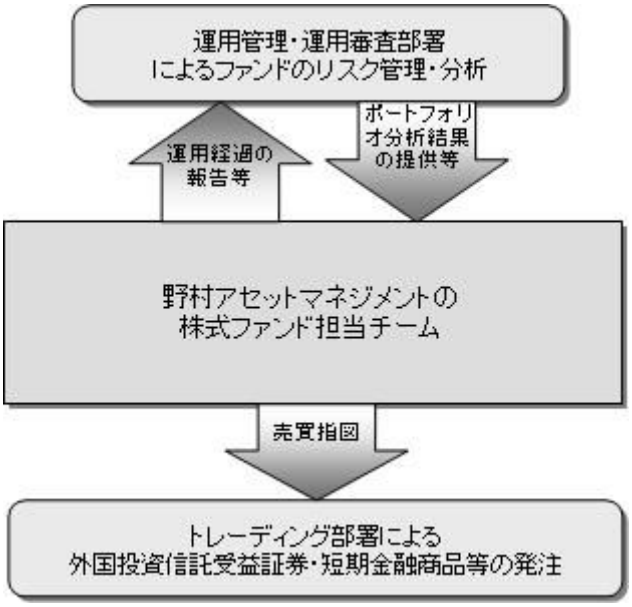
⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

■「野村マネー　マザーファンド」の運用体制等について■

経済調査部署による国内外の経済調査および発行体の信用力調査をもとに、運用担当者が債券・短期金融商品等の銘柄選定やポートフォリオの構築を行ないます。運用審査部署がファンドのリスク管理・分析を行ない、モニタリング・分析結果を運用チームに提供します。

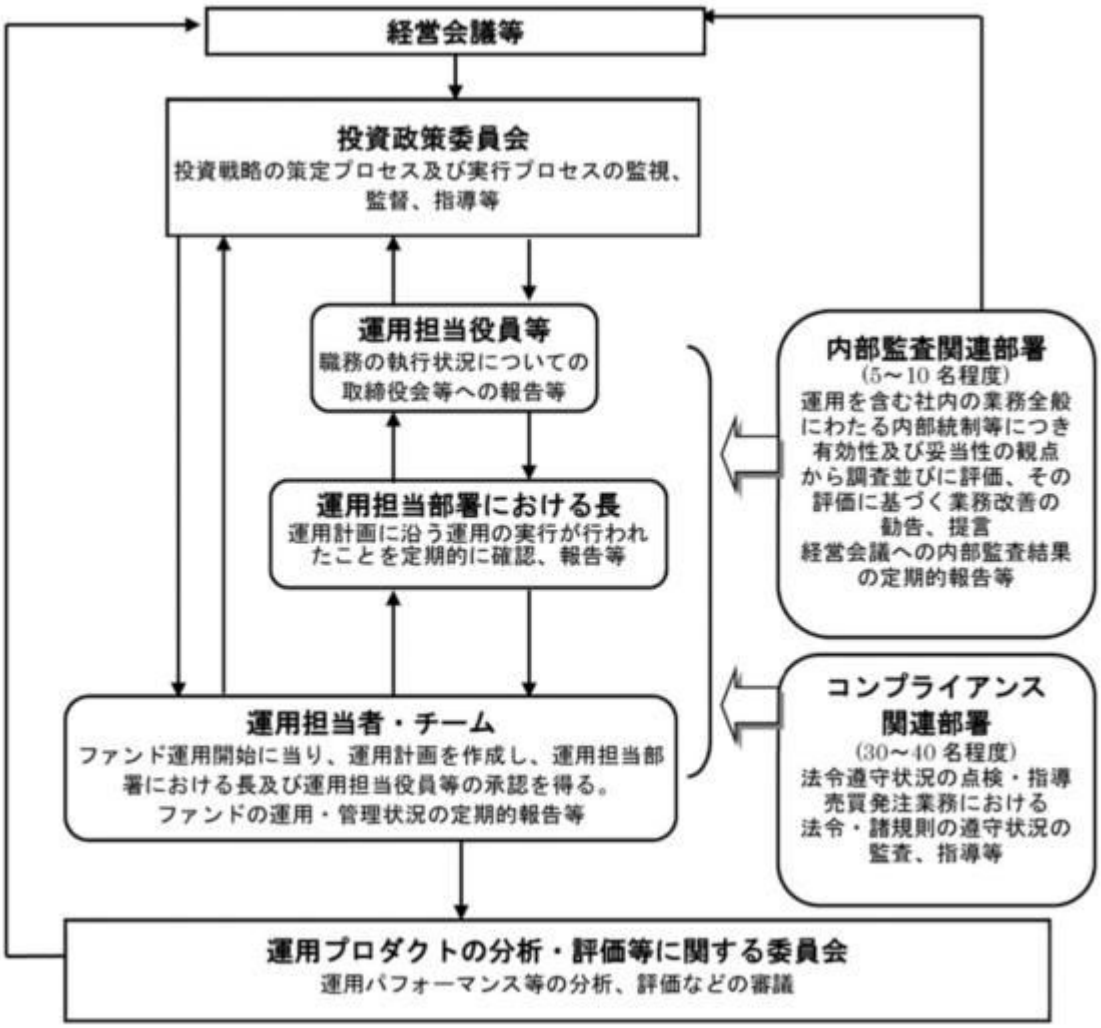
（３）【運用体制】

ファンドの運用体制は以下の通りです。



当社では、ファンドの運用に関する社内規程として、運用担当者に関する規程並びにスワップ取引、信用リスク管理、資金の借入、外国為替の予約取引等、信用取引等に関して各々、取扱い基準を設けております。

ファンドを含む委託会社における投資信託の内部管理及び意思決定を監督する組織等は以下の通りです。



≪委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等≫

当社では、「受託会社」または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っています。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

運用の外部委託を行う場合、「運用の外部委託先」に対しては、外部委託先が行った日々の約定について、投資ガイドラインに沿ったものであるかを確認しています。また、コンプライアンスレポートの提出を義務付け、定期的に管理状況に関する報告を受けています。さらに、外部委託先の管理体制、コンプライアンス体制等について調査ならびに評価を行い、定期的に商品に関する委員会に報告しています。

ファンドの運用体制等は今後変更となる場合があります。

（４）【分配方針】

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行ないます。

①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

②＜毎月分配型＞

収益分配金額は、上記①の範囲内で、委託者が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年3月および9月の決算時に

は、上記安定分配相当額に委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

＜年2回決算型＞

収益分配金額は、上記①の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。

③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行ないます。

※配当等収益とは、配当金、利子、貸付有価証券に係る品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額で、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除した後その残金を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。

※売買益とは、売買損益に評価損益を加減した利益金額で、諸経費、監査費用、当該監査費用に係る消費税等に相当する金額、信託報酬および当該信託報酬に係る消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

※毎計算期末において、信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

◆ファンドの決算日

＜毎月分配型＞

原則として**毎月20日**(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

＜年2回決算型＞

原則として**毎年3月および9月の各20日**(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

◆分配金のお支払い

お客様と販売会社とのご契約によって、以下の通りとなります。

[「一般コース」の場合]

決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。※1

[「自動けいぞく投資コース」の場合]

分配金は税引き後無手数料で再投資されます。※2

※1　分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払いを開始いたします。

※2　再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

＊委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

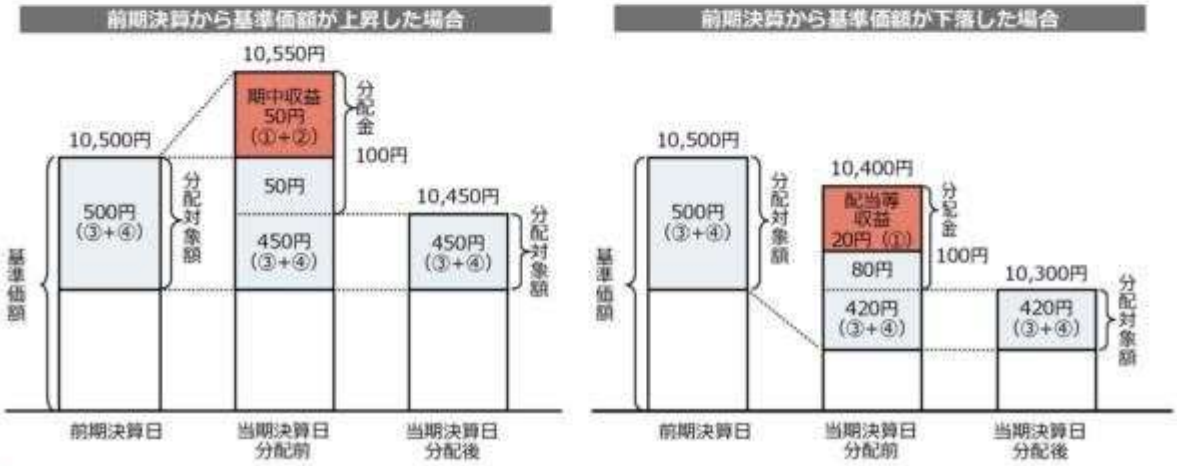
◆分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。

●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
元本払戻金（特別分配金）	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金（特別分配金）となります。

◆投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（分配金の一部が元本の一部払い戻しに相当する場合の一例）　（分配金の全部が元本の一部払い戻しに相当する場合の一例）

分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

（５）【投資制限】

①投資信託証券への投資割合(運用の基本方針　2.運用方法　(3)投資制限)

投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

②外貨建資産への投資割合(運用の基本方針　2.運用方法　(3)投資制限)

外貨建資産への直接投資は行ないません。

③デリバティブの利用(運用の基本方針　2.運用方法　(3)投資制限)

デリバティブの直接利用は行ないません。

※一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の実質的な利用は行ないません。

④株式への投資割合(運用の基本方針　2.運用方法　(3)投資制限)

株式への直接投資は行ないません。

⑤同一銘柄の投資信託証券への投資割合(運用の基本方針　2.運用方法　(3)投資制限)

同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

⑥公社債の借入れ(約款第19条)

(ⅰ)委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行なうにあたり担保の提供が必要と認めたときは、担保の提供の指図を行なうものとします。

(ⅱ)上記(ⅰ)の指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。

(ⅲ)信託財産の一部解約等の事由により、上記(ⅱ)の借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当する借入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。

(ⅳ)上記(ⅰ)の借入れにかかる品貸料は信託財産中から支弁します。

⑦資金の借入れ(約款第25条)

(ⅰ)委託者は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性をはかるため、一部解約に伴う支払資金の手当て(一部解約に伴う支払資金の手当てのために借入れた資金の返済を含みます。)を目的として、または再投資にかかる収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ(コール市場を通じる場合を含みます。)の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。

(ⅱ)一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、有価証券等の解約代金および有価証券等の償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入れ指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

(ⅲ)収益分配金の再投資にかかる借入期間は信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

(ⅳ)借入金の利息は信託財産中より支弁します。

⑧前各号の規定にかかわらず、一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクス

ポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。(運用の基本方針 2 運用方法 (3)投資制限)

3【投資リスク】

≪基準価額の変動要因≫

ファンドの基準価額は、投資を行なっている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの**運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。**

したがって、ファンドにおいて、**投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。**

[株価変動リスク]

ファンドは実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。またファンドは、特定のテーマに絞った株式に実質的に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広いテーマで株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

[MLPの価格変動リスク]

MLPは、投資プロジェクト等の収益源から得られる収入や市場金利の変動、MLP市場や株式市場の動向等により、価格が変動します。ファンドは実質的にMLPに投資を行ないますので、これらの影響を受けます。MLP市場は株式市場に比べ相対的に流動性が低いことから、市場の混乱時等において、相対的に価格の変動が大きくなる場合があります。

また、同様のテーマで株式に投資した場合とは、基準価額の動きが大きく異なる場合があります。

[為替変動リスク]

各コースの為替変動リスクは以下の通りです。

＜円コース＞

・投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、完全にヘッジすることは出来ませんので、当該組入資産にかかる通貨の対円での為替変動の影響を受ける場合があります。

＜米ドルコース＞

・投資対象である外国投資信託の組入資産（米ドルベース）※について、原則として対円で為替ヘッジを行ないませんので、米ドルの対円での為替変動の影響を受けます。

※米ドル建て以外の資産に投資を行ない、当該資産にかかる通貨売り、米ドル買いの為替取引を行なった場合も含みます。

＜円コースおよび米ドルコース以外の各コース＞

・投資対象である外国投資信託の組入資産（米ドルベース）※について、原則として米ドルを売り、各コースの通貨（通貨セレクトコースについては、米ドル以外の選定通貨）を買う為替取引を行ないますので、各コースの通貨の対円での為替変動の影響を受けます。ただし、外国投資信託の組入資産（米ドルベース）※の額と当該為替取引における米ドル売りの額は必ずしも一致しないため、期待した投資効果が得られない場合があります。その場合、米ドルの対円での為替変動の影響も受けることとなります。

※米ドル建て以外の資産に投資を行ない、当該資産にかかる通貨売り、米ドル買いの為替取引を行なった場合も含みます。

・一部のコースが対象とする新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高く、その結果、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも

想定されます。

各コース（円コースを除く）において、米ドル建て以外の資産に投資を行なった場合は、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないますが、当該資産の額と当該資産にかかる通貨の売りの額は必ずしも一致しないため、当該資産にかかる通貨の対円での為替変動の影響を受ける場合もあります。

各コース（米ドルコースを除く）の通貨の金利が当該組入資産にかかる通貨の金利より低い場合、為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）がかかるため、基準価額の変動要因となります。

[債券価格変動リスク]

債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

≪その他の留意点≫

◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

◆ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止等となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。

◆資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。

◆ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。

◆有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

◆投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴なう売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

◆各コースが各々投資対象とする外国投資信託受益証券が存続しないこととなる場合は、当該コースを繰上償還させます。

◆各コースは、株式に比べ相対的に市場の流動性が低いMLPに実質的に投資を行ないますので、市場の混乱時やファンドに大量の資金変動が生じた場合、その他投資環境等によっては、機動的に売買を行なえない場合があります。

◆各コースは、外国投資信託を通じて米国の金融商品取引所に上場されているMLPおよびカナダの金融商品取引所に上場されているインカム・トラストに実質的に投資を行ないます。当該外国投資信託は、ケイマン諸島籍であり、収受するMLPの分配金については最大で21%の連邦税が、インカム・トラストの配当金については25%の連邦税が、源泉徴収されます。MLPにおいて課税対象となる連邦税は、法人所得税および支店利益税です。MLPの持分に応じて配分された収入、損失、費用等をもとに連邦税の確定申告を行なった結果、源泉徴収額が確定後の税額を上回った場合は差額が還付され、源泉徴収額が確定後の税額を下回った場合は差額の追加納税が必要となります。また、連邦税の他に州税が課される場合があります。なお、MLPを売却する際に、売却金額に対して10%の源泉徴収が行なわれる場合があります。上記のMLPの分配金

に対する源泉徴収と同様に確定申告を行ない、還付または追加納税の調整が行なわれます。
当該外国投資信託においては、当該投資信託に係る法令・会計基準に則り、税制・税率を考慮して日々純資産価格を計算し、各コースは当該外国投資信託の純資産価格に基づき日々基準価額を計算しています。
当該外国投資信託において連邦税の還付もしくは追加納税、州税の課税等が発生した場合には、純資産価格および各コースの基準価額が影響を受ける場合があります。

※これらの記載は、2024年4月末現在、委託会社が確認できる情報に基づいたものです。税率等は、税制が変更された場合等は変更になる場合があります。

◆金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、投資信託約款の規定に従い、委託会社の判断でファンドの購入（スイッチングによる購入を含みます。）・換金の各受付けを中止すること、および既に受付けた購入（スイッチングによる購入を含みます。）・換金の各受付けを取り消す場合があります。

◆外国投資信託の組入資産について為替取引を行なう一部の新興国の為替市場においては、内外の為替取引の自由化が実施されておらず、実際の現地通貨での金銭の受渡に制約があるため、ファンドはNDF※（ノン・デリバラブル・フォワード）を用いる場合があります。
NDFの取引価格の値動きと、実際の為替市場の値動きは、需給などの市況や規制等により大きく乖離する場合があり、その結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や、金利市場の動向から想定されるものから大きく乖離する場合があります。なお、今後、NDFが利用できなくなった場合、ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。

※NDFとは、為替取引を行なう場合に利用する直物為替先渡取引の一種で、当該国の通貨を用いず、米ドルまたはその他の主要な通貨によって差金決済する取引をいいます。

◆店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

≪委託会社におけるリスクマネジメント体制≫

リスク管理関連の委員会

◆パフォーマンスの考査

投資信託の信託財産についてパフォーマンスに基づいた定期的な考査（分析、評価）の結果の報告、審議を行ないます。

◆運用リスクの管理

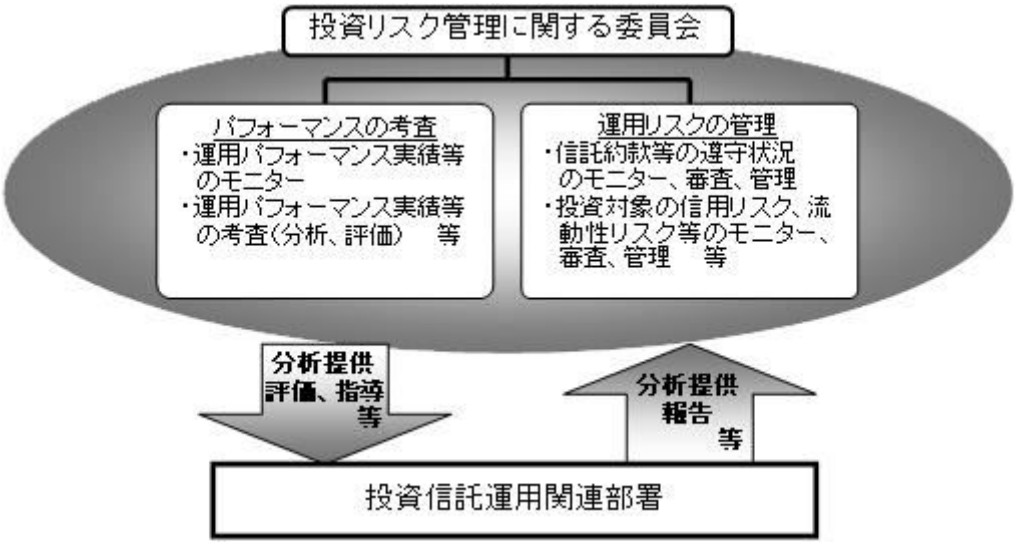
投資信託の信託財産の運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用部門その他関連部署への是正勧告を行なうことにより、適切な管理を行ないます。

※流動性リスク管理について

流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行ないます。リスク管理関連の委員会が、流

動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について監督します。

リスク管理体制図



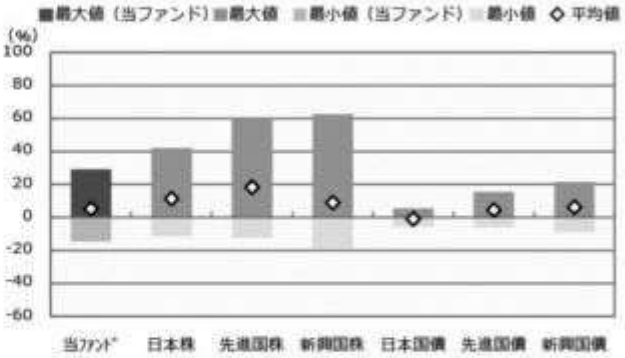
※投資リスクに関する管理体制等は今後変更となる場合があります。

リスクの定量的比較（2019年5月末～2024年4月末：月次）

円コース（毎月分配型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



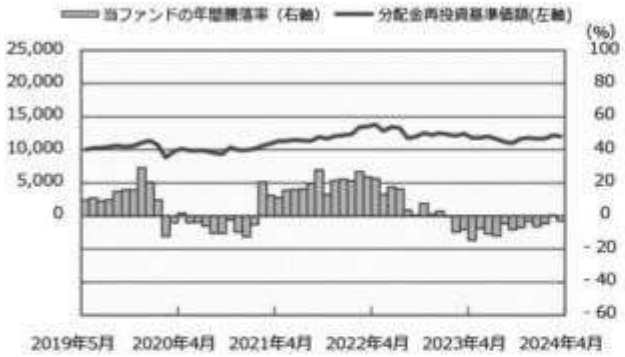
	当ﾌｧﾝﾄﾞ	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**29.2**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **14.7**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**5.2**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

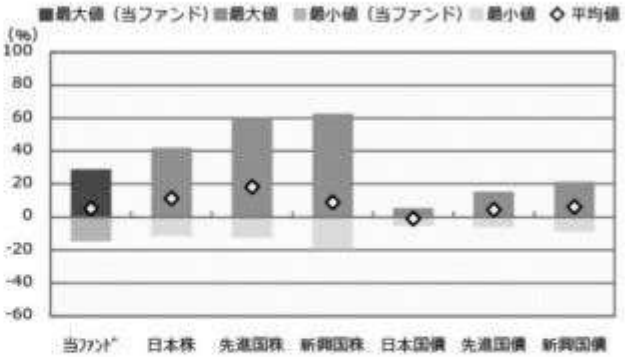
＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

円コース（年2回決算型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ﾌｧﾝﾄﾞ	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**29.0**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **14.7**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**5.2**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

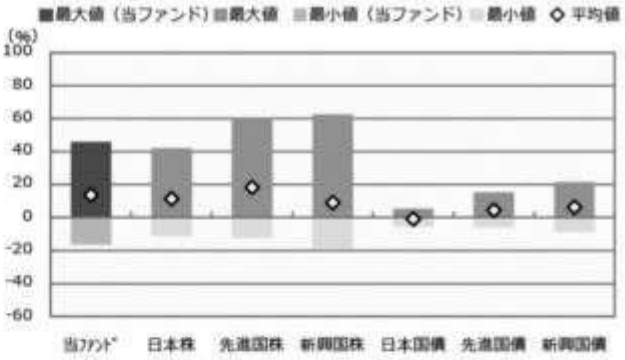
＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

米ドルコース（毎月分配型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ﾌｧﾝﾄﾞ	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**45.9**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **16.5**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**13.8**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

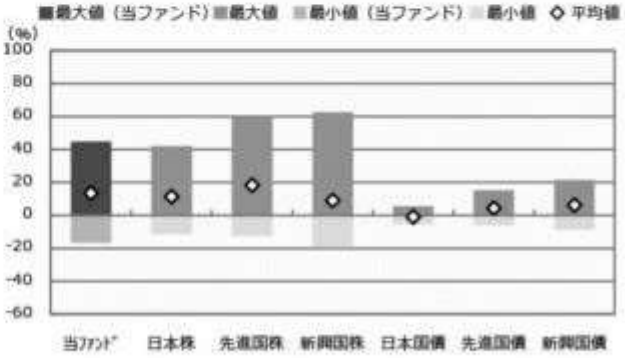
＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

米ドルコース（年2回決算型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ﾌｧﾝﾄﾞ	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**44.7**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **16.6**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**13.6**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

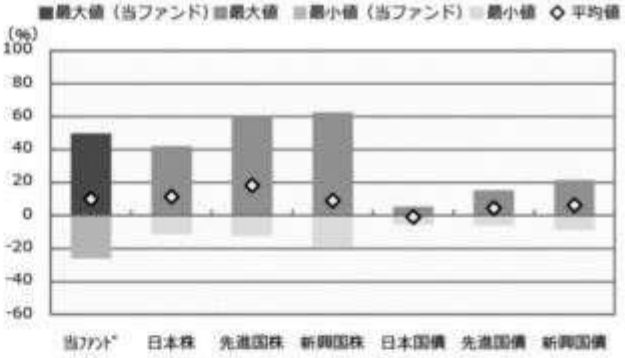
＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

豪ドルコース（毎月分配型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ﾌｧﾝﾄﾞ	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**49.8**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **25.9**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**9.9**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

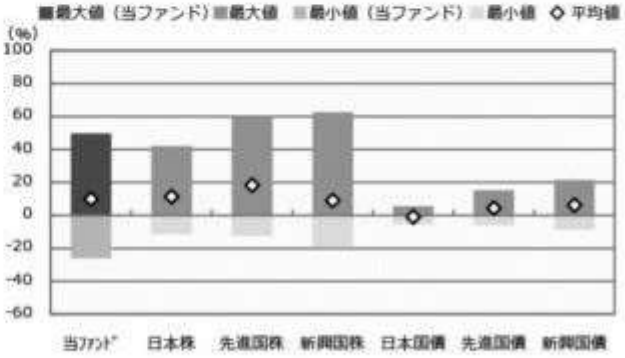
＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

豪ドルコース（年2回決算型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ﾌｧﾝﾄﾞ	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**49.8**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **25.9**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**9.9**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

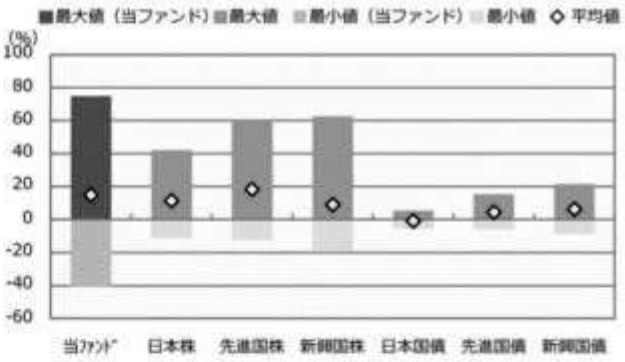
＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

ブラジルレアルコース（毎月分配型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ﾌｧﾝﾄﾞ	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**74.8**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **40.6**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**14.9**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

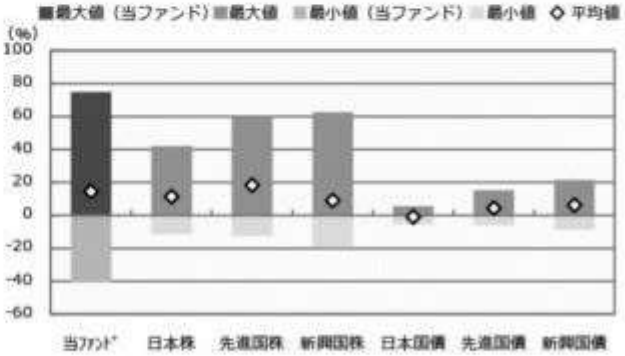
＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

ブラジルレアルコース（年2回決算型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ﾌｧﾝﾄﾞ	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**74.8**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **40.8**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**14.6**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

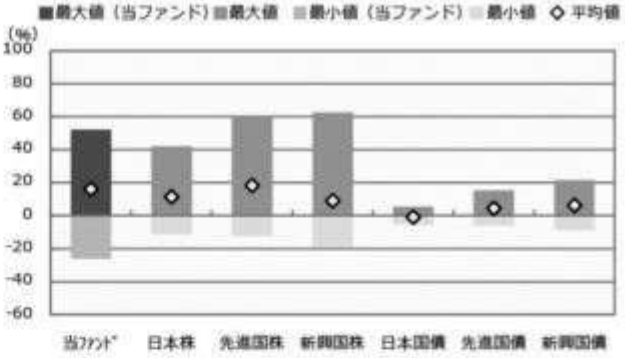
＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

通貨セレクトコース（毎月分配型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**52.2**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **26.2**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**16.1**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

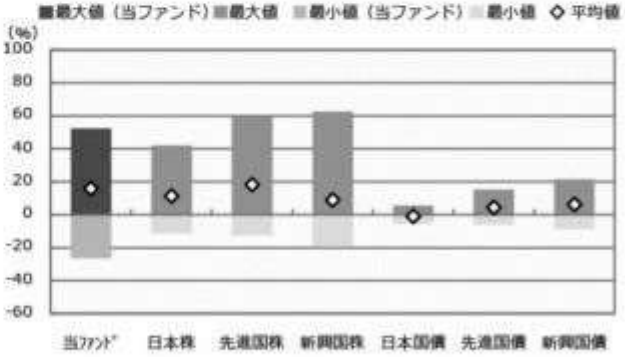
＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

通貨セレクトコース（年2回決算型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値（%）	**52.2**	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値（%）	△ **26.4**	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値（%）	**16.0**	11.4	18.3	8.9	△ 0.9	4.5	6.3

＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2019年5月末を10,000として指数化しております。
＊年間騰落率は、2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊2019年5月から2024年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
＊決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

<代表的な資産クラスの指数>
○日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
○先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）
○新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
○日本国債：NOMURA-BPI国債
○先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
○新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

■代表的な資産クラスの指数の著作権等について■

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）・・・配当込みTOPIX（「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」といいます。）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、ＪＰＸにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもＪＰＸは責任を負いません。
○MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）・・・MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
○NOMURA-BPI国債・・・NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。
○FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）・・・「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメークを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。
米国のJ.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMSLLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。
JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他）

4【手数料等及び税金】

（1）【申込手数料】

①取得申込日の翌営業日の基準価額に、3.3%(申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等に相当する率)(税抜3.0%)以内※で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは、販売会社にお問い合わせ下さい。販売会社については、「サポートダイヤル」までお問い合わせ下さい。

②収益分配金を再投資する場合には無手数料とします。

購入時手数料は、商品及び関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として、購入時に頂戴するものです。

（2）【換金（解約）手数料】

換金手数料はありません。

（3）【信託報酬等】

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に年0.913%(税抜年0.83%)の率を乗じて得た額とし、その配分については信託財産の純資産総額の残高に応じて次の通り(税抜)とします。

＜純資産総額*＞	＜委託会社＞	＜販売会社＞	＜受託会社＞
1,000億円以下の部分	年0.30%	年0.50%	年0.03%

1,000億円超の部分	年0.31%	年0.50%	年0.02%

＊各コースの合算とします。

ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

なお、この他にファンドが投資対象とする外国投資信託に関しても信託報酬等がかかります。

(参考)投資対象とする外国投資信託の信託報酬

外国投資信託の名称	信託報酬率(年率)
ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド(通貨セレクトクラスを除く各クラス)	1.00%
ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド(通貨セレクトクラス)	1.15%（注）

（注）純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。

上記の他、信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息などを負担する場合があります。また、外国投資信託の設立に係る費用は当該外国投資信託が負担し、3年を超えない期間にわたり償却します。なお、申込手数料はかかりません。

ファンドの信託報酬にファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた、受益者が実質的に負担する信託報酬率について、通常の状況においては「ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド」の各々のコース受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処としますので、概算値は以下の通りです。ただし、この値はあくまでも実質的な信託報酬の目安であり、ファンドの実際の投資信託証券の組入れ状況によっては、実質的な信託報酬は変動します。

	実質的な信託報酬率(税込・年率)の概算値
各コース(通貨セレクトコースを除く)	年1.913%程度
通貨セレクトコース	年2.063%程度（注）

（注）純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。

≪支払先の役務の内容≫

＜委託会社＞	＜販売会社＞	＜受託会社＞
ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等

（４）【その他の手数料等】

①ファンドにおいて一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行なった場合、当該借入金の利息はファンドから支払われます。

②ファンドに関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託者の立替えた立替金の利息等は、受益者の負担とし、ファンドから支払われます。

③ファンドに関する組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に係る消費税等に相当する金額はファンドから支払われます。

④監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用および当該監査費用に係る消費税等に相当する金額は、信託報酬支払いのときに信託財産から支払われます。

⑤ファンドにおいて一部解約の実行に伴い、信託財産留保額※をご負担いただきます。信託財産留保額は、基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を1口当たりに換算して、換金する口数に応じてご負担いただきます。

※「信託財産留保額」とは、償還時まで投資を続ける投資家との公平性の確保やファンド残高の安定的な推移を図るため、クローズド期間の有無に関係なく、信託期間満了前の解約に対し解約者から徴収する一定の金額をいい、信託財産に繰り入れられます。

＊これらの費用等の中には、運用状況等により変動するものがあり、事前に料率、上限額等を表示することができないものがあります。

（５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

■個人、法人別の課税について■

◆個人の投資家に対する課税

＜収益分配金に対する課税＞

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315%(国税(所得税及び復興特別所得税)15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税のいずれかを選択することもできます。

なお、配当控除は適用されません。

＜換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対する課税＞

換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)については、申告分離課税により20.315%(国税15.315%および地方税5%)の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は20.315%の税率により源泉徴収が行なわれます。

≪損益通算について≫

以下の所得間で損益通算が可能です。上場株式等の配当所得については申告分離課税を選択したものに限ります。

《利子所得》	《上場株式等に係る譲渡所得等》(注2)	《配当所得》
・特定公社債(注1)の利子 ・公募公社債投資信託の収益分配金	特定公社債、公募公社債投資信託、上場株式、公募株式投資信託の ・譲渡益 ・譲渡損	・上場株式の配当 ・公募株式投資信託の収益分配金

（注1）「特定公社債」とは、国債、地方債、外国国債、公募公社債、上場公社債、2015年12月31日以前に発行された公社債（同族会社が発行した社債を除きます。）などの一定の公社債をいいます。

（注2）株式等に係る譲渡所得等について、上場株式等に係る譲渡所得等とそれ以外の株式等に係る譲渡所得等に区分し、別々の分離課税制度とすることとされ、原則として、これら相互の通算等ができないこととされました。

※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。

◆法人の投資家に対する課税

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額につい

ては、15.315%(国税15.315%)の税率で源泉徴収※が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

※源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

■換金(解約)時および償還時の課税について■

[個人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の差益※については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

※換金(解約)時および償還時の価額から取得費(申込手数料(税込)を含む)を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

[法人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象(配当所得)となります。

なお、販売会社の買取りによるご換金の場合は、税金の取扱いが異なる場合があります。買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

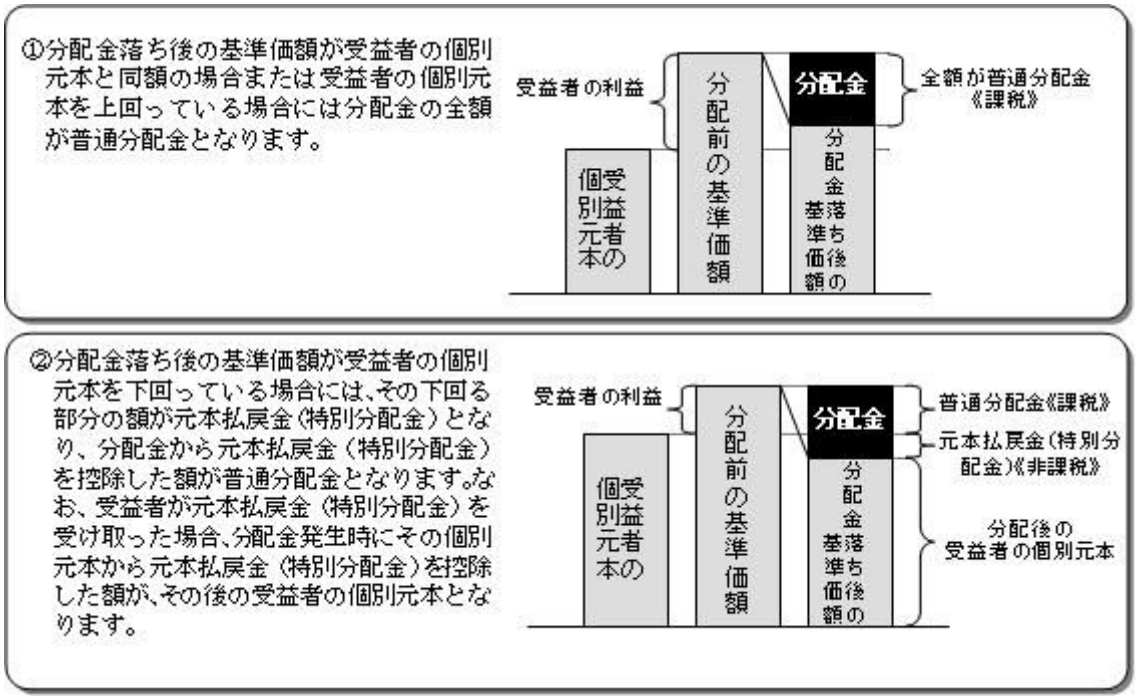
■個別元本について■

◆追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

◆受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

■分配金の課税について■

◆分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)があります。



※上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものでは

ありません。

※上記は2024年4月末現在の情報に基づくものですので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。

（参考情報）ファンドの総経費率

（単位：%）

	総経費率（①+②+③+④）	①ファンドの運用管理費用の比率	②ファンドのその他費用の比率	③投資先ファンドの運用管理費用の比率	④投資先ファンドの運用管理費用以外の比率
円コース（毎月分配型）	3.24	0.91	0.00	0.99	1.34
円コース（年2回決算型）	3.22	0.91	0.00	0.98	1.33
米ドルコース（毎月分配型）	3.22	0.91	0.00	0.99	1.32
米ドルコース（年2回決算型）	3.22	0.91	0.00	0.99	1.32
豪ドルコース（毎月分配型）	3.23	0.91	0.00	0.99	1.33
豪ドルコース（年2回決算型）	3.23	0.91	0.00	0.99	1.33
ブラジルレアルコース（毎月分配型）	3.20	0.91	0.00	0.99	1.30
ブラジルレアルコース（年2回決算型）	3.20	0.91	0.00	0.99	1.30
通貨セレクトコース（毎月分配型）	3.36	0.91	0.00	1.14	1.31
通貨セレクトコース（年2回決算型）	3.30	0.91	0.00	1.11	1.28

（2023年9月21日～2024年3月21日）

＊総経費率の算出にあたっては、作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。消費税等のかかるものは消費税等を含む。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除しています。
＊ファンドの費用は交付運用報告書に記載している1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
＊各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
＊各比率は、年率換算した値です。
＊投資先ファンドとは、ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。
＊ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
＊ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。
＊ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
＊投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。
＊投資先ファンドの運用管理費用以外には、収受するMLPの分配金およびMLPの売却金額の課税対応のための引当金が含まれます。
＊投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。
＊上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
＊最新の詳細費用につきましては、委託会社ホームページに掲載している交付運用報告書をご覧ください。

５【運用状況】

以下は2024年4月30日現在の運用状況であります。
また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）【投資状況】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	1,395,425,313	98.53
親投資信託受益証券	日本	1,003,444	0.07
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	19,737,044	1.39
合計（純資産総額）		1,416,165,801	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	1,582,054,854	98.80
親投資信託受益証券	日本	1,003,444	0.06
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	18,078,970	1.12
合計（純資産総額）		1,601,137,268	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	90,143,429,684	98.93
親投資信託受益証券	日本	100,177	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	969,727,704	1.06
合計（純資産総額）		91,113,257,565	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	15,595,430,147	98.92
親投資信託受益証券	日本	100,177	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	168,693,147	1.07
合計（純資産総額）		15,764,223,471	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	3,252,882,325	98.77
親投資信託受益証券	日本	1,003,444	0.03
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	39,362,128	1.19
合計（純資産総額）		3,293,247,897	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	751,982,532	98.83

親投資信託受益証券	日本	1,003,444	0.13
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	7,824,926	1.02
合計（純資産総額）		760,810,902	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	11,103,625,624	98.86
親投資信託受益証券	日本	1,003,444	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	126,557,249	1.12
合計（純資産総額）		11,231,186,317	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	667,514,757	98.75
親投資信託受益証券	日本	1,003,444	0.14
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	7,413,916	1.09
合計（純資産総額）		675,932,117	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	3,593,754,570	98.74
親投資信託受益証券	日本	1,001,769	0.02
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	44,799,853	1.23
合計（純資産総額）		3,639,556,192	100.00

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	887,106,633	98.85
親投資信託受益証券	日本	100,177	0.01
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	10,177,233	1.13
合計（純資産総額）		897,384,043	100.00

（参考）野村マネー　マザーファンド

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（%）
地方債証券	日本	220,374,782	4.35
特殊債券	日本	311,121,988	6.15
社債券	日本	10,003,090	0.19
現金・預金・その他資産（負債控除後）	―	4,517,092,713	89.29
合計（純資産総額）		5,058,592,573	100.00

（２）【投資資産】

①【投資有価証券の主要銘柄】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスJPY	164,187	8,395	1,378,349,865	8,499	1,395,425,313	98.53
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	984,252	1.0195	1,003,444	1.0195	1,003,444	0.07

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.53
親投資信託受益証券	0.07
合　　計	98.60

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスJPY	186,146	8,509	1,583,916,314	8,499	1,582,054,854	98.80
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	984,252	1.0194	1,003,346	1.0195	1,003,444	0.06

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.80
親投資信託受益証券	0.06
合　　計	98.87

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスUSD	8,137,892	10,785	87,767,165,220	11,077	90,143,429,684	98.93
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	98,261	1.0195	100,177	1.0195	100,177	0.00

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.93
親投資信託受益証券	0.00
合　　計	98.93

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスUSD	1,407,911	10,580	14,895,698,380	11,077	15,595,430,147	98.92
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	98,261	1.0194	100,167	1.0195	100,177	0.00

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.92
親投資信託受益証券	0.00
合　　計	98.92

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスAUD	450,725	6,898	3,109,101,050	7,217	3,252,882,325	98.77
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	984,252	1.0195	1,003,444	1.0195	1,003,444	0.03

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.77
親投資信託受益証券	0.03
合　　計	98.80

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスAUD	104,196	6,877	716,555,892	7,217	751,982,532	98.83
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	984,252	1.0194	1,003,346	1.0195	1,003,444	0.13

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.83
親投資信託受益証券	0.13
合　　計	98.97

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスBRL	2,817,464	3,778	10,644,378,992	3,941	11,103,625,624	98.86
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	984,252	1.0195	1,003,444	1.0195	1,003,444	0.00

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.86
親投資信託受益証券	0.00
合　　計	98.87

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)

1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスBRL	169,377	3,839	650,238,303	3,941	667,514,757	98.75
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	984,252	1.0194	1,003,346	1.0195	1,003,444	0.14

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.75
親投資信託受益証券	0.14
合　　計	98.90

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－通貨セレクトクラス	461,270	7,511	3,464,598,970	7,791	3,593,754,570	98.74
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	982,609	1.0195	1,001,769	1.0195	1,001,769	0.02

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.74
親投資信託受益証券	0.02
合　　計	98.76

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－通貨セレクトクラス	113,863	7,542	858,826,477	7,791	887,106,633	98.85
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー　マザーファンド	98,261	1.0194	100,167	1.0195	100,177	0.01

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.85
親投資信託受益証券	0.01
合　　計	98.86

（参考）野村マネー　マザーファンド

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	利率(%)	償還期限	投資比率(%)
1	日本	特殊債券	日本政策投資銀行社債　政府保証第４８回	160,000,000	100.00	160,000,364	100.00	160,000,364	0.001	2024/6/7	3.16
2	日本	地方債証券	横浜市　公募（２０年）第３回	100,000,000	100.32	100,328,810	100.32	100,328,810	2.57	2024/6/20	1.98
3	日本	特殊債券	政保　地方公共団体金融機構債券　第６２回	69,000,000	100.11	69,081,396	100.11	69,081,396	0.601	2024/7/16	1.36

4	日本	地方債証券	静岡県　公募（５年）令和元年度第６回	50,000,000	100.00	50,001,728	100.00	50,001,728	0.005	2024/6/20	0.98
5	日本	特殊債券	しんきん中金債券　利付第３５６回	50,000,000	99.98	49,990,312	99.98	49,990,312	0.02	2024/7/26	0.98
6	日本	特殊債券	日本高速道路保有・債務返済機構債券　政府保証債第２２２回	32,000,000	100.15	32,049,916	100.15	32,049,916	0.601	2024/7/31	0.63
7	日本	地方債証券	大阪市　公募令和元年度第１回	30,000,000	100.00	30,000,000	100.00	30,000,000	0.01	2024/5/21	0.59
8	日本	地方債証券	愛知県　公募平成２６年度第６回	20,000,000	100.09	20,019,560	100.09	20,019,560	0.645	2024/6/27	0.39
9	日本	地方債証券	兵庫県　公募（１２年）第１回	10,000,000	100.16	10,016,850	100.16	10,016,850	1.1	2024/6/26	0.19
10	日本	地方債証券	神奈川県　公募第２０８回	10,000,000	100.07	10,007,834	100.07	10,007,834	0.551	2024/6/20	0.19
11	日本	社債券	関西電力　第５３２回	10,000,000	100.03	10,003,090	100.03	10,003,090	0.18	2024/7/25	0.19

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
地方債証券	4.35
特殊債券	6.15
社債券	0.19
合　　計	10.70

②【投資不動産物件】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型
該当事項はありません。

（参考）野村マネー　マザーファンド
該当事項はありません。

③【その他投資資産の主要なもの】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型
該当事項はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型
該当事項はありません。

（参考）野村マネー　マザーファンド
該当事項はありません。

（３）【運用実績】

①【純資産の推移】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型
2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）

第8特定期間 (2014年 9月22日)	5,300	5,315	1.4516	1.4556
第9特定期間 (2015年 3月20日)	4,339	4,352	1.3807	1.3847
第10特定期間 (2015年 9月24日)	2,997	3,006	1.1998	1.2038
第11特定期間 (2016年 3月22日)	2,748	2,757	1.1940	1.1980
第12特定期間 (2016年 9月20日)	2,950	2,960	1.2223	1.2263
第13特定期間 (2017年 3月21日)	3,684	3,697	1.2068	1.2108
第14特定期間 (2017年 9月20日)	2,933	2,943	1.1751	1.1791
第15特定期間 (2018年 3月20日)	2,027	2,035	1.0176	1.0216
第16特定期間 (2018年 9月20日)	1,897	1,902	1.0825	1.0855
第17特定期間 (2019年 3月20日)	1,842	1,847	1.1387	1.1417
第18特定期間 (2019年 9月20日)	2,763	2,770	1.1844	1.1874
第19特定期間 (2020年 3月23日)	2,779	2,788	0.8855	0.8885
第20特定期間 (2020年 9月23日)	3,079	3,088	1.0339	1.0369
第21特定期間 (2021年 3月22日)	2,331	2,337	1.1132	1.1162
第22特定期間 (2021年 9月21日)	2,015	2,020	1.1921	1.1951
第23特定期間 (2022年 3月22日)	2,136	2,141	1.3239	1.3269
第24特定期間 (2022年 9月20日)	2,216	2,221	1.3081	1.3111
第25特定期間 (2023年 3月20日)	1,902	1,906	1.1912	1.1942
第26特定期間 (2023年 9月20日)	1,707	1,711	1.1549	1.1579
第27特定期間 (2024年 3月21日)	1,473	1,477	1.1660	1.1690
2023年 4月末日	1,945	—	1.2416	—
5月末日	1,838	—	1.1757	—
6月末日	1,807	—	1.1797	—
7月末日	1,798	—	1.1919	—
8月末日	1,702	—	1.1531	—
9月末日	1,609	—	1.1046	—
10月末日	1,571	—	1.0830	—
11月末日	1,613	—	1.1477	—
12月末日	1,585	—	1.1565	—
2024年 1月末日	1,546	—	1.1446	—
2月末日	1,496	—	1.1411	—
3月末日	1,495	—	1.1822	—
4月末日	1,416	—	1.1658	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第8計算期間 (2014年 9月22日)	3,518	3,520	1.6829	1.6839
第9計算期間 (2015年 3月20日)	3,195	3,197	1.6272	1.6282
第10計算期間 (2015年 9月24日)	2,331	2,332	1.4386	1.4396
第11計算期間 (2016年 3月22日)	2,262	2,264	1.4618	1.4628
第12計算期間 (2016年 9月20日)	2,436	2,438	1.5250	1.5260

第13計算期間 (2017年 3月21日)	3,406	3,408	1.5338	1.5348
第14計算期間 (2017年 9月20日)	2,866	2,867	1.5221	1.5231
第15計算期間 (2018年 3月20日)	2,265	2,267	1.3453	1.3463
第16計算期間 (2018年 9月20日)	2,194	2,195	1.4586	1.4596
第17計算期間 (2019年 3月20日)	2,105	2,106	1.5606	1.5616
第18計算期間 (2019年 9月20日)	3,294	3,296	1.6448	1.6458
第19計算期間 (2020年 3月23日)	3,435	3,438	1.2474	1.2484
第20計算期間 (2020年 9月23日)	3,948	3,951	1.4796	1.4806
第21計算期間 (2021年 3月22日)	3,438	3,440	1.6177	1.6187
第22計算期間 (2021年 9月21日)	2,964	2,965	1.7577	1.7587
第23計算期間 (2022年 3月22日)	2,870	2,871	1.9806	1.9816
第24計算期間 (2022年 9月20日)	3,925	3,927	1.9835	1.9845
第25計算期間 (2023年 3月20日)	4,474	4,476	1.8306	1.8316
第26計算期間 (2023年 9月20日)	2,332	2,333	1.8010	1.8020
第27計算期間 (2024年 3月21日)	1,797	1,798	1.8467	1.8477
2023年 4月末日	4,522	—	1.9128	—
5月末日	4,255	—	1.8154	—
6月末日	2,723	—	1.8267	—
7月末日	2,663	—	1.8505	—
8月末日	2,479	—	1.7944	—
9月末日	2,169	—	1.7225	—
10月末日	1,993	—	1.6934	—
11月末日	1,997	—	1.7992	—
12月末日	1,896	—	1.8179	—
2024年 1月末日	1,832	—	1.8039	—
2月末日	1,772	—	1.8034	—
3月末日	1,822	—	1.8724	—
4月末日	1,601	—	1.8518	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第8特定期間 (2014年 9月22日)	1,339,207	1,362,148	1.4594	1.4844
第9特定期間 (2015年 3月20日)	1,173,734	1,194,704	1.3993	1.4243
第10特定期間 (2015年 9月24日)	726,892	740,008	1.1084	1.1284
第11特定期間 (2016年 3月22日)	523,737	532,056	0.9443	0.9593
第12特定期間 (2016年 9月20日)	412,511	414,935	0.8511	0.8561
第13特定期間 (2017年 3月21日)	366,954	368,925	0.9305	0.9355
第14特定期間 (2017年 9月20日)	265,658	266,548	0.8960	0.8990
第15特定期間 (2018年 3月20日)	163,696	164,357	0.7424	0.7454
第16特定期間 (2018年 9月20日)	149,174	149,525	0.8489	0.8509
第17特定期間 (2019年 3月20日)	132,620	132,914	0.8993	0.9013

第18特定期間 (2019年 9月20日)	124,070	124,339	0.9239	0.9259
第19特定期間 (2020年 3月23日)	82,039	82,275	0.6955	0.6975
第20特定期間 (2020年 9月23日)	84,387	84,603	0.7840	0.7860
第21特定期間 (2021年 3月22日)	83,090	83,280	0.8772	0.8792
第22特定期間 (2021年 9月21日)	81,162	81,332	0.9546	0.9566
第23特定期間 (2022年 3月22日)	90,441	90,599	1.1467	1.1487
第24特定期間 (2022年 9月20日)	102,280	102,429	1.3746	1.3766
第25特定期間 (2023年 3月20日)	85,424	85,566	1.2045	1.2065
第26特定期間 (2023年 9月20日)	89,363	89,564	1.3353	1.3383
第27特定期間 (2024年 3月21日)	88,148	88,335	1.4197	1.4227
2023年 4月末日	89,200	—	1.2697	—
5月末日	88,159	—	1.2668	—
6月末日	90,116	—	1.3131	—
7月末日	87,917	—	1.2929	—
8月末日	88,738	—	1.3177	—
9月末日	86,264	—	1.2945	—
10月末日	84,428	—	1.2794	—
11月末日	87,233	—	1.3418	—
12月末日	83,122	—	1.3021	—
2024年 1月末日	85,652	—	1.3557	—
2月末日	86,806	—	1.3892	—
3月末日	89,867	—	1.4515	—
4月末日	91,113	—	1.4866	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第8計算期間 (2014年 9月22日)	104,354	104,401	2.2002	2.2012
第9計算期間 (2015年 3月20日)	90,378	90,416	2.3474	2.3484
第10計算期間 (2015年 9月24日)	55,105	55,132	2.0550	2.0560
第11計算期間 (2016年 3月22日)	43,339	43,361	1.9595	1.9605
第12計算期間 (2016年 9月20日)	37,087	37,107	1.8969	1.8979
第13計算期間 (2017年 3月21日)	37,492	37,509	2.1432	2.1442
第14計算期間 (2017年 9月20日)	30,230	30,244	2.1175	2.1185
第15計算期間 (2018年 3月20日)	20,595	20,607	1.7906	1.7916
第16計算期間 (2018年 9月20日)	20,035	20,045	2.0848	2.0858
第17計算期間 (2019年 3月20日)	18,027	18,035	2.2398	2.2408
第18計算期間 (2019年 9月20日)	20,046	20,054	2.3318	2.3328
第19計算期間 (2020年 3月23日)	14,975	14,984	1.7765	1.7775
第20計算期間 (2020年 9月23日)	14,525	14,533	2.0305	2.0315
第21計算期間 (2021年 3月22日)	13,784	13,790	2.3043	2.3053
第22計算期間 (2021年 9月21日)	13,335	13,340	2.5383	2.5393

第23計算期間 (2022年 3月22日)	15,320	15,325	3.0827	3.0837
第24計算期間 (2022年 9月20日)	21,757	21,762	3.6997	3.7007
第25計算期間 (2023年 3月20日)	17,573	17,578	3.2731	3.2741
第26計算期間 (2023年 9月20日)	16,690	16,695	3.6641	3.6651
第27計算期間 (2024年 3月21日)	15,579	15,583	3.9486	3.9496
2023年 4月末日	17,977	—	3.4557	—
5月末日	17,573	—	3.4534	—
6月末日	17,284	—	3.5854	—
7月末日	16,842	—	3.5351	—
8月末日	16,804	—	3.6088	—
9月末日	16,116	—	3.5525	—
10月末日	15,631	—	3.5197	—
11月末日	15,648	—	3.6994	—
12月末日	14,788	—	3.5980	—
2024年 1月末日	15,187	—	3.7545	—
2月末日	15,379	—	3.8560	—
3月末日	15,865	—	4.0371	—
4月末日	15,764	—	4.1438	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第8特定期間 (2014年 9月22日)	48,861	49,527	1.4672	1.4872
第9特定期間 (2015年 3月20日)	36,767	37,360	1.2404	1.2604
第10特定期間 (2015年 9月24日)	22,441	22,797	0.9441	0.9591
第11特定期間 (2016年 3月22日)	18,279	18,491	0.8618	0.8718
第12特定期間 (2016年 9月20日)	14,447	14,521	0.7837	0.7877
第13特定期間 (2017年 3月21日)	15,341	15,411	0.8829	0.8869
第14特定期間 (2017年 9月20日)	12,242	12,283	0.8868	0.8898
第15特定期間 (2018年 3月20日)	7,433	7,464	0.7065	0.7095
第16特定期間 (2018年 9月20日)	6,604	6,621	0.7606	0.7626
第17特定期間 (2019年 3月20日)	6,061	6,076	0.7868	0.7888
第18特定期間 (2019年 9月20日)	5,127	5,140	0.7696	0.7716
第19特定期間 (2020年 3月23日)	2,793	2,805	0.4757	0.4777
第20特定期間 (2020年 9月23日)	3,605	3,615	0.6807	0.6827
第21特定期間 (2021年 3月22日)	3,698	3,708	0.8014	0.8034
第22特定期間 (2021年 9月21日)	3,473	3,481	0.8218	0.8238
第23特定期間 (2022年 3月22日)	3,779	3,786	0.9870	0.9890
第24特定期間 (2022年 9月20日)	3,787	3,794	1.0610	1.0630
第25特定期間 (2023年 3月20日)	3,100	3,107	0.9124	0.9144
第26特定期間 (2023年 9月20日)	3,154	3,160	0.9655	0.9675
第27特定期間 (2024年 3月21日)	3,184	3,191	1.0292	1.0312

2023年 4月末日	3,208	—	0.9491	—
5月末日	3,124	—	0.9326	—
6月末日	3,247	—	0.9781	—
7月末日	3,182	—	0.9626	—
8月末日	3,144	—	0.9554	—
9月末日	3,019	—	0.9238	—
10月末日	2,952	—	0.9106	—
11月末日	3,205	—	0.9935	—
12月末日	3,142	—	0.9893	—
2024年 1月末日	3,119	—	0.9964	—
2月末日	3,131	—	1.0053	—
3月末日	3,238	—	1.0486	—
4月末日	3,293	—	1.0811	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第8計算期間 (2014年 9月22日)	3,324	3,326	2.3449	2.3459
第9計算期間 (2015年 3月20日)	2,896	2,898	2.1719	2.1729
第10計算期間 (2015年 9月24日)	1,750	1,751	1.8030	1.8040
第11計算期間 (2016年 3月22日)	1,531	1,532	1.8141	1.8151
第12計算期間 (2016年 9月20日)	1,302	1,303	1.7419	1.7429
第13計算期間 (2017年 3月21日)	1,651	1,652	2.0173	2.0183
第14計算期間 (2017年 9月20日)	1,510	1,510	2.0752	2.0762
第15計算期間 (2018年 3月20日)	1,003	1,004	1.6887	1.6897
第16計算期間 (2018年 9月20日)	926	926	1.8534	1.8544
第17計算期間 (2019年 3月20日)	878	878	1.9474	1.9484
第18計算期間 (2019年 9月20日)	960	960	1.9310	1.9320
第19計算期間 (2020年 3月23日)	613	614	1.2126	1.2136
第20計算期間 (2020年 9月23日)	848	849	1.7650	1.7660
第21計算期間 (2021年 3月22日)	854	854	2.1108	2.1118
第22計算期間 (2021年 9月21日)	895	895	2.1946	2.1956
第23計算期間 (2022年 3月22日)	1,167	1,168	2.6737	2.6747
第24計算期間 (2022年 9月20日)	1,188	1,189	2.9050	2.9060
第25計算期間 (2023年 3月20日)	798	798	2.5278	2.5288
第26計算期間 (2023年 9月20日)	755	755	2.7081	2.7091
第27計算期間 (2024年 3月21日)	739	739	2.9222	2.9232
2023年 4月末日	823	—	2.6349	—
5月末日	803	—	2.5947	—
6月末日	822	—	2.7273	—
7月末日	774	—	2.6896	—
8月末日	746	—	2.6752	—

9月末日	722	—	2.5914	—
10月末日	690	—	2.5597	—
11月末日	731	—	2.7988	—
12月末日	716	—	2.7929	—
2024年 1月末日	719	—	2.8187	—
2月末日	726	—	2.8494	—
3月末日	747	—	2.9774	—
4月末日	760	—	3.0747	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第8特定期間 (2014年 9月22日)	148,311	150,033	1.1199	1.1329
第9特定期間 (2015年 3月20日)	92,614	94,022	0.8546	0.8676
第10特定期間 (2015年 9月24日)	53,478	54,364	0.6038	0.6138
第11特定期間 (2016年 3月22日)	46,166	46,714	0.5893	0.5963
第12特定期間 (2016年 9月20日)	42,303	42,791	0.6066	0.6136
第13特定期間 (2017年 3月21日)	55,153	55,693	0.7140	0.7210
第14特定期間 (2017年 9月20日)	47,893	48,381	0.6870	0.6940
第15特定期間 (2018年 3月20日)	31,868	32,288	0.5305	0.5375
第16特定期間 (2018年 9月20日)	23,319	23,517	0.4715	0.4755
第17特定期間 (2019年 3月20日)	23,511	23,686	0.5364	0.5404
第18特定期間 (2019年 9月20日)	20,690	20,855	0.5004	0.5044
第19特定期間 (2020年 3月23日)	10,748	10,899	0.2864	0.2904
第20特定期間 (2020年 9月23日)	10,343	10,377	0.3068	0.3078
第21特定期間 (2021年 3月22日)	9,253	9,282	0.3236	0.3246
第22特定期間 (2021年 9月21日)	9,632	9,658	0.3741	0.3751
第23特定期間 (2022年 3月22日)	11,129	11,152	0.4801	0.4811
第24特定期間 (2022年 9月20日)	11,927	11,948	0.5780	0.5790
第25特定期間 (2023年 3月20日)	10,174	10,194	0.5240	0.5250
第26特定期間 (2023年 9月20日)	11,606	11,624	0.6421	0.6431
第27特定期間 (2024年 3月21日)	11,090	11,107	0.6755	0.6765
2023年 4月末日	11,046	—	0.5747	—
5月末日	11,061	—	0.5798	—
6月末日	11,636	—	0.6237	—
7月末日	11,592	—	0.6298	—
8月末日	11,467	—	0.6318	—
9月末日	10,816	—	0.6013	—
10月末日	10,643	—	0.6002	—
11月末日	11,245	—	0.6486	—
12月末日	10,858	—	0.6393	—
2024年 1月末日	10,936	—	0.6503	—

2月末日	11,108	—	0.6713	—
3月末日	11,412	—	0.6961	—
4月末日	11,231	—	0.6934	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第8計算期間 (2014年 9月22日)	5,133	5,136	2.1022	2.1032
第9計算期間 (2015年 3月20日)	2,832	2,834	1.7326	1.7336
第10計算期間 (2015年 9月24日)	1,816	1,817	1.3238	1.3248
第11計算期間 (2016年 3月22日)	1,867	1,868	1.4245	1.4255
第12計算期間 (2016年 9月20日)	1,991	1,992	1.5694	1.5704
第13計算期間 (2017年 3月21日)	3,759	3,761	1.9638	1.9648
第14計算期間 (2017年 9月20日)	3,002	3,004	2.0077	2.0087
第15計算期間 (2018年 3月20日)	2,100	2,101	1.6580	1.6590
第16計算期間 (2018年 9月20日)	1,638	1,639	1.5712	1.5722
第17計算期間 (2019年 3月20日)	1,614	1,615	1.8730	1.8740
第18計算期間 (2019年 9月20日)	1,260	1,261	1.8301	1.8311
第19計算期間 (2020年 3月23日)	680	681	1.1001	1.1011
第20計算期間 (2020年 9月23日)	599	599	1.2455	1.2465
第21計算期間 (2021年 3月22日)	587	588	1.3375	1.3385
第22計算期間 (2021年 9月21日)	583	583	1.5704	1.5714
第23計算期間 (2022年 3月22日)	682	682	2.0444	2.0454
第24計算期間 (2022年 9月20日)	959	960	2.4700	2.4710
第25計算期間 (2023年 3月20日)	745	745	2.2627	2.2637
第26計算期間 (2023年 9月20日)	642	642	2.7983	2.7993
第27計算期間 (2024年 3月21日)	672	672	2.9710	2.9720
2023年 4月末日	813	—	2.4856	—
5月末日	615	—	2.5122	—
6月末日	635	—	2.7064	—
7月末日	640	—	2.7368	—
8月末日	631	—	2.7500	—
9月末日	601	—	2.6207	—
10月末日	600	—	2.6203	—
11月末日	648	—	2.8358	—
12月末日	640	—	2.7997	—
2024年 1月末日	650	—	2.8527	—
2月末日	671	—	2.9493	—
3月末日	692	—	3.0613	—
4月末日	675	—	3.0535	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第6特定期間 (2014年 9月22日)	46,016	46,510	1.3995	1.4145
第7特定期間 (2015年 3月20日)	33,274	33,674	1.2475	1.2625
第8特定期間 (2015年 9月24日)	20,180	20,503	0.9390	0.9540
第9特定期間 (2016年 3月22日)	16,064	16,260	0.8202	0.8302
第10特定期間 (2016年 9月20日)	13,113	13,233	0.7665	0.7735
第11特定期間 (2017年 3月21日)	13,111	13,218	0.8572	0.8642
第12特定期間 (2017年 9月20日)	11,107	11,198	0.8513	0.8583
第13特定期間 (2018年 3月20日)	7,726	7,805	0.6845	0.6915
第14特定期間 (2018年 9月20日)	5,576	5,611	0.6456	0.6496
第15特定期間 (2019年 3月20日)	5,176	5,205	0.7047	0.7087
第16特定期間 (2019年 9月20日)	5,559	5,591	0.7087	0.7127
第17特定期間 (2020年 3月23日)	3,081	3,109	0.4296	0.4336
第18特定期間 (2020年 9月23日)	3,383	3,396	0.5250	0.5270
第19特定期間 (2021年 3月22日)	3,127	3,138	0.6024	0.6044
第20特定期間 (2021年 9月21日)	3,199	3,209	0.6764	0.6784
第21特定期間 (2022年 3月22日)	3,407	3,416	0.8183	0.8203
第22特定期間 (2022年 9月20日)	3,780	3,788	0.9431	0.9451
第23特定期間 (2023年 3月20日)	3,171	3,179	0.8524	0.8544
第24特定期間 (2023年 9月20日)	3,391	3,398	0.9940	0.9960
第25特定期間 (2024年 3月21日)	3,531	3,538	1.0842	1.0862
2023年 4月末日	3,438	—	0.9271	—
5月末日	3,374	—	0.9158	—
6月末日	3,418	—	0.9854	—
7月末日	3,419	—	0.9903	—
8月末日	3,415	—	0.9977	—
9月末日	3,238	—	0.9434	—
10月末日	3,170	—	0.9437	—
11月末日	3,401	—	1.0250	—
12月末日	3,314	—	1.0040	—
2024年 1月末日	3,383	—	1.0283	—
2月末日	3,453	—	1.0578	—
3月末日	3,621	—	1.1127	—
4月末日	3,639	—	1.1236	—

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型

2024年4月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第6計算期間 (2014年 9月22日)	6,527	6,531	1.9992	2.0002
第7計算期間 (2015年 3月20日)	4,826	4,828	1.9078	1.9088

第8計算期間	(2015年 9月24日)	2,951	2,953	1.5517	1.5527
第9計算期間	(2016年 3月22日)	2,304	2,306	1.4967	1.4977
第10計算期間	(2016年 9月20日)	1,940	1,942	1.5004	1.5014
第11計算期間	(2017年 3月21日)	1,828	1,829	1.7681	1.7691
第12計算期間	(2017年 9月20日)	1,451	1,452	1.8433	1.8443
第13計算期間	(2018年 3月20日)	958	958	1.5625	1.5635
第14計算期間	(2018年 9月20日)	792	792	1.5450	1.5460
第15計算期間	(2019年 3月20日)	828	828	1.7491	1.7501
第16計算期間	(2019年 9月20日)	874	874	1.8204	1.8214
第17計算期間	(2020年 3月23日)	444	444	1.1393	1.1403
第18計算期間	(2020年 9月23日)	480	481	1.4449	1.4459
第19計算期間	(2021年 3月22日)	489	489	1.6924	1.6934
第20計算期間	(2021年 9月21日)	548	548	1.9333	1.9343
第21計算期間	(2022年 3月22日)	595	595	2.3775	2.3785
第22計算期間	(2022年 9月20日)	605	605	2.7749	2.7759
第23計算期間	(2023年 3月20日)	536	536	2.5412	2.5422
第24計算期間	(2023年 9月20日)	558	558	2.9990	3.0000
第25計算期間	(2024年 3月21日)	754	754	3.3097	3.3107
	2023年 4月末日	552	—	2.7695	—
	5月末日	531	—	2.7414	—
	6月末日	568	—	2.9559	—
	7月末日	567	—	2.9767	—
	8月末日	559	—	3.0054	—
	9月末日	528	—	2.8458	—
	10月末日	528	—	2.8526	—
	11月末日	546	—	3.1039	—
	12月末日	528	—	3.0462	—
	2024年 1月末日	629	—	3.1283	—
	2月末日	706	—	3.2236	—
	3月末日	837	—	3.3934	—
	4月末日	897	—	3.4338	—

②【分配の推移】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0240円
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0240円
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0240円
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0240円
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0240円
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0240円
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0240円

第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0240円
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0210円
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0180円
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0180円
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0180円
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0180円
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0180円
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0180円
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0180円
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0180円
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0180円
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0180円
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0180円

※各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0010円
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0010円
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0010円
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0010円
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0010円
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0010円
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0010円
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0010円
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0010円
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0010円
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0010円
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0010円
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0010円
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0010円
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0010円
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0010円
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0010円
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0010円
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0010円
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0010円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.1500円
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.1500円
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.1300円

第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.1150円
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0650円
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0300円
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0240円
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0180円
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0150円
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0120円
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0120円
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0120円
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0120円
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0120円
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0120円
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0120円
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0120円
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0120円
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0130円
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0180円

※各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0010円
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0010円
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0010円
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0010円
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0010円
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0010円
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0010円
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0010円
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0010円
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0010円
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0010円
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0010円
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0010円
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0010円
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0010円
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0010円
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0010円
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0010円
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0010円
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0010円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.1200円
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.1200円
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.1000円
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0850円
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0450円
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0240円
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0210円
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0180円
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0150円
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0120円
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0120円
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0120円
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0120円
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0120円
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0120円
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0120円
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0120円
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0120円
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0120円
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0120円

※各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0010円
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0010円
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0010円
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0010円
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0010円
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0010円
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0010円
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0010円
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0010円
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0010円
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0010円
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0010円
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0010円
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0010円
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0010円
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0010円
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0010円
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0010円

第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0010円
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0010円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0780円
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0780円
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0660円
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0570円
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0420円
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0420円
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0420円
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0420円
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0330円
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0240円
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0240円
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0240円
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0180円
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0060円
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0060円
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0060円
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0060円
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0060円
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0060円
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0060円

※各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0010円
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0010円
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0010円
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0010円
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0010円
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0010円
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0010円
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0010円
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0010円
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0010円
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0010円
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0010円
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0010円
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0010円

第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0010円
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0010円
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0010円
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0010円
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0010円
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0010円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第6特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0900円
第7特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0900円
第8特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0900円
第9特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0850円
第10特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0570円
第11特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0420円
第12特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0420円
第13特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0420円
第14特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0330円
第15特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0240円
第16特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0240円
第17特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0240円
第18特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0200円
第19特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0120円
第20特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0120円
第21特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0120円
第22特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0120円
第23特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0120円
第24特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0120円
第25特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0120円

※各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第6計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	0.0010円
第7計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	0.0010円
第8計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	0.0010円
第9計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.0010円
第10計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.0010円
第11計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.0010円
第12計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	0.0010円
第13計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	0.0010円
第14計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	0.0010円
第15計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	0.0010円

第16計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	0.0010円
第17計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	0.0010円
第18計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	0.0010円
第19計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	0.0010円
第20計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	0.0010円
第21計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	0.0010円
第22計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.0010円
第23計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	0.0010円
第24計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	0.0010円
第25計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	0.0010円

③【収益率の推移】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	14.9%
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	△3.2%
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△11.4%
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	1.5%
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	4.4%
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.7%
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	△0.6%
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△11.4%
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	8.4%
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	6.9%
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	5.6%
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△23.7%
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	18.8%
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	9.4%
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	8.7%
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	12.6%
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.2%
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△7.6%
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	△1.5%
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	2.5%

※各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

※各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型

	計算期間	収益率
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	14.9%
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	△3.3%

第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△11.5%
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	1.7%
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	4.4%
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	0.6%
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	△0.7%
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△11.5%
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	8.5%
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	7.1%
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	5.5%
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△24.1%
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	18.7%
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	9.4%
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	8.7%
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	12.7%
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	0.2%
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△7.7%
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	△1.6%
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	2.6%

※各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	21.2%
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	6.2%
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△11.5%
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	△4.4%
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	△3.0%
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	12.9%
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	△1.1%
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△15.1%
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	16.4%
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	7.4%
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	4.1%
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△23.4%
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	14.5%
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	13.4%
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	10.2%
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	21.4%
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	20.9%
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△11.5%
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	11.9%
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	7.7%

※各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

※各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型

	計算期間	収益率
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	22.7%
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	6.7%
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△12.4%
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	△4.6%
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	△3.1%
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	13.0%
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	△1.2%
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△15.4%
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	16.5%
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	7.5%
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	4.2%
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△23.8%
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	14.4%
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	13.5%
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	10.2%
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	21.5%
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	20.0%
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△11.5%
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	12.0%
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	7.8%

※各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	21.3%
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	△7.3%
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△15.8%
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.3%
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	△3.8%
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	15.7%
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	2.8%
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△18.3%
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	9.8%
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	5.0%
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	△0.7%
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△36.6%

第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	45.6%
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	19.5%
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	4.0%
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	21.6%
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	8.7%
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△12.9%
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	7.1%
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	7.8%

※各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

※各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型

	計算期間	収益率
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	22.0%
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	△7.3%
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△16.9%
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	0.7%
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	△3.9%
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	15.9%
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	2.9%
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△18.6%
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	9.8%
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	5.1%
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	△0.8%
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△37.2%
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	45.6%
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	19.6%
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	4.0%
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	21.9%
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	8.7%
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△13.0%
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	7.2%
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	7.9%

※各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	26.3%
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	△16.7%
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△21.6%
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	7.0%

第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	10.1%
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	24.6%
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	2.1%
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△16.7%
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	△4.9%
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	18.9%
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	△2.2%
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△38.0%
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	13.4%
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	7.4%
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	17.5%
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	29.9%
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	21.6%
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△8.3%
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	23.7%
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	6.1%

※各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

※各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型

	計算期間	収益率
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	27.2%
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	△17.5%
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△23.5%
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	7.7%
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	10.2%
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	25.2%
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	2.3%
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△17.4%
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	△5.2%
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	19.3%
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	△2.2%
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△39.8%
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	13.3%
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	7.5%
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	17.5%
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	30.2%
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	20.9%
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△8.4%
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	23.7%
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	6.2%

※各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第6特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	24.5%
第7特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	△4.4%
第8特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△17.5%
第9特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	△3.6%
第10特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.4%
第11特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	17.3%
第12特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	4.2%
第13特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△14.7%
第14特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	△0.9%
第15特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	12.9%
第16特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	4.0%
第17特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△36.0%
第18特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	26.9%
第19特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	17.0%
第20特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	14.3%
第21特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	22.8%
第22特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	16.7%
第23特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△8.3%
第24特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	18.0%
第25特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	10.3%

※各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

※各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型

	計算期間	収益率
第6計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	25.2%
第7計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	△4.5%
第8計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	△18.6%
第9計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	△3.5%
第10計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	0.3%
第11計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	17.9%
第12計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	4.3%
第13計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	△15.2%
第14計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	△1.1%
第15計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	13.3%
第16計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	4.1%
第17計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	△37.4%

第18計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	26.9%
第19計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	17.2%
第20計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	14.3%
第21計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	23.0%
第22計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	16.8%
第23計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	△8.4%
第24計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	18.1%
第25計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	10.4%

※各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

（４）【設定及び解約の実績】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	977,173,251	921,432,931	3,651,472,179
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	329,362,698	837,647,907	3,143,186,970
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	76,798,786	722,033,782	2,497,951,974
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	224,178,141	419,993,436	2,302,136,679
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	579,269,071	467,173,123	2,414,232,627
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	1,199,634,166	560,400,799	3,053,465,994
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	167,175,460	724,361,505	2,496,279,949
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	63,550,499	567,397,338	1,992,433,110
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	27,626,109	267,488,924	1,752,570,295
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	86,589,202	221,292,067	1,617,867,430
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	1,003,260,834	287,806,829	2,333,321,435
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	1,128,183,903	322,722,704	3,138,782,634
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	156,369,223	316,953,958	2,978,197,899
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	111,022,526	995,036,890	2,094,183,535
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	28,798,090	432,097,640	1,690,883,985
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	47,560,850	124,550,395	1,613,894,440
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	238,023,953	157,437,267	1,694,481,126
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	90,951,145	188,605,322	1,596,826,949
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	13,684,259	132,196,449	1,478,314,759
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	11,130,384	225,721,903	1,263,723,240

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	916,539,768	491,972,969	2,090,528,946
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	388,735,151	515,187,745	1,964,076,352
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	116,132,923	459,815,113	1,620,394,162
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	99,001,926	171,362,715	1,548,033,373

第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	195,008,085	145,183,824	1,597,857,634
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	790,631,941	167,651,845	2,220,837,730
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	122,702,632	460,530,719	1,883,009,643
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	59,656,975	258,720,882	1,683,945,736
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	42,593,629	222,224,866	1,504,314,499
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	89,491,241	244,886,367	1,348,919,373
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	1,043,934,696	389,634,410	2,003,219,659
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	1,303,893,735	552,987,597	2,754,125,797
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	254,628,496	339,761,466	2,668,992,827
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	58,732,182	602,153,743	2,125,571,266
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	27,972,621	467,276,858	1,686,267,029
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	79,747,363	316,771,062	1,449,243,330
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	689,909,384	160,066,363	1,979,086,351
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	960,071,985	494,961,157	2,444,197,179
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	23,691,492	1,173,084,888	1,294,803,783
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	9,627,571	331,113,088	973,318,266

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	522,016,777,223	17,876,569,308	917,652,091,384
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	29,391,995,500	108,240,294,035	838,803,792,849
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	23,953,464,644	206,927,465,356	655,829,792,137
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	23,760,416,277	124,949,588,026	554,640,620,388
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	13,227,275,088	83,174,972,982	484,692,922,494
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	9,705,478,903	100,052,730,241	394,345,671,156
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	4,005,878,112	101,849,235,607	296,502,313,661
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	2,145,521,962	78,147,142,109	220,500,693,514
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	1,750,744,452	46,534,967,242	175,716,470,724
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	1,462,413,059	29,711,857,810	147,467,025,973
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	5,159,919,361	18,336,093,047	134,290,852,287
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	3,250,138,085	19,577,361,588	117,963,628,784
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	885,915,290	11,216,983,914	107,632,560,160
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	555,054,679	13,468,668,146	94,718,946,693
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	401,514,982	10,102,509,911	85,017,951,764
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	635,471,800	6,785,102,553	78,868,321,011
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	1,582,825,725	6,042,333,092	74,408,813,644
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	509,030,098	3,996,602,227	70,921,241,515
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	293,272,563	4,288,904,959	66,925,609,119
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	325,152,687	5,159,365,714	62,091,396,092

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	26,525,528,934	4,264,564,249	47,430,394,805
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	2,425,093,923	11,354,903,664	38,500,585,064
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	1,277,415,074	12,962,759,736	26,815,240,402
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	988,810,589	5,686,230,984	22,117,820,007
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	783,468,267	3,349,816,614	19,551,471,660
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	1,069,996,270	3,127,852,158	17,493,615,772
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	488,913,707	3,706,286,453	14,276,243,026
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	441,955,518	3,216,130,240	11,502,068,304
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	290,336,709	2,181,817,808	9,610,587,205
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	229,338,495	1,791,392,278	8,048,533,422
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	1,737,551,708	1,189,305,868	8,596,779,262
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	1,451,676,315	1,618,649,253	8,429,806,324
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	195,819,133	1,471,770,599	7,153,854,858
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	108,126,816	1,279,595,805	5,982,385,869
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	115,976,035	844,713,060	5,253,648,844
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	184,923,555	468,931,643	4,969,640,756
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	2,969,344,829	2,058,262,460	5,880,723,125
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	442,134,164	953,878,034	5,368,979,255
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	107,227,154	920,969,573	4,555,236,836
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	38,921,221	648,577,792	3,945,580,265

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	11,082,668,109	3,601,051,869	33,302,094,051
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	578,052,269	4,238,104,165	29,642,042,155
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	599,168,572	6,470,101,267	23,771,109,460
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	844,509,367	3,404,182,243	21,211,436,584
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	861,725,404	3,639,061,461	18,434,100,527
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	2,064,252,565	3,121,170,817	17,377,182,275
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	358,720,574	3,931,616,566	13,804,286,283
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	157,139,506	3,439,640,221	10,521,785,568
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	135,657,788	1,974,513,427	8,682,929,929
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	118,003,465	1,096,673,960	7,704,259,434
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	36,688,253	1,077,765,985	6,663,181,702
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	44,406,482	836,058,462	5,871,529,722
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	36,073,665	611,349,374	5,296,254,013
第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	29,947,916	710,450,113	4,615,751,816
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	17,834,164	407,708,910	4,225,877,070
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	30,430,919	427,118,299	3,829,189,690
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	105,950,069	365,695,948	3,569,443,811
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	11,235,788	182,290,116	3,398,389,483

第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	10,408,489	141,485,521	3,267,312,451
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	10,166,089	182,893,879	3,094,584,661

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	536,641,992	246,020,520	1,417,899,010
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	218,327,586	302,437,285	1,333,789,311
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	30,304,797	393,235,958	970,858,150
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	22,331,113	149,094,080	844,095,183
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	17,343,527	113,507,455	747,931,255
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	198,575,014	127,936,817	818,569,452
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	16,328,646	107,138,145	727,759,953
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	5,258,572	138,532,337	594,486,188
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	4,149,796	98,953,725	499,682,259
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	3,871,234	52,550,503	451,002,990
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	137,461,486	91,095,324	497,369,152
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	60,616,495	51,690,290	506,295,357
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	2,203,646	27,674,746	480,824,257
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	1,633,560	77,854,693	404,603,124
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	23,920,436	20,461,164	408,062,396
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	45,117,369	16,429,553	436,750,212
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	75,897,283	103,449,979	409,197,516
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	4,279,329	97,677,816	315,799,029
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	535,454	37,294,942	279,039,541
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	387,819	26,407,108	253,020,252

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第8特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	8,030,132,399	48,871,420,043	132,433,542,829
第9特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	1,995,718,424	26,054,187,342	108,375,073,911
第10特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	1,606,833,958	21,411,667,657	88,570,240,212
第11特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	1,446,169,323	11,676,037,820	78,340,371,715
第12特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	3,968,213,093	12,565,575,141	69,743,009,667
第13特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	18,792,820,229	11,295,456,479	77,240,373,417
第14特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	4,099,882,197	11,624,471,671	69,715,783,943
第15特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	1,556,340,336	11,204,028,276	60,068,096,003
第16特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	1,116,341,325	11,727,228,613	49,457,208,715
第17特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	478,688,007	6,101,248,894	43,834,647,828
第18特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	2,021,294,086	4,508,020,810	41,347,921,104
第19特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	1,396,471,588	5,211,309,106	37,533,083,586
第20特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	493,786,494	4,308,697,875	33,718,172,205

第21特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	116,714,170	5,236,519,554	28,598,366,821
第22特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	94,155,394	2,945,341,686	25,747,180,529
第23特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	83,093,689	2,650,152,083	23,180,122,135
第24特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	241,824,685	2,784,407,790	20,637,539,030
第25特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	60,211,491	1,281,300,018	19,416,450,503
第26特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	38,582,461	1,379,616,175	18,075,416,789
第27特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	33,674,752	1,690,927,281	16,418,164,260

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第8計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	506,240,387	1,429,270,973	2,442,198,611
第9計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	288,398,286	1,095,624,539	1,634,972,358
第10計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	101,874,534	364,708,860	1,372,138,032
第11計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	69,702,325	130,998,079	1,310,842,278
第12計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	169,647,684	211,590,888	1,268,899,074
第13計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	851,668,466	206,176,875	1,914,390,665
第14計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	104,825,713	523,607,139	1,495,609,239
第15計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	5,760,728	234,616,767	1,266,753,200
第16計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	9,812,326	233,564,335	1,043,001,191
第17計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	3,280,871	184,348,985	861,933,077
第18計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	7,948,901	181,083,766	688,798,212
第19計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	10,007,675	80,162,497	618,643,390
第20計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	3,838,476	141,176,518	481,305,348
第21計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	3,454,937	45,413,017	439,347,268
第22計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	1,707,858	69,781,899	371,273,227
第23計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	2,708,520	40,064,092	333,917,655
第24計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	122,188,760	67,592,194	388,514,221
第25計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	850,758	60,055,835	329,309,144
第26計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	1,476,970	101,172,763	229,613,351
第27計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	558,868	3,811,645	226,360,574

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第6特定期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	5,961,853,901	8,912,432,863	32,881,014,312
第7特定期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	331,478,524	6,538,438,688	26,674,054,148
第8特定期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	407,023,709	5,589,936,939	21,491,140,918
第9特定期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	864,867,381	2,769,925,142	19,586,083,157
第10特定期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	706,793,241	3,184,738,162	17,108,138,236
第11特定期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	1,581,185,663	3,394,040,357	15,295,283,542
第12特定期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	778,979,539	3,027,138,616	13,047,124,465
第13特定期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	747,045,330	2,506,854,948	11,287,314,847

第14特定期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	205,234,612	2,854,837,106	8,637,712,353
第15特定期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	117,629,519	1,410,533,057	7,344,808,815
第16特定期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	1,346,274,258	845,968,063	7,845,115,010
第17特定期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	452,997,844	1,125,847,316	7,172,265,538
第18特定期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	75,523,955	802,978,739	6,444,810,754
第19特定期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	35,219,302	1,287,449,945	5,192,580,111
第20特定期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	26,094,647	488,230,994	4,730,443,764
第21特定期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	22,175,939	588,268,003	4,164,351,700
第22特定期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	98,534,552	254,286,494	4,008,599,758
第23特定期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	12,105,901	300,077,007	3,720,628,652
第24特定期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	12,294,760	321,154,664	3,411,768,748
第25特定期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	32,874,113	187,496,304	3,257,146,557

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第6計算期間	2014年 3月21日～2014年 9月22日	488,658,294	1,127,541,763	3,265,238,683
第7計算期間	2014年 9月23日～2015年 3月20日	109,997,383	845,415,031	2,529,821,035
第8計算期間	2015年 3月21日～2015年 9月24日	28,410,952	656,233,944	1,901,998,043
第9計算期間	2015年 9月25日～2016年 3月22日	24,406,522	386,592,994	1,539,811,571
第10計算期間	2016年 3月23日～2016年 9月20日	12,167,916	258,523,324	1,293,456,163
第11計算期間	2016年 9月21日～2017年 3月21日	28,098,126	287,482,706	1,034,071,583
第12計算期間	2017年 3月22日～2017年 9月20日	41,911,253	288,501,316	787,481,520
第13計算期間	2017年 9月21日～2018年 3月20日	5,755,037	180,115,151	613,121,406
第14計算期間	2018年 3月21日～2018年 9月20日	4,088,845	104,478,441	512,731,810
第15計算期間	2018年 9月21日～2019年 3月20日	13,366,927	52,431,794	473,666,943
第16計算期間	2019年 3月21日～2019年 9月20日	65,371,636	58,720,362	480,318,217
第17計算期間	2019年 9月21日～2020年 3月23日	24,201,393	114,615,769	389,903,841
第18計算期間	2020年 3月24日～2020年 9月23日	4,603,604	61,755,465	332,751,980
第19計算期間	2020年 9月24日～2021年 3月22日	2,594,134	46,161,617	289,184,497
第20計算期間	2021年 3月23日～2021年 9月21日	18,169,313	23,560,034	283,793,776
第21計算期間	2021年 9月22日～2022年 3月22日	1,313,854	34,807,244	250,300,386
第22計算期間	2022年 3月23日～2022年 9月20日	15,205,059	47,306,412	218,199,033
第23計算期間	2022年 9月21日～2023年 3月20日	2,478,569	9,707,322	210,970,280
第24計算期間	2023年 3月21日～2023年 9月20日	1,941,271	26,781,179	186,130,372
第25計算期間	2023年 9月21日～2024年 3月21日	55,747,493	13,977,518	227,900,347

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

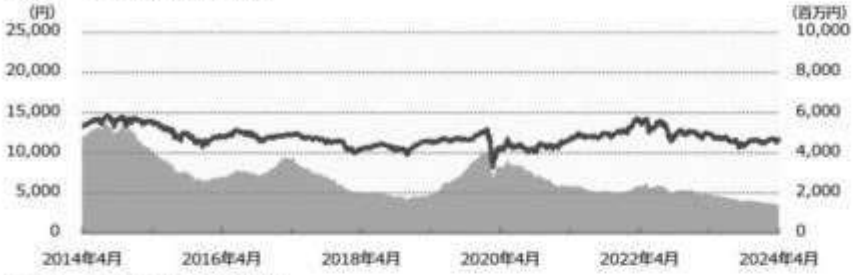
≪参考情報≫

運用実績（2024年4月30日現在）

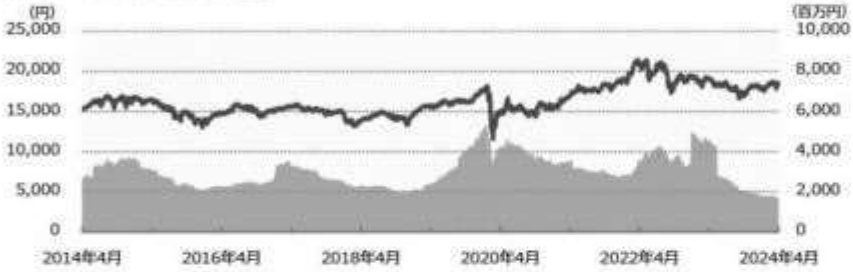
基準価額・純資産の推移（日次）

基準価額（分配後、1万口あたり）（左軸）　純資産総額（右軸）

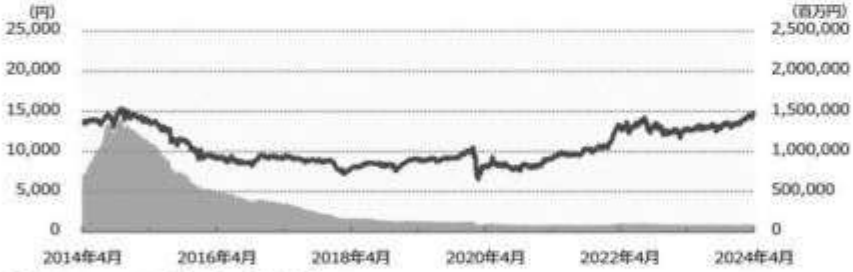
円コース（毎月分配型）



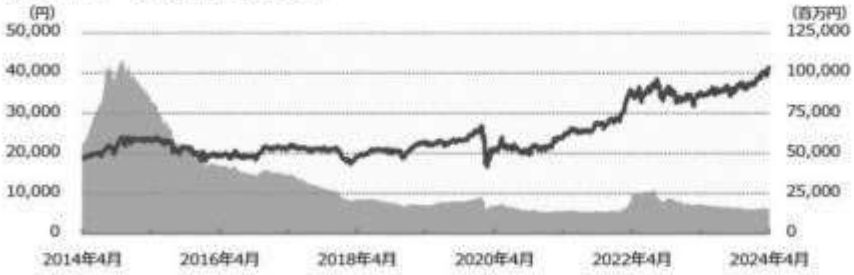
円コース（年2回決算型）



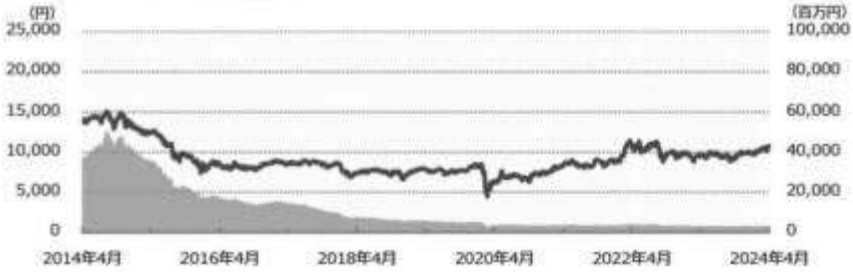
米ドルコース（毎月分配型）



米ドルコース（年2回決算型）



豪ドルコース（毎月分配型）



分配の推移

（1万口あたり、課税前）

円コース（毎月分配型）

2024年4月	30 円
2024年3月	30 円
2024年2月	30 円
2024年1月	30 円
2023年12月	30 円
直近1年間累計	360 円
設定来累計	5,740 円

円コース（年2回決算型）

2024年3月	10 円
2023年9月	10 円
2023年3月	10 円
2022年9月	10 円
2022年3月	10 円
設定来累計	270 円

米ドルコース（毎月分配型）

2024年4月	30 円
2024年3月	30 円
2024年2月	30 円
2024年1月	30 円
2023年12月	30 円
直近1年間累計	320 円
設定来累計	12,110 円

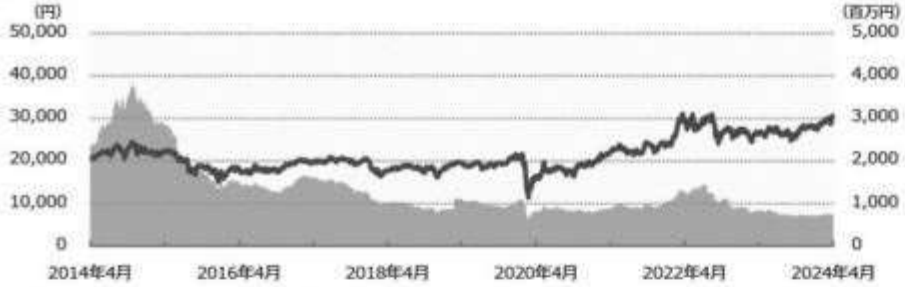
米ドルコース（年2回決算型）

2024年3月	10 円
2023年9月	10 円
2023年3月	10 円
2022年9月	10 円
2022年3月	10 円
設定来累計	260 円

豪ドルコース（毎月分配型）

2024年4月	20 円
2024年3月	20 円
2024年2月	20 円
2024年1月	20 円
2023年12月	20 円
直近1年間累計	240 円
設定来累計	11,460 円

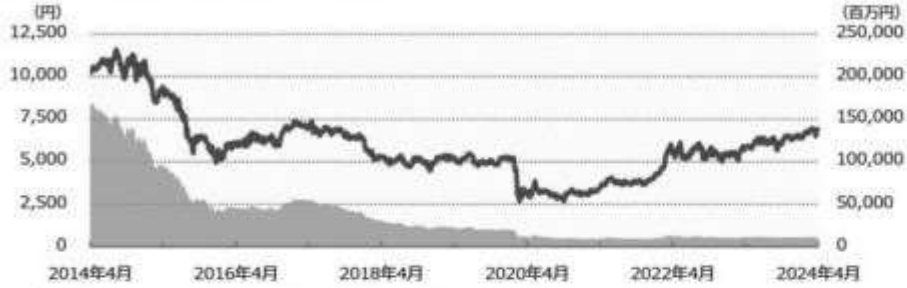
豪ドルコース（年2回決算型）



豪ドルコース（年2回決算型）

2024年3月	10 円
2023年9月	10 円
2023年3月	10 円
2022年9月	10 円
2022年3月	10 円
設定来累計	270 円

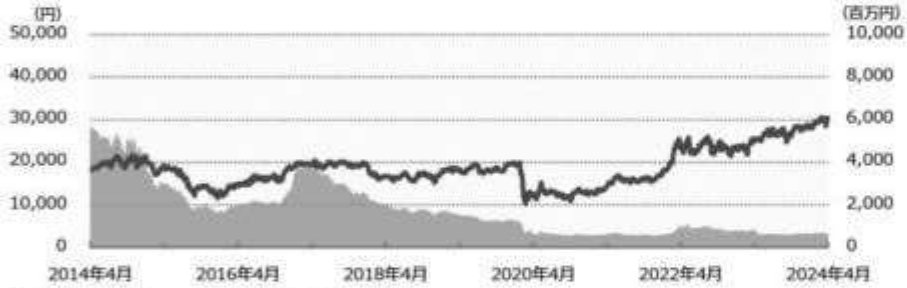
ブラジルレアルコース（毎月分配型）



ブラジルレアルコース（毎月分配型）

2024年4月	10 円
2024年3月	10 円
2024年2月	10 円
2024年1月	10 円
2023年12月	10 円
直近1年間累計	120 円
設定来累計	11,330 円

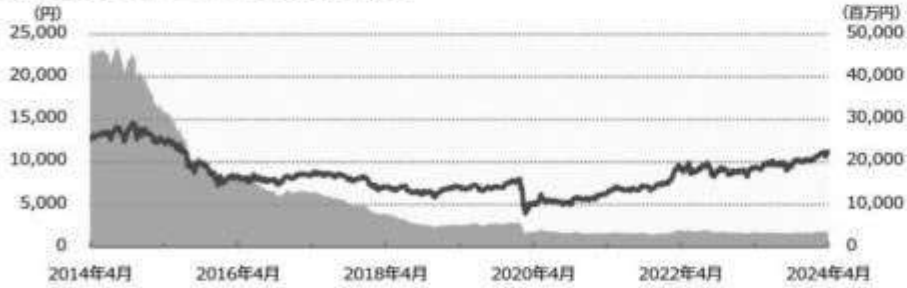
ブラジルレアルコース（年2回決算型）



ブラジルレアルコース（年2回決算型）

2024年3月	10 円
2023年9月	10 円
2023年3月	10 円
2022年9月	10 円
2022年3月	10 円
設定来累計	270 円

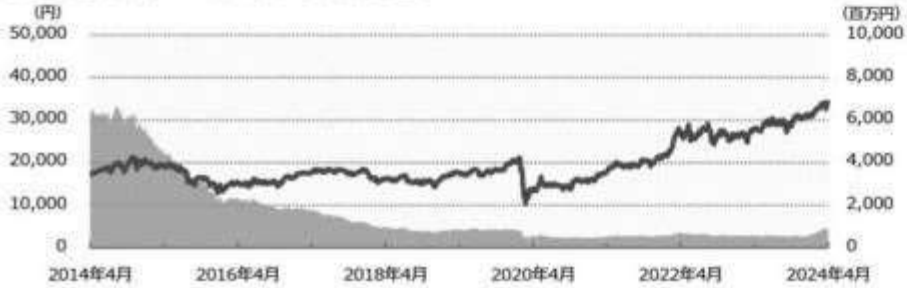
通貨セレクトコース（毎月分配型）



通貨セレクトコース（毎月分配型）

2024年4月	20 円
2024年3月	20 円
2024年2月	20 円
2024年1月	20 円
2023年12月	20 円
直近1年間累計	240 円
設定来累計	10,890 円

通貨セレクトコース（年2回決算型）



通貨セレクトコース（年2回決算型）

2024年3月	10 円
2023年9月	10 円
2023年3月	10 円
2022年9月	10 円
2022年3月	10 円
設定来累計	250 円

主要な資産の状況

実質的な銘柄別投資比率（上位）

毎月分配型

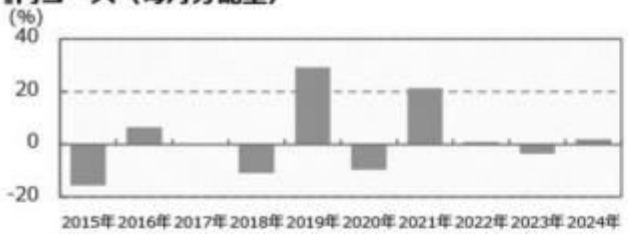
順位	銘柄	業種	投資比率（%）				
			円コース	米ドルコース	豪ドルコース	ブラジルレアルコース	通貨セレクトコース
1	ナショナル・グリッド	総合公益事業	7.5	7.6	7.5	7.5	7.5
2	バンシ	建設･土木	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
3	エンブリッジ	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	7.1	7.2	7.2	7.2	7.2
4	ワンオーケー	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
5	エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3
6	エジソン・インターナショナル	電力	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
7	ペンビナ・パイプライン	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
8	エナジ・トランスファー	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
9	ナイソース	総合公益事業	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
10	アメリカン・タワー	専門不動産投資信託	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1

年2回決算型

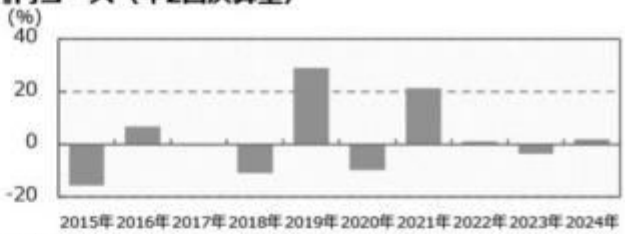
順位	銘柄	業種	投資比率（%）				
			円コース	米ドルコース	豪ドルコース	ブラジルレアルコース	通貨セレクトコース
1	ナショナル・グリッド	総合公益事業	7.5	7.6	7.5	7.5	7.5
2	バンシ	建設･土木	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
3	エンブリッジ	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
4	ワンオーケー	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
5	エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3
6	エジソン・インターナショナル	電力	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
7	ペンビナ・パイプライン	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
8	エナジ・トランスファー	石油･ｶﾞｽ･消耗燃料	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
9	ナイソース	総合公益事業	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4
10	アメリカン・タワー	専門不動産投資信託	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1

年間収益率の推移（暦年ベース）

円コース（毎月分配型）

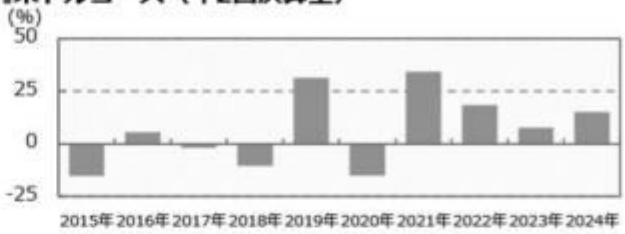


円コース（年2回決算型）

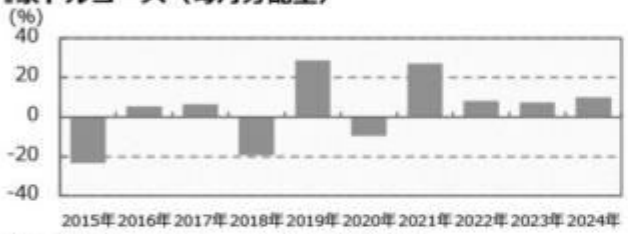


米ドルコース（毎月分配型）

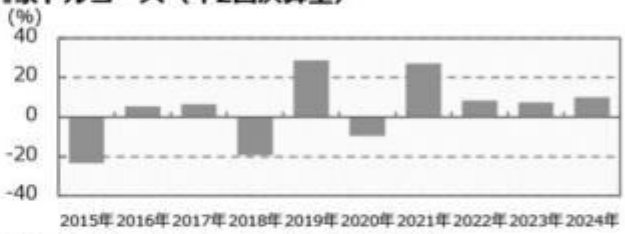
米ドルコース（年2回決算型）



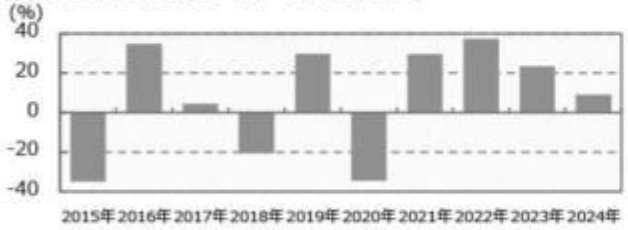
豪ドルコース（毎月分配型）



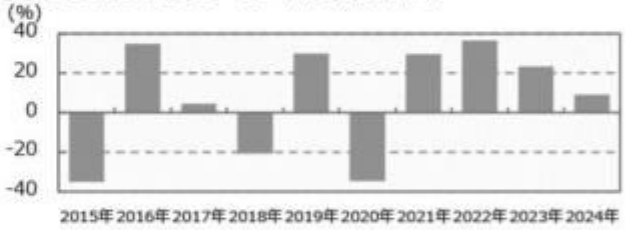
豪ドルコース（年2回決算型）



ブラジルレアルコース（毎月分配型）

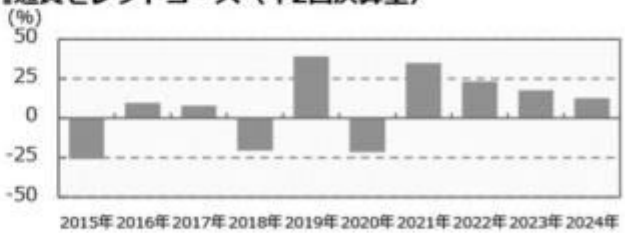


ブラジルレアルコース（年2回決算型）



通貨セレクトコース（毎月分配型）

通貨セレクトコース（年2回決算型）



・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
・ファンドにベンチマークはありません。
・2024年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。●グラフの縦軸の目盛りはファンドごとに異なる場合があります。

第２【管理及び運営】

１【申込（販売）手続等】

(1)受益権の募集

申込期間中の各営業日に受益権の募集が行なわれます。

販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。
※2024年12月14日以降、分配金の再投資および積立による継続購入等を除き、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、通貨セレクトコースの購入のお申込みはできません。

(2)申込締切時間

午後3時までに取得申込みが行なわれかつ当該取得申込みの受け付けにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込み分とします。

（注）2024年11月5日以降は以下に変更となる予定です。
原則、午後3時30分までに取得申込みが行なわれかつ当該取得申込みの受け付けにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込み分とします。
（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

(3)申込不可日

販売会社の営業日であっても、下記の条件に該当する日(「申込不可日」といいます。)には、原則として取得およびスイッチングの申込みができません。（申込不可日については、「サポートダイヤル」でもご確認いただけます。）

「ブラジルレアルコース」及び「通貨セレクトコース」以外の各コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ニューヨーク証券取引所 ・ルクセンブルグの銀行
「ブラジルレアルコース」	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ニューヨーク証券取引所 ・ルクセンブルグの銀行 ・サンパウロの銀行 ・ブラジル商品先物取引所
「通貨セレクトコース」	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルグの銀行

(4)購入コース

分配金を受取る「一般コース」と、分配金が再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。販売会社によっては、どちらか一方のコースのみの取扱いとなる場合があります。また、原則として、お買付け後のコース変更はできません。

(5)販売単位

1万口以上1口単位(当初元本1口＝1円)または1万円以上1円単位とします。ただし、「自動けいぞく投資コース」を選択した受益者が収益分配金を再投資する場合は1口単位とします。

(6)販売価額

取得申込日の翌営業日の基準価額とします。

(7)申込代金の支払い

取得申込日から起算して7営業日目までに申込代金を申込みの販売会社にお支払いください。なお、販売会社が別に定める所定の方法により、上記の期日以前に申込代金をお支払いいただく場合があります。

(8)スイッチング

「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。

販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行なわない場合があります。

※2024年12月14日以降、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、通貨セレクトコースへのスイッチングのお申込みはできません。

(9)積立方式

販売会社によっては、「定時定額購入サービス」等に関する契約※を締結した場合、当該契約で規定する取得申込の単位でお申込みいただけます。

※当該契約または規定については、同様の権利義務関係を規定する名称の異なる契約または規定を使用することがあります。

(10)申込受け付けの中止および取り消し

金融商品取引所(金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場をいいます。以下同じ。なお、金融商品取引所を単に「取引所」という場合があり、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行なう市場ないしは当該市場を開設するものを「証券取引所」という場合があります。)等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、信託約款の規定に従い、委託者の判断でファンドの受益権の取得申込み(スイッチングの申込みを含みます)の受付けを中止すること、および既に受付けた取得申込み(スイッチングの申込みを含みます)の受付けを取り消す場合があります。

(11)申込手続等に関する照会先

ファンドの申込（販売）手続等についてご不明な点がある場合には、下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル　0120-753104(フリーダイヤル)

＜受付時間＞　営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ　http://www.nomura-am.co.jp/

※購入およびスイッチングのお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

2【換金（解約）手続等】

(1)解約の請求

受益者が一部解約の実行の請求をするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行なうものとしま

す。

(2)解約請求の締切時間

一部解約の実行の請求の受け付けについては、午後3時までに解約請求の申込みが行われ、かつ、その解約請求の申込みの受け付けにかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込み分とします。

（注）2024年11月5日以降は以下に変更となる予定です。
一部解約の実行の請求の受け付けについては、原則、午後3時30分までに解約請求の申込みが行われ、かつ、その解約請求の申込みの受け付けにかかる販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込み分とします。
（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

(3)申込不可日

販売会社の営業日であっても、申込不可日には原則として受益権の一部解約の実行の請求ができません。（申込不可日については、「サポートダイヤル」でもご確認いただけます。）

(4)換金単位

1口単位または1円単位で換金できます。

(5)換金価額

換金のお申込み日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額となります。

(6)換金制限

信託財産の資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超える換金は行なえません。また、ファンドの残高、市場の流動性の状況等によっては、委託者の判断により一部解約の金額に制限を設ける場合や一部解約の実行の請求の受付時間に制限を設ける場合があります。

(7)換金代金の支払い

原則として一部解約の実行の請求日から起算して7営業日目から販売会社において支払います。

(8)解約請求の受け付けの中止および取り消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、信託約款の規定に従い、委託者の判断で一部解約の実行の請求の受付けを中止すること、およびすでに受付けた一部解約の実行の請求の受付けを取り消す場合があります。
また、一部解約の実行の請求の受付けが中止された場合には、受益者は当該受付け中止以前に行なった当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受付け中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受付けたものとします。

(9)換金手続等に関する照会先

ファンドの換金（解約）手続等についてご不明な点がある場合には、下記の照会先までお問い合わせ下

さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル　0120-753104(フリーダイヤル)

＜受付時間＞　営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ　http://www.nomura-am.co.jp/

※換金のお申込みの方法ならびに単位等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

3【資産管理等の概要】

（1）【資産の評価】

＜基準価額の計算方法＞

基準価額とは、計算日において、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。)を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額(「純資産総額」といいます。)を、計算日における受益権口数で除して得た額をいいます。なお、ファンドにおいては1万口当りの価額で表示されます。

ファンドの主な投資対象の評価方法は以下の通りです。

対象	評価方法
外国投資信託	原則、基準価額計算日の前日(前日が外国ファンドの営業日でない場合はとりうる直近)の純資産価格で評価します。
公社債等	原則として、基準価額計算日※1における以下のいずれかの価額で評価します。※2 ①日本証券業協会が発表する売買参考統計値(平均値) ②金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（売気配相場を除く） ③価格情報会社の提供する価額

※1　外国で取引されているものについては、原則として、基準価額計算日の前日とします。

※2　残存期間1年以内の公社債等については、一部償却原価法(アキュムレーションまたはアモチゼーション)による評価を適用することができます。

ファンドの基準価額については下記の照会先までお問い合わせ下さい。

野村アセットマネジメント株式会社

サポートダイヤル　0120-753104（フリーダイヤル)

＜受付時間＞　営業日の午前9時～午後5時

インターネットホームページ　http://www.nomura-am.co.jp/

（2）【保管】

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、受益証券を発行しませんので、受益証券の保管に関する該当事項はありません。

（3）【信託期間】

円コース、米ドルコース

2028年9月20日までとします。（2010年10月28日設定）

豪ドルコース、ブラジルレアルコース

2025年9月22日までとします。（2010年10月28日設定）

通貨セレクトコース

2025年9月22日までとします。（2011年10月27日設定）

なお、委託者は、信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めたときは、受託者と協議のうえ、信託期間を延長することができます。

（４）【計算期間】

＜毎月分配型＞

原則として、毎月21日から翌月20日までとします。

＜年2回決算型＞

原則として、毎年3月21日から9月20日までおよび9月21日から翌年3月20日までとします。

なお、各計算期間終了日に該当する日(以下「該当日」といいます。)が休業日のとき、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、信託期間の終了日とします。

（５）【その他】

(a)ファンドの繰上償還条項

(ⅰ)委託者は、各ファンドにつき、この信託が主要投資対象とする外国投資信託受益証券が存続しないこととなる場合には、この信託契約を解約し、信託を終了させます。

この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

(ⅱ)委託者は、信託終了前に、この信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

(b)信託期間の終了

(ⅰ)委託者は、上記「(ａ)ファンドの繰上償還条項(ⅱ)」に従い信託期間を終了させるには、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託契約に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発します。

(ⅱ)上記(ⅰ)の書面決議において、受益者(委託者およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

(ⅲ)上記(ⅰ)の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。

(ⅳ)上記(ⅰ)から(ⅲ)までの規定は、委託者が信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この信託契約に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときおよび上記「(ａ) ファンドの繰上償還条項(ⅰ)」に従い信託契約を解約する場合には適用し

ません。また、信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合であって、上記(ⅰ)から(iii)までに規定するこの信託契約の解約の手続を行うことが困難な場合には適用しません。

(ⅴ)委託者は、監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、信託契約を解約し信託を終了させます。

(vi)委託者が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託者は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。ただし、監督官庁がこの信託契約に関する委託者の業務を他の委託者に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、下記「(e)信託約款の変更等(iv)」の書面決議が否決となる場合を除き、その委託者と受託者との間において存続します。

(c)運用報告書

各ファンドにつき、毎年3月、9月に終了する計算期間の末日および償還時に交付運用報告書を作成し、知れている受益者に対して交付します。

(d)有価証券報告書

委託者は、有価証券報告書を毎年3月、9月の決算日を基準に作成し3ヵ月以内に関東財務局長に提出します。

(e)信託約款の変更等

(ⅰ)委託者は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合(投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。)を行なうことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。

(ⅱ)委託者は、上記(ⅰ)の事項(上記(ⅰ)の変更事項にあってはその変更の内容が重大なものに該当する場合に限り、併合事項にあってはその併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものに該当する場合を除き、以下、合わせて「重大な約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行ないます。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この信託約款に係る知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を発します。

(iii)上記(ⅱ)の書面決議において、受益者(委託者およびこの信託の信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権に係る受益者としての受託者を除きます。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知れている受益者が議決権を行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

(iv)上記(ⅱ)の書面決議は議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行ないます。

(ⅴ)書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。

(vi)上記(ⅱ)から(ⅴ)までの規定は、委託者が重大な約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この信託約款に係るすべての受益者が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。

(vii)上記(ⅰ)から(vi)の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合にあっても、当該併合にかかる一又は複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行なうことはできません。

(f)公告

委託者が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行ない、次のアドレスに掲載します。

http://www.nomura-am.co.jp/

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

(g)受託者の辞任および解任に伴う取扱い

(ⅰ)受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、上記「(e)信託約款の変更等」に従い、新受託者を選任します。なお、受益者は、上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。

(ⅱ)委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの信託契約を解約し、信託を終了させます。

(h) 反対受益者の受益権買取請求の不適用

この信託は、受益者が一部解約の実行の請求を行なったときは、委託者が信託契約の一部の解約をすることにより当該請求に応じ、当該受益権の公正な価格が当該受益者に一部解約金として支払われることとなる委託者指図型投資信託に該当するため、信託契約の解約または重大な約款の変更等を行なう場合において、投資信託及び投資法人に関する法律第18条第1項に定める反対受益者による受益権の買取請求の規定の適用を受けません。

(i)他の受益者の氏名等の開示の請求の制限

受益者は、委託者または受託者に対し、次に掲げる事項の開示請求を行うことはできません。

1.他の受益者の氏名または名称および住所

2.他の受益者が有する受益権の内容

(j)関係法人との契約の更新に関する手続

委託者と販売会社との間で締結する「募集・販売等に関する契約」は、契約終了の3ヵ月前までに当事者の一方から別段の意思表示のないときは、原則１年毎に自動的に更新されるものとします。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

①収益分配金に対する請求権

■収益分配金の支払い開始日■

＜自動けいぞく投資契約を結んでいない場合＞

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に、原則として決算日から起算して5営業日までに支払いを開始します。販売会社でお受取りください。

＜自動けいぞく投資契約を結んでいる場合＞

税金を差引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。この場合の受益権の価額は、各計算期間終了日(決算日)の基準価額とします。

なお、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。

■収益分配金請求権の失効■

受益者は、収益分配金を支払開始日から5年間支払請求しないと権利を失います。

②償還金に対する請求権

■償還金の支払い開始日■

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者(償還日以前において一部解約が行なわれた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に、原則として償還日(償還日が休業日の場合は翌営業日)から起算して5営業日までに支払いを開始します。

■償還金請求権の失効■

受益者は、償還金を支払開始日から10年間支払請求しないと権利を失います。

③換金(解約)請求権

受益者は、一部解約の実行を請求することができます。詳しくは、前述の「2　換金（解約）手続等」をご参照下さい。

第３【ファンドの経理状況】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

(１)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(２)当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。

(３)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期(2023年9月21日から2024年3月21日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型

(１)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(２)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第27期計算期間(2023年9月21日から2024年3月21日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型

(１)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(２)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第25期計算期間(2023年9月21日から2024年3月21日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

１【財務諸表】

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2023年 9月20日現在)	当期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	26,123,047	23,511,898
投資信託受益証券	1,686,841,434	1,454,068,974
親投資信託受益証券	1,003,444	1,003,346
未収入金	-	9,200,961
未収利息	-	44
流動資産合計	1,713,967,925	1,487,785,223
資産合計	1,713,967,925	1,487,785,223
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	4,434,944	3,791,169
未払解約金	984,996	9,388,691
未払受託者報酬	42,883	37,807
未払委託者報酬	1,228,275	1,082,839
未払利息	46	-
その他未払費用	4,585	4,039
流動負債合計	6,695,729	14,304,545
負債合計	6,695,729	14,304,545
純資産の部		
元本等		
元本	1,478,314,759	1,263,723,240
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	228,957,437	209,757,438
（分配準備積立金）	337,682,204	301,353,099
元本等合計	1,707,272,196	1,473,480,678
純資産合計	1,707,272,196	1,473,480,678
負債純資産合計	1,713,967,925	1,487,785,223

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	当期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	49,021,360	44,772,720
受取利息	2	44
有価証券売買等損益	△66,909,564	△2,116,865
営業収益合計	△17,888,202	42,655,899
営業費用		
支払利息	6,094	2,223
受託者報酬	282,657	242,496
委託者報酬	8,154,951	6,945,664
その他費用	30,436	25,920
営業費用合計	8,474,138	7,216,303
営業利益又は営業損失（△）	△26,362,340	35,439,596
経常利益又は経常損失（△）	△26,362,340	35,439,596
当期純利益又は当期純損失（△）	△26,362,340	35,439,596
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	△10,013	1,986,943
期首剰余金又は期首欠損金（△）	305,296,165	228,957,437
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,561,726	1,471,424
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,561,726	1,471,424
剰余金減少額又は欠損金増加額	25,079,946	29,405,506
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	25,079,946	29,405,506
分配金	27,468,181	24,718,570
期末剰余金又は期末欠損金（△）	228,957,437	209,757,438

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当該財務諸表の特定期間は、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
１． 特定期間の末日における受益権の総数 1,478,314,759口	１． 特定期間の末日における受益権の総数 1,263,723,240口
２． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1549円 (10,000口当たり純資産額) (11,549円)	２． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1660円 (10,000口当たり純資産額) (11,660円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

2023年 3月21日から2023年 4月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	8,236,920円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,000,981,186円
分配準備積立金額	D	345,317,009円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,354,535,115円
当ファンドの期末残存口数	F	1,569,913,952口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,628円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,709,741円

2023年 4月21日から2023年 5月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	6,776,800円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	996,874,202円
分配準備積立金額	D	346,975,710円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,350,626,712円
当ファンドの期末残存口数	F	1,562,927,705口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,641円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,688,783円

2023年 5月23日から2023年 6月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	6,931,880円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	990,887,550円
分配準備積立金額	D	346,228,781円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,344,048,211円
当ファンドの期末残存口数	F	1,552,629,555口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,656円
10,000口当たり分配金額	H	30円

当期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

2023年 9月21日から2023年10月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	6,610,512円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	929,227,802円
分配準備積立金額	D	331,547,273円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,267,385,587円
当ファンドの期末残存口数	F	1,452,743,959口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,724円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,358,231円

2023年10月21日から2023年11月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	7,608,351円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	925,193,820円
分配準備積立金額	D	331,623,178円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,264,425,349円
当ファンドの期末残存口数	F	1,445,565,493口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,746円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,336,696円

2023年11月21日から2023年12月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	7,170,818円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	881,149,080円
分配準備積立金額	D	318,534,813円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,206,854,711円
当ファンドの期末残存口数	F	1,376,013,696口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,770円
10,000口当たり分配金額	H	30円

収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,657,888円

2023年 6月21日から2023年 7月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	6,695,282円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	963,021,757円
分配準備積立金額	D	338,224,576円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,307,941,615円
当ファンドの期末残存口数	F	1,508,225,816口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,672円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,524,677円

2023年 7月21日から2023年 8月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	6,523,770円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	947,929,931円
分配準備積立金額	D	334,682,024円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,289,135,725円
当ファンドの期末残存口数	F	1,484,049,387口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,686円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,452,148円

2023年 8月22日から2023年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	7,546,502円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	945,192,578円
分配準備積立金額	D	334,570,646円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,287,309,726円
当ファンドの期末残存口数	F	1,478,314,759口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,707円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,434,944円

収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,128,041円

2023年12月21日から2024年 1月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	6,034,335円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	871,703,715円
分配準備積立金額	D	317,732,721円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,195,470,771円
当ファンドの期末残存口数	F	1,360,744,705口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,785円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,082,234円

2024年 1月23日から2024年 2月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	6,165,019円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	859,273,908円
分配準備積立金額	D	314,664,208円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,180,103,135円
当ファンドの期末残存口数	F	1,340,733,016口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,801円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,022,199円

2024年 2月21日から2024年 3月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	6,690,757円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	810,316,509円
分配準備積立金額	D	298,453,511円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,115,460,777円
当ファンドの期末残存口数	F	1,263,723,240口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,826円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	3,791,169円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析･把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集･分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	3.金融商品に係るリスク管理体制 同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	1,596,826,949円	期首元本額	1,478,314,759円
期中追加設定元本額	13,684,259円	期中追加設定元本額	11,130,384円
期中一部解約元本額	132,196,449円	期中一部解約元本額	225,721,903円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	18,065,502	44,430,360
親投資信託受益証券	△99	0
合計	18,065,403	44,430,360

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスJPY	170,886	1,454,068,974	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.7%	170,886	1,454,068,974 99.9%	
	合計			1,454,068,974	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	984,252	1,003,346	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.1%	984,252	1,003,346 0.1%	
	合計			1,003,346	
合計				1,455,072,320	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２　デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第26期 (2023年 9月20日現在)	第27期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	42,831,847	38,167,680
投資信託受益証券	2,312,178,149	1,769,369,969
親投資信託受益証券	1,003,444	1,003,346
未収利息	-	72
流動資産合計	2,356,013,440	1,808,541,067
資産合計	2,356,013,440	1,808,541,067
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	1,294,803	973,318
未払解約金	6,783,636	1,304,522
未払受託者報酬	531,063	297,888
未払委託者報酬	15,344,491	8,532,379
未払利息	75	-
その他未払費用	57,312	31,863
流動負債合計	24,011,380	11,139,970
負債合計	24,011,380	11,139,970
純資産の部		
元本等		
元本	1,294,803,783	973,318,266
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	1,037,198,277	824,082,831
（分配準備積立金）	334,717,386	291,469,049
元本等合計	2,332,002,060	1,797,401,097
純資産合計	2,332,002,060	1,797,401,097
負債純資産合計	2,356,013,440	1,808,541,067

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第26期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	第27期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	86,819,120	54,504,920
受取利息	6	72
有価証券売買等損益	△99,054,527	△16,110,137
営業収益合計	△12,235,401	38,394,855
営業費用		
支払利息	19,305	3,625
受託者報酬	531,063	297,888
委託者報酬	15,344,491	8,532,379
その他費用	57,312	31,863
営業費用合計	15,952,171	8,865,755
営業利益又は営業損失（△）	△28,187,572	29,529,100
経常利益又は経常損失（△）	△28,187,572	29,529,100
当期純利益又は当期純損失（△）	△28,187,572	29,529,100
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	13,299,018	△14,352,168
期首剰余金又は期首欠損金（△）	2,030,268,341	1,037,198,277
剰余金増加額又は欠損金減少額	19,771,376	7,817,432
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	19,771,376	7,817,432
剰余金減少額又は欠損金増加額	970,060,047	263,840,828
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	970,060,047	263,840,828
分配金	1,294,803	973,318
期末剰余金又は期末欠損金（△）	1,037,198,277	824,082,831

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

第26期 2023年 9月20日現在	第27期 2024年 3月21日現在
１． 計算期間の末日における受益権の総数 1,294,803,783口	１． 計算期間の末日における受益権の総数 973,318,266口
２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.8010円 (10,000口当たり純資産額) (18,010円)	２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.8467円 (10,000口当たり純資産額) (18,467円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第26期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	52,894,957円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,599,665,706円
分配準備積立金額	D	283,117,232円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,935,677,895円
当ファンドの期末残存口数	F	1,294,803,783口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	14,949円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	1,294,803円

第27期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	41,770,175円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,205,078,917円
分配準備積立金額	D	250,672,192円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,497,521,284円
当ファンドの期末残存口数	F	973,318,266口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	15,385円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	973,318円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

第26期 2023年 9月20日現在	第27期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	2,444,197,179円	期首元本額	1,294,803,783円
期中追加設定元本額	23,691,492円	期中追加設定元本額	9,627,571円
期中一部解約元本額	1,173,084,888円	期中一部解約元本額	331,113,088円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	△91,194,570	2,495,292
親投資信託受益証券	△197	△98
合計	△91,194,767	2,495,194

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスJPY	207,941	1,769,369,969	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.4%	207,941	1,769,369,969 99.9%	
	合計			1,769,369,969	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	984,252	1,003,346	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.1%	984,252	1,003,346 0.1%	
	合計			1,003,346	
合計				1,770,373,315	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2023年 9月20日現在)	当期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,533,224,057	1,011,772,145
投資信託受益証券	88,288,337,951	87,073,992,480
親投資信託受益証券	100,177	100,167
未収入金	-	461,506,480
未収利息	-	1,914
流動資産合計	89,821,662,185	88,547,373,186
資産合計	89,821,662,185	88,547,373,186
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	200,776,827	186,274,188
未払解約金	190,583,978	147,043,337
未払受託者報酬	2,231,433	2,193,946
未払委託者報酬	63,914,573	62,840,897
未払利息	2,716	-
その他未払費用	239,072	235,058
流動負債合計	457,748,599	398,587,426
負債合計	457,748,599	398,587,426
純資産の部		
元本等		
元本	66,925,609,119	62,091,396,092
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	22,438,304,467	26,057,389,668
（分配準備積立金）	20,016,461,479	19,187,850,593
元本等合計	89,363,913,586	88,148,785,760
純資産合計	89,363,913,586	88,148,785,760
負債純資産合計	89,821,662,185	88,547,373,186

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	当期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	1,722,055,610	2,043,802,880
受取利息	110	1,914
有価証券売買等損益	8,630,891,710	4,738,409,813
営業収益合計	10,352,947,430	6,782,214,607
営業費用		
支払利息	250,811	106,446
受託者報酬	13,629,447	13,258,276
委託者報酬	393,117,307	379,754,897
その他費用	1,470,111	1,420,469
営業費用合計	408,467,676	394,540,088
営業利益又は営業損失（△）	9,944,479,754	6,387,674,519
経常利益又は経常損失（△）	9,944,479,754	6,387,674,519
当期純利益又は当期純損失（△）	9,944,479,754	6,387,674,519
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	34,877,306	17,687,557
期首剰余金又は期首欠損金（△）	14,503,397,037	22,438,304,467
剰余金増加額又は欠損金減少額	82,205,535	108,300,991
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	82,205,535	108,300,991
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,166,298,443	1,707,128,638
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,166,298,443	1,707,128,638
分配金	890,602,110	1,152,074,114
期末剰余金又は期末欠損金（△）	22,438,304,467	26,057,389,668

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当該財務諸表の特定期間は、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
１． 特定期間の末日における受益権の総数 66,925,609,119口	１． 特定期間の末日における受益権の総数 62,091,396,092口
２． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.3353円 (10,000口当たり純資産額) (13,353円)	２． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.4197円 (10,000口当たり純資産額) (14,197円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

2023年 3月21日から2023年 4月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	274,656,894円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	40,490,559,523円
分配準備積立金額	D	20,464,050,370円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	61,229,266,787円
当ファンドの期末残存口数	F	70,436,447,395口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,692円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	140,872,894円

2023年 4月21日から2023年 5月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	203,980,782円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	40,145,538,384円
分配準備積立金額	D	20,401,565,993円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	60,751,085,159円
当ファンドの期末残存口数	F	69,809,369,279口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,702円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	139,618,738円

2023年 5月23日から2023年 6月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	263,966,779円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	39,640,013,861円
分配準備積立金額	D	20,195,043,451円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	60,099,024,091円
当ファンドの期末残存口数	F	68,911,156,784口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,721円
10,000口当たり分配金額	H	20円

当期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

2023年 9月21日から2023年10月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	285,480,793円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	38,192,012,982円
分配準備積立金額	D	19,796,803,883円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	58,274,297,658円
当ファンドの期末残存口数	F	66,270,467,060口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,793円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	198,811,401円

2023年10月21日から2023年11月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	338,875,427円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	37,666,421,538円
分配準備積立金額	D	19,590,060,688円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	57,595,357,653円
当ファンドの期末残存口数	F	65,331,773,111口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,815円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	195,995,319円

2023年11月21日から2023年12月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	274,705,639円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	36,989,927,951円
分配準備積立金額	D	19,354,136,026円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	56,618,769,616円
当ファンドの期末残存口数	F	64,125,062,040口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,829円
10,000口当たり分配金額	H	30円

収益分配金金額	I=F×H/10,000	137,822,313円

2023年 6月21日から2023年 7月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	203,109,172円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	39,250,971,531円
分配準備積立金額	D	20,107,842,276円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	59,561,922,979円
当ファンドの期末残存口数	F	68,215,693,802口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,731円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	136,431,387円

2023年 7月21日から2023年 8月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	242,382,561円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	38,872,227,229円
分配準備積立金額	D	19,967,209,006円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	59,081,818,796円
当ファンドの期末残存口数	F	67,539,975,916口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,747円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	135,079,951円

2023年 8月22日から2023年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	346,861,325円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	38,542,731,231円
分配準備積立金額	D	19,870,376,981円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	58,759,969,537円
当ファンドの期末残存口数	F	66,925,609,119口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,779円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	200,776,827円

収益分配金金額	I=F×H/10,000	192,375,186円

2023年12月21日から2024年 1月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	318,813,534円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	36,597,950,200円
分配準備積立金額	D	19,213,605,865円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	56,130,369,599円
当ファンドの期末残存口数	F	63,423,101,973口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,850円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	190,269,305円

2024年 1月23日から2024年 2月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	321,377,837円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	36,239,623,625円
分配準備積立金額	D	19,138,467,074円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	55,699,468,536円
当ファンドの期末残存口数	F	62,782,905,018口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,871円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	188,348,715円

2024年 2月21日から2024年 3月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	324,134,405円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	35,852,519,849円
分配準備積立金額	D	19,049,990,376円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	55,226,644,630円
当ファンドの期末残存口数	F	62,091,396,092口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,894円
10,000口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	186,274,188円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析･把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集･分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	3.金融商品に係るリスク管理体制 同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	70,921,241,515円	期首元本額	66,925,609,119円
期中追加設定元本額	293,272,563円	期中追加設定元本額	325,152,687円
期中一部解約元本額	4,288,904,959円	期中一部解約元本額	5,159,365,714円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	2,816,116,369	3,135,651,336
親投資信託受益証券	△9	0
合計	2,816,116,360	3,135,651,336

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスUSD	8,230,056	87,073,992,480	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.8%	8,230,056	87,073,992,480 100.0%	
	合計			87,073,992,480	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	98,261	100,167	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	98,261	100,167 0.0%	
	合計			100,167	
合計				87,074,092,647	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２　デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第26期 (2023年 9月20日現在)	第27期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	370,732,526	222,202,412
投資信託受益証券	16,491,428,978	15,378,368,560
親投資信託受益証券	100,177	100,167
未収入金	117,803,402	82,400,976
未収利息	-	420
流動資産合計	16,980,065,083	15,683,072,535
資産合計	16,980,065,083	15,683,072,535
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	4,555,236	3,945,580
未払解約金	204,583,067	28,443,722
未払受託者報酬	2,670,601	2,393,511
未払委託者報酬	77,044,995	68,557,016
未払利息	656	-
その他未払費用	288,066	256,385
流動負債合計	289,142,621	103,596,214
負債合計	289,142,621	103,596,214
純資産の部		
元本等		
元本	4,555,236,836	3,945,580,265
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	12,135,685,626	11,633,896,056
（分配準備積立金）	5,008,989,212	4,905,394,019
元本等合計	16,690,922,462	15,579,476,321
純資産合計	16,690,922,462	15,579,476,321
負債純資産合計	16,980,065,083	15,683,072,535

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第26期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	第27期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	336,440,690	368,400,240
受取利息	25	420
有価証券売買等損益	1,710,853,827	835,621,397
営業収益合計	2,047,294,542	1,204,022,057
営業費用		
支払利息	58,470	23,613
受託者報酬	2,670,601	2,393,511
委託者報酬	77,044,995	68,557,016
その他費用	288,066	256,385
営業費用合計	80,062,132	71,230,525
営業利益又は営業損失（△）	1,967,232,410	1,132,791,532
経常利益又は経常損失（△）	1,967,232,410	1,132,791,532
当期純利益又は当期純損失（△）	1,967,232,410	1,132,791,532
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	212,989,986	12,612,769
期首剰余金又は期首欠損金（△）	12,204,413,031	12,135,685,626
剰余金増加額又は欠損金減少額	269,888,095	103,362,096
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	269,888,095	103,362,096
剰余金減少額又は欠損金増加額	2,088,302,688	1,721,384,849
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	2,088,302,688	1,721,384,849
分配金	4,555,236	3,945,580
期末剰余金又は期末欠損金（△）	12,135,685,626	11,633,896,056

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

第26期 2023年 9月20日現在	第27期 2024年 3月21日現在
１． 計算期間の末日における受益権の総数 4,555,236,836口	１． 計算期間の末日における受益権の総数 3,945,580,265口
２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 3.6641円 (10,000口当たり純資産額) (36,641円)	２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 3.9486円 (10,000口当たり純資産額) (39,486円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第26期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	299,659,280円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	9,659,656,550円
分配準備積立金額	D	4,713,885,168円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	14,673,200,998円
当ファンドの期末残存口数	F	4,555,236,836口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	32,211円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	4,555,236円

第27期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	329,452,096円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	273,922,773円
収益調整金額	C	8,406,552,395円
分配準備積立金額	D	4,305,964,730円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	13,315,891,994円
当ファンドの期末残存口数	F	3,945,580,265口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	33,748円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	3,945,580円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

第26期 2023年 9月20日現在	第27期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	5,368,979,255円	期首元本額	4,555,236,836円
期中追加設定元本額	107,227,154円	期中追加設定元本額	38,921,221円
期中一部解約元本額	920,969,573円	期中一部解約元本額	648,577,792円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	1,554,524,541	841,595,028
親投資信託受益証券	△19	△10
合計	1,554,524,522	841,595,018

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスUSD	1,453,532	15,378,368,560	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.7%	1,453,532	15,378,368,560 100.0%	
	合計			15,378,368,560	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	98,261	100,167	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	98,261	100,167 0.0%	
	合計			100,167	
合計				15,378,468,727	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2023年 9月20日現在)	当期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	52,212,727	51,403,202
投資信託受益証券	3,114,395,512	3,141,145,397
親投資信託受益証券	1,003,444	1,003,346
未収利息	-	97
流動資産合計	3,167,611,683	3,193,552,042
資産合計	3,167,611,683	3,193,552,042
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	6,534,624	6,189,169
未払解約金	4,308,822	-
未払受託者報酬	78,646	79,705
未払委託者報酬	2,252,648	2,282,951
未払利息	92	-
その他未払費用	8,416	8,528
流動負債合計	13,183,248	8,560,353
負債合計	13,183,248	8,560,353
純資産の部		
元本等		
元本	3,267,312,451	3,094,584,661
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△112,884,016	90,407,028
（分配準備積立金）	1,051,270,929	1,031,148,664
元本等合計	3,154,428,435	3,184,991,689
純資産合計	3,154,428,435	3,184,991,689
負債純資産合計	3,167,611,683	3,193,552,042

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	当期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	87,315,900	84,169,770
受取利息	4	97
有価証券売買等損益	146,136,240	168,263,364
営業収益合計	233,452,144	252,433,231
営業費用		
支払利息	9,754	4,201
受託者報酬	491,993	478,327
委託者報酬	14,191,094	13,700,472
その他費用	53,009	51,190
営業費用合計	14,745,850	14,234,190
営業利益又は営業損失（△）	218,706,294	238,199,041
経常利益又は経常損失（△）	218,706,294	238,199,041
当期純利益又は当期純損失（△）	218,706,294	238,199,041
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	152,736	470,849
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△297,633,182	△112,884,016
剰余金増加額又は欠損金減少額	6,532,145	3,936,972
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	6,532,145	3,936,972
剰余金減少額又は欠損金増加額	452,171	291,751
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	452,171	291,751
分配金	39,884,366	38,082,369
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△112,884,016	90,407,028

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当該財務諸表の特定期間は、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
１． 特定期間の末日における受益権の総数 3,267,312,451口	１． 特定期間の末日における受益権の総数 3,094,584,661口
２． 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 112,884,016円	
３． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9655円 (10,000口当たり純資産額) (9,655円)	２． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0292円 (10,000口当たり純資産額) (10,292円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

2023年 3月21日から2023年 4月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,539,397円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,874,811,906円
分配準備積立金額	D	1,052,448,975円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,941,800,278円
当ファンドの期末残存口数	F	3,387,252,005口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,684円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,774,504円

2023年 4月21日から2023年 5月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	12,038,294円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,861,177,921円
分配準備積立金額	D	1,051,758,345円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,924,974,560円
当ファンドの期末残存口数	F	3,361,671,382口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,700円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,723,342円

2023年 5月23日から2023年 6月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,297,439円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,840,245,574円
分配準備積立金額	D	1,044,481,945円

当期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

2023年 9月21日から2023年10月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	11,969,616円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,799,031,660円
分配準備積立金額	D	1,043,502,905円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,854,504,181円
当ファンドの期末残存口数	F	3,244,665,792口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,797円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,489,331円

2023年10月21日から2023年11月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,063,390円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,795,567,432円
分配準備積立金額	D	1,045,995,604円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,855,626,426円
当ファンドの期末残存口数	F	3,237,288,361口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,821円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,474,576円

2023年11月21日から2023年12月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,736,960円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,778,834,439円
分配準備積立金額	D	1,042,962,074円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,899,024,958円
当ファンドの期末残存口数	F	3,322,927,262口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,724円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,645,854円

2023年 6月21日から2023年 7月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	12,069,230円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,833,010,253円
分配準備積立金額	D	1,047,212,988円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,892,292,471円
当ファンドの期末残存口数	F	3,308,910,297口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,740円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,617,820円

2023年 7月21日から2023年 8月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	11,882,331円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,825,354,675円
分配準備積立金額	D	1,047,460,039円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,884,697,045円
当ファンドの期末残存口数	F	3,294,111,054口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,757円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,588,222円

2023年 8月22日から2023年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,071,262円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,811,035,470円
分配準備積立金額	D	1,043,734,291円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,868,841,023円
当ファンドの期末残存口数	F	3,267,312,451口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,780円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,534,624円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,835,533,473円
当ファンドの期末残存口数	F	3,206,102,367口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,844円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,412,204円

2023年12月21日から2024年 1月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	11,245,164円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,741,996,040円
分配準備積立金額	D	1,027,931,991円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,781,173,195円
当ファンドの期末残存口数	F	3,138,796,305口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,860円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,277,592円

2024年 1月23日から2024年 2月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	12,755,131円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,731,910,222円
分配準備積立金額	D	1,026,205,076円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,770,870,429円
当ファンドの期末残存口数	F	3,119,748,757口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,881円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,239,497円

2024年 2月21日から2024年 3月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,432,179円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,718,501,565円
分配準備積立金額	D	1,023,905,654円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,755,839,398円
当ファンドの期末残存口数	F	3,094,584,661口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,905円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,189,169円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	3,398,389,483円	期首元本額	3,267,312,451円
期中追加設定元本額	10,408,489円	期中追加設定元本額	10,166,089円
期中一部解約元本額	141,485,521円	期中一部解約元本額	182,893,879円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	118,092,676	106,882,074
親投資信託受益証券	△99	0
合計	118,092,577	106,882,074

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスAUD	456,761	3,141,145,397	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.6%	456,761	3,141,145,397 100.0%	
	合計			3,141,145,397	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	984,252	1,003,346	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	984,252	1,003,346 0.0%	
	合計			1,003,346	
合計				3,142,148,743	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第26期 (2023年 9月20日現在)	第27期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	13,017,634	12,604,146
投資信託受益証券	745,605,468	729,326,481
親投資信託受益証券	1,003,444	1,003,346
未収利息	-	23
流動資産合計	759,626,546	742,933,996
資産合計	759,626,546	742,933,996
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	279,039	253,020
未払受託者報酬	122,610	110,945
未払委託者報酬	3,537,245	3,177,766
未払利息	23	-
その他未払費用	13,163	11,828
流動負債合計	3,952,080	3,553,559
負債合計	3,952,080	3,553,559
純資産の部		
元本等		
元本	279,039,541	253,020,252
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	476,634,925	486,360,185
（分配準備積立金）	283,537,246	274,599,398
元本等合計	755,674,466	739,380,437
純資産合計	755,674,466	739,380,437
負債純資産合計	759,626,546	742,933,996

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第26期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	第27期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	21,661,230	19,559,850
受取利息	1	23
有価証券売買等損益	39,612,764	38,139,095
営業収益合計	61,273,995	57,698,968
営業費用		
支払利息	2,919	966
受託者報酬	122,610	110,945
委託者報酬	3,537,245	3,177,766
その他費用	13,163	11,828
営業費用合計	3,675,937	3,301,505
営業利益又は営業損失（△）	57,598,058	54,397,463
経常利益又は経常損失（△）	57,598,058	54,397,463
当期純利益又は当期純損失（△）	57,598,058	54,397,463
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	7,285,059	175,550
期首剰余金又は期首欠損金（△）	482,467,250	476,634,925
剰余金増加額又は欠損金減少額	878,850	668,893
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	878,850	668,893
剰余金減少額又は欠損金増加額	56,745,135	44,912,526
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	56,745,135	44,912,526
分配金	279,039	253,020
期末剰余金又は期末欠損金（△）	476,634,925	486,360,185

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）
該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

第26期 2023年 9月20日現在	第27期 2024年 3月21日現在
１． 計算期間の末日における受益権の総数 279,039,541口	１． 計算期間の末日における受益権の総数 253,020,252口
２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.7081円 (10,000口当たり純資産額) (27,081円)	２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.9222円 (10,000口当たり純資産額) (29,222円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第26期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	19,152,762円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	566,771,439円
分配準備積立金額	D	264,663,523円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	850,587,724円
当ファンドの期末残存口数	F	279,039,541口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	30,482円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	279,039円

第27期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	17,932,660円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	514,300,818円
分配準備積立金額	D	256,919,758円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	789,153,236円
当ファンドの期末残存口数	F	253,020,252口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	31,189円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	253,020円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

第26期 2023年 9月20日現在	第27期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	315,799,029円	期首元本額	279,039,541円
期中追加設定元本額	535,454円	期中追加設定元本額	387,819円
期中一部解約元本額	37,294,942円	期中一部解約元本額	26,407,108円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	33,806,063	38,497,239
親投資信託受益証券	△197	△98
合計	33,805,866	38,497,141

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスAUD	106,053	729,326,481	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.6%	106,053	729,326,481 99.9%	
	合計			729,326,481	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	984,252	1,003,346	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.1%	984,252	1,003,346 0.1%	
	合計			1,003,346	
合計				730,329,827	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2023年 9月20日現在)	当期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	177,094,762	167,881,162
投資信託受益証券	11,469,123,185	10,961,657,938
親投資信託受益証券	1,003,444	1,003,346
未収利息	-	317
流動資産合計	11,647,221,391	11,130,542,763
資産合計	11,647,221,391	11,130,542,763
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	18,075,416	16,418,164
未払解約金	14,116,091	15,201,272
未払受託者報酬	284,893	279,300
未払委託者報酬	8,160,119	7,999,940
未払利息	313	-
その他未払費用	30,515	29,916
流動負債合計	40,667,347	39,928,592
負債合計	40,667,347	39,928,592
純資産の部		
元本等		
元本	18,075,416,789	16,418,164,260
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△6,468,862,745	△5,327,550,089
（分配準備積立金）	3,939,445,998	3,627,173,697
元本等合計	11,606,554,044	11,090,614,171
純資産合計	11,606,554,044	11,090,614,171
負債純資産合計	11,647,221,391	11,130,542,763

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	当期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	195,043,110	178,979,340
受取利息	14	317
有価証券売買等損益	2,206,916,909	509,362,345
営業収益合計	2,401,960,033	688,342,002
営業費用		
支払利息	31,861	13,165
受託者報酬	1,730,434	1,689,248
委託者報酬	49,907,758	48,384,849
その他費用	186,587	180,937
営業費用合計	51,856,640	50,268,199
営業利益又は営業損失（△）	2,350,103,393	638,073,803
経常利益又は経常損失（△）	2,350,103,393	638,073,803
当期純利益又は当期純損失（△）	2,350,103,393	638,073,803
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	13,739,933	△2,681,553
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△9,241,782,809	△6,468,862,745
剰余金増加額又は欠損金減少額	564,373,098	614,842,456
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	564,373,098	614,842,456
剰余金減少額又は欠損金増加額	15,916,562	12,121,513
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	15,916,562	12,121,513
分配金	111,899,932	102,163,643
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△6,468,862,745	△5,327,550,089

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当該財務諸表の特定期間は、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
１． 特定期間の末日における受益権の総数 18,075,416,789口	１． 特定期間の末日における受益権の総数 16,418,164,260口
２． 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 6,468,862,745円	２． 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 5,327,550,089円
３． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.6421円 (10,000口当たり純資産額) (6,421円)	３． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.6755円 (10,000口当たり純資産額) (6,755円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

2023年 3月21日から2023年 4月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	33,199,054円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,879,360,423円
分配準備積立金額	D	4,142,626,108円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	9,055,185,585円
当ファンドの期末残存口数	F	19,265,286,311口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,700円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	19,265,286円

2023年 4月21日から2023年 5月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	28,696,197円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,842,968,737円
分配準備積立金額	D	4,123,295,201円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,994,960,135円
当ファンドの期末残存口数	F	19,116,215,746口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,705円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	19,116,215円

2023年 5月23日から2023年 6月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	32,057,073円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,739,737,907円
分配準備積立金額	D	4,042,507,680円

当期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

2023年 9月21日から2023年10月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	22,872,901円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,511,088,656円
分配準備積立金額	D	3,874,482,886円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,408,444,443円
当ファンドの期末残存口数	F	17,780,808,029口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,728円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	17,780,808円

2023年10月21日から2023年11月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	30,028,833円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,424,615,259円
分配準備積立金額	D	3,803,585,877円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,258,229,969円
当ファンドの期末残存口数	F	17,435,276,757口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,736円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	17,435,276円

2023年11月21日から2023年12月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	21,381,407円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,326,267,184円
分配準備積立金額	D	3,729,804,628円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,814,302,660円
当ファンドの期末残存口数	F	18,702,429,478口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,712円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	18,702,429円

2023年 6月21日から2023年 7月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	23,477,444円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,692,809,495円
分配準備積立金額	D	4,013,632,537円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,729,919,476円
当ファンドの期末残存口数	F	18,512,108,240口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,715円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	18,512,108円

2023年 7月21日から2023年 8月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	22,490,719円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,622,143,285円
分配準備積立金額	D	3,956,298,499円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,600,932,503円
当ファンドの期末残存口数	F	18,228,478,212口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,718円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	18,228,478円

2023年 8月22日から2023年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	31,143,070円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,584,523,929円
分配準備積立金額	D	3,926,378,344円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,542,045,343円
当ファンドの期末残存口数	F	18,075,416,789口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,725円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	18,075,416円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,077,453,219円
当ファンドの期末残存口数	F	17,042,886,210口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,739円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	17,042,886円

2023年12月21日から2024年 1月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	27,259,364円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,283,867,838円
分配準備積立金額	D	3,695,844,899円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,006,972,101円
当ファンドの期末残存口数	F	16,871,578,086口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,745円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	16,871,578円

2024年 1月23日から2024年 2月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	27,299,236円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,219,932,276円
分配準備積立金額	D	3,649,112,166円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,896,343,678円
当ファンドの期末残存口数	F	16,614,931,213口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,752円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	16,614,931円

2024年 2月21日から2024年 3月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	28,013,630円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	4,171,203,352円
分配準備積立金額	D	3,615,578,231円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,814,795,213円
当ファンドの期末残存口数	F	16,418,164,260口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	4,759円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	16,418,164円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	19,416,450,503円	期首元本額	18,075,416,789円
期中追加設定元本額	38,582,461円	期中追加設定元本額	33,674,752円
期中一部解約元本額	1,379,616,175円	期中一部解約元本額	1,690,927,281円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	696,619,794	336,930,356
親投資信託受益証券	△99	0
合計	696,619,695	336,930,356

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスBRL	2,855,342	10,961,657,938	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.8%	2,855,342	10,961,657,938 100.0%	
	合計			10,961,657,938	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	984,252	1,003,346	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	984,252	1,003,346 0.0%	
	合計			1,003,346	
合計				10,962,661,284	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第26期 (2023年 9月20日現在)	第27期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	9,980,997	11,247,101
投資信託受益証券	634,884,465	663,425,268
親投資信託受益証券	1,003,444	1,003,346
未収利息	-	21
流動資産合計	645,868,906	675,675,736
資産合計	645,868,906	675,675,736
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	229,613	226,360
未払受託者報酬	103,599	98,239
未払委託者報酬	2,991,167	2,813,800
未払利息	17	-
その他未払費用	11,123	10,469
流動負債合計	3,335,519	3,148,868
負債合計	3,335,519	3,148,868
純資産の部		
元本等		
元本	229,613,351	226,360,574
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	412,920,036	446,166,294
（分配準備積立金）	300,575,894	305,037,837
元本等合計	642,533,387	672,526,868
純資産合計	642,533,387	672,526,868
負債純資産合計	645,868,906	675,675,736

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第26期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	第27期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	11,414,220	10,422,180
受取利息	-	21
有価証券売買等損益	143,296,604	31,944,325
営業収益合計	154,710,824	42,366,526
営業費用		
支払利息	2,800	737
受託者報酬	103,599	98,239
委託者報酬	2,991,167	2,813,800
その他費用	11,123	10,469
営業費用合計	3,108,689	2,923,245
営業利益又は営業損失（△）	151,602,135	39,443,281
経常利益又は経常損失（△）	151,602,135	39,443,281
当期純利益又は当期純損失（△）	151,602,135	39,443,281
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	29,331,808	143,841
期首剰余金又は期首欠損金（△）	415,823,631	412,920,036
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,280,776	997,372
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,280,776	997,372
剰余金減少額又は欠損金増加額	127,225,085	6,824,194
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	127,225,085	6,824,194
分配金	229,613	226,360
期末剰余金又は期末欠損金（△）	412,920,036	446,166,294

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

第26期 2023年 9月20日現在	第27期 2024年 3月21日現在
１． 計算期間の末日における受益権の総数 229,613,351口	１． 計算期間の末日における受益権の総数 226,360,574口
２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.7983円 (10,000口当たり純資産額) (27,983円)	２． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.9710円 (10,000口当たり純資産額) (29,710円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第26期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	10,141,752円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	450,171,640円
分配準備積立金額	D	290,663,755円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	750,977,147円
当ファンドの期末残存口数	F	229,613,351口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	32,706円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	229,613円

第27期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	9,639,109円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	444,522,905円
分配準備積立金額	D	295,625,088円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	749,787,102円
当ファンドの期末残存口数	F	226,360,574口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	33,123円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	226,360円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

第26期 2023年 9月20日現在	第27期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	329,309,144円	期首元本額	229,613,351円
期中追加設定元本額	1,476,970円	期中追加設定元本額	558,868円
期中一部解約元本額	101,172,763円	期中一部解約元本額	3,811,645円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第26期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第27期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	116,381,010	31,797,408
親投資信託受益証券	△197	△98
合計	116,380,813	31,797,310

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－クラスBRL	172,812	663,425,268	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.6%	172,812	663,425,268 99.8%	
	合計			663,425,268	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	984,252	1,003,346	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.1%	984,252	1,003,346 0.2%	
	合計			1,003,346	
合計				664,428,614	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	前期 (2023年 9月20日現在)	当期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	47,355,566	51,600,415
投資信託受益証券	3,363,890,075	3,490,875,121
親投資信託受益証券	1,001,769	1,001,671
未収利息	-	97
流動資産合計	3,412,247,410	3,543,477,304
資産合計	3,412,247,410	3,543,477,304
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	6,823,537	6,514,293
未払解約金	11,637,234	2,802,410
未払受託者報酬	84,763	87,972
未払委託者報酬	2,427,843	2,519,755
未払利息	83	-
その他未払費用	9,070	9,415
流動負債合計	20,982,530	11,933,845
負債合計	20,982,530	11,933,845
純資産の部		
元本等		
元本	3,411,768,748	3,257,146,557
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△20,503,868	274,396,902
（分配準備積立金）	898,509,043	887,033,247
元本等合計	3,391,264,880	3,531,543,459
純資産合計	3,391,264,880	3,531,543,459
負債純資産合計	3,412,247,410	3,543,477,304

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	当期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	89,690,580	84,921,150
受取利息	4	97
有価証券売買等損益	474,517,315	263,503,403
営業収益合計	564,207,899	348,424,650
営業費用		
支払利息	10,130	4,292
受託者報酬	520,054	516,526
委託者報酬	15,000,993	14,794,650
その他費用	56,031	55,283
営業費用合計	15,587,208	15,370,751
営業利益又は営業損失（△）	548,620,691	333,053,899
経常利益又は経常損失（△）	548,620,691	333,053,899
当期純利益又は当期純損失（△）	548,620,691	333,053,899
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	△1,093,427	86,242
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△548,997,729	△20,503,868
剰余金増加額又は欠損金減少額	21,888,484	1,987,841
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	21,888,484	1,987,841
剰余金減少額又は欠損金増加額	770,173	284,254
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	770,173	284,254
分配金	42,338,568	39,770,474
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△20,503,868	274,396,902

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当該財務諸表の特定期間は、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
１． 特定期間の末日における受益権の総数 3,411,768,748口	１． 特定期間の末日における受益権の総数 3,257,146,557口
２． 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 20,503,868円	
３． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9940円 (10,000口当たり純資産額) (9,940円)	２． 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0842円 (10,000口当たり純資産額) (10,842円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

前期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

2023年 3月21日から2023年 4月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	15,459,100円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,027,222,348円
分配準備積立金額	D	936,525,488円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,979,206,936円
当ファンドの期末残存口数	F	3,707,335,901口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,035円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	7,414,671円

2023年 4月21日から2023年 5月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	12,753,754円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,016,713,305円
分配準備積立金額	D	939,116,809円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,968,583,868円
当ファンドの期末残存口数	F	3,687,350,280口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,050円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	7,374,700円

2023年 5月23日から2023年 6月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,533,946円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,902,594,623円
分配準備積立金額	D	891,018,424円

当期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

2023年 9月21日から2023年10月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	12,017,155円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,871,671,234円
分配準備積立金額	D	891,515,867円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,775,204,256円
当ファンドの期末残存口数	F	3,407,594,486口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,144円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,815,188円

2023年10月21日から2023年11月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,098,905円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,836,031,606円
分配準備積立金額	D	879,257,651円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,729,388,162円
当ファンドの期末残存口数	F	3,342,010,682口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,166円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,684,021円

2023年11月21日から2023年12月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	11,544,299円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,817,753,415円
分配準備積立金額	D	877,040,236円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,808,146,993円
当ファンドの期末残存口数	F	3,477,963,370口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,074円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,955,926円

2023年 6月21日から2023年 7月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,164,954円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,891,552,771円
分配準備積立金額	D	892,556,200円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,797,273,925円
当ファンドの期末残存口数	F	3,456,670,018口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,092円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,913,340円

2023年 7月21日から2023年 8月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	11,780,026円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,876,504,814円
分配準備積立金額	D	890,957,345円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,779,242,185円
当ファンドの期末残存口数	F	3,428,197,307口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,106円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,856,394円

2023年 8月22日から2023年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,168,615円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,867,986,987円
分配準備積立金額	D	891,163,965円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,773,319,567円
当ファンドの期末残存口数	F	3,411,768,748口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,128円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,823,537円

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,706,337,950円
当ファンドの期末残存口数	F	3,307,615,391口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,182円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,615,230円

2023年12月21日から2024年 1月22日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	12,570,907円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,810,109,518円
分配準備積立金額	D	877,525,090円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,700,205,515円
当ファンドの期末残存口数	F	3,292,744,536口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,200円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,585,489円

2024年 1月23日から2024年 2月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,541,600円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,802,816,464円
分配準備積立金額	D	878,897,231円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,695,255,295円
当ファンドの期末残存口数	F	3,278,126,613口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,221円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,556,253円

2024年 2月21日から2024年 3月21日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,659,944円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,791,669,769円
分配準備積立金額	D	879,887,596円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,685,217,309円
当ファンドの期末残存口数	F	3,257,146,557口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	8,244円
10,000口当たり分配金額	H	20円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	6,514,293円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2023年 9月20日現在	当期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	3,720,628,652円	期首元本額	3,411,768,748円
期中追加設定元本額	12,294,760円	期中追加設定元本額	32,874,113円
期中一部解約元本額	321,154,664円	期中一部解約元本額	187,496,304円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	当期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	108,824,625	138,744,073
親投資信託受益証券	△99	0
合計	108,824,526	138,744,073

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－通貨セレクトクラス	464,027	3,490,875,121	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.8%	464,027	3,490,875,121 100.0%	
	合計			3,490,875,121	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	982,609	1,001,671	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	982,609	1,001,671 0.0%	
	合計			1,001,671	
合計				3,491,876,792	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第24期 (2023年 9月20日現在)	第25期 (2024年 3月21日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	7,467,922	14,653,916
投資信託受益証券	553,388,485	742,407,255
親投資信託受益証券	100,177	100,167
未収利息	-	27
流動資産合計	560,956,584	757,161,365
資産合計	560,956,584	757,161,365
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	186,130	227,900
未払受託者報酬	85,418	89,274
未払委託者報酬	2,463,672	2,557,025
未払利息	13	-
その他未払費用	9,153	9,502
流動負債合計	2,744,386	2,883,701
負債合計	2,744,386	2,883,701
純資産の部		
元本等		
元本	186,130,372	227,900,347
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	372,081,826	526,377,317
（分配準備積立金）	296,420,927	288,197,650
元本等合計	558,212,198	754,277,664
純資産合計	558,212,198	754,277,664
負債純資産合計	560,956,584	757,161,365

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第24期 自　2023年 3月21日 至　2023年 9月20日	第25期 自　2023年 9月21日 至　2024年 3月21日
営業収益		
受取配当金	14,784,270	14,879,370
受取利息	-	27
有価証券売買等損益	79,547,606	50,313,896
営業収益合計	94,331,876	65,193,293
営業費用		
支払利息	1,832	932
受託者報酬	85,418	89,274
委託者報酬	2,463,672	2,557,025
その他費用	9,153	9,502
営業費用合計	2,560,075	2,656,733
営業利益又は営業損失（△）	91,771,801	62,536,560
経常利益又は経常損失（△）	91,771,801	62,536,560
当期純利益又は当期純損失（△）	91,771,801	62,536,560
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（△）	7,292,686	895,013
期首剰余金又は期首欠損金（△）	325,142,828	372,081,826
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,773,998	120,718,992
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	3,773,998	120,718,992
剰余金減少額又は欠損金増加額	41,127,985	27,837,148
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	41,127,985	27,837,148
分配金	186,130	227,900
期末剰余金又は期末欠損金（△）	372,081,826	526,377,317

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
４.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2023年 9月21日から2024年 3月21日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

第24期 2023年 9月20日現在	第25期 2024年 3月21日現在
１．　計算期間の末日における受益権の総数 186,130,372口	１．　計算期間の末日における受益権の総数 227,900,347口
２．　計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額　2.9990円 (10,000口当たり純資産額)　(29,990円)	２．　計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額　3.3097円 (10,000口当たり純資産額)　(33,097円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第24期
自 2023年 3月21日
至 2023年 9月20日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,740,485円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	208,779,591円
分配準備積立金額	D	282,866,572円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	505,386,648円
当ファンドの期末残存口数	F	186,130,372口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	27,152円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	186,130円

第25期
自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

１.分配金の計算過程

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,961,225円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	346,855,589円
分配準備積立金額	D	274,464,325円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	635,281,139円
当ファンドの期末残存口数	F	227,900,347口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	27,875円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	227,900円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

第24期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第25期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1.金融商品に対する取組方針 同左
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の２ 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、MLPの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 ○市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 ○信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 ○流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。	同左

(2)金融商品の時価等に関する事項

第24期 2023年 9月20日現在	第25期 2024年 3月21日現在
1．貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2．時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1．貸借対照表計上額、時価及び差額 同左 2．時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

第24期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第25期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

第24期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日		第25期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日	
期首元本額	210,970,280円	期首元本額	186,130,372円
期中追加設定元本額	1,941,271円	期中追加設定元本額	55,747,493円
期中一部解約元本額	26,781,179円	期中一部解約元本額	13,977,518円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第24期 自 2023年 3月21日 至 2023年 9月20日	第25期 自 2023年 9月21日 至 2024年 3月21日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	74,072,899	49,935,498
親投資信託受益証券	△19	△10
合計	74,072,880	49,935,488

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド－グローバル・インフラ・ストック・ファンド－通貨セレクトクラス	98,685	742,407,255	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.4%	98,685	742,407,255 100.0%	
	合計			742,407,255	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー　マザーファンド	98,261	100,167	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	98,261	100,167 0.0%	
	合計			100,167	
合計				742,507,422	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２　デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

「野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨選択型）」の各ファンドは「野村マネー　マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。
なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

野村マネー　マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	(2024年 3月21日現在)
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	8,617,653,939
地方債証券	130,074,292
特殊債券	102,098,442
社債券	10,004,290
未収利息	173,710
前払費用	217,277
流動資産合計	8,860,221,950
資産合計	8,860,221,950
負債の部	
流動負債	
未払金	20,033,000
流動負債合計	20,033,000
負債合計	20,033,000
純資産の部	
元本等	
元本	8,671,889,383
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	168,299,567
元本等合計	8,840,188,950
純資産合計	8,840,188,950
負債純資産合計	8,860,221,950

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１.運用資産の評価基準及び評価方法	地方債証券、特殊債券、社債券

	原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
２.費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
３.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（重要な会計上の見積りに関する注記）
該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

2024年 3月21日現在	
１． 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.0194円
(10,000口当たり純資産額)	(10,194円)

（金融商品に関する注記）
(1)金融商品の状況に関する事項

自 2023年 9月21日
至 2024年 3月21日

1.金融商品に対する取組方針
当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第２条第４項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク
当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。
当ファンドが保有する有価証券の詳細は、附属明細表に記載しております。
これらは、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。
3.金融商品に係るリスク管理体制
委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。
○市場リスクの管理
市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析･把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。
○信用リスクの管理
信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集･分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。
○流動性リスクの管理
流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

2024年 3月21日現在

１．貸借対照表計上額、時価及び差額
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
２．時価の算定方法
地方債証券、特殊債券、社債券
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（その他の注記）
元本の移動及び期末元本額の内訳

2024年 3月21日現在	
期首	2023年 9月21日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	4,739,243,734円
同期中における追加設定元本額	15,498,298,939円
同期中における一部解約元本額	11,565,653,290円
期末元本額	8,671,889,383円
期末元本額の内訳＊	
野村世界業種別投資シリーズ（マネープール・ファンド）	4,309,564,581円
ノムラ・アジア・シリーズ（マネープール・ファンド）	138,313,642円
ネクストコア	2,282,012円
野村世界高金利通貨投信	34,318,227円
野村新世界高金利通貨投信	982,608円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（欧州通貨コース）	982,609円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円コース）	982,609円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（豪ドルコース）	982,609円
野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年２回決算型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年２回決算型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年２回決算型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年２回決算型	98,261円

野村日本ブランド株投資（円コース）毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）毎月分配型	982,608円
野村日本ブランド株投資（ブラジルレアルコース）毎月分配型	982,608円
野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）毎月分配型	98,261円
野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）毎月分配型	982,607円
野村日本ブランド株投資（円コース）年２回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）年２回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資（ブラジルレアルコース）年２回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）年２回決算型	98,260円
野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）年２回決算型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年２回決算型	98,261円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年２回決算型	98,260円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）年２回決算型	98,261円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年２回決算型	98,260円
野村新エマージング債券投信（円コース）毎月分配型	982,608円
野村新エマージング債券投信（米ドルコース）毎月分配型	98,261円
野村新エマージング債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	982,607円
野村新エマージング債券投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型	982,608円
野村新エマージング債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	98,261円
野村新エマージング債券投信（中国元コース）毎月分配型	982,607円
野村新エマージング債券投信（インドネシアルピアコース）毎月分配型	982,608円
野村新エマージング債券投信（円コース）年２回決算型	982,608円
野村新エマージング債券投信（米ドルコース）年２回決算型	98,261円
野村新エマージング債券投信（豪ドルコース）年２回決算型	98,260円
野村新エマージング債券投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型	982,608円
野村新エマージング債券投信（南アフリカランドコース）年２回決算型	9,826円
野村新エマージング債券投信（中国元コース）年２回決算型	982,608円
野村新エマージング債券投信（インドネシアルピアコース）年２回決算型	98,261円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（資源国通貨コース）毎月分配型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（アジア通貨コース）毎月分配型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（円コース）年２回決算型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（資源国通貨コース）年２回決算型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（アジア通貨コース）年２回決算型	984,834円
野村アジアＣＢ投信（毎月分配型）	982,608円
野村グローバルＣＢ投信（円コース）毎月分配型	984,543円
野村グローバルＣＢ投信（資源国通貨コース）毎月分配型	984,543円
野村グローバルＣＢ投信（アジア通貨コース）毎月分配型	984,543円
野村グローバルＣＢ投信（円コース）年２回決算型	984,543円
野村グローバルＣＢ投信（資源国通貨コース）年２回決算型	984,543円
野村グローバルＣＢ投信（アジア通貨コース）年２回決算型	984,543円
ノムラ新興国債券ファンズ（野村ＳＭＡ向け）	10,000円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型	98,261円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型	98,261円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型	984,252円
野村日本ブランド株投資（資源国通貨コース）毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資（アジア通貨コース）毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資（資源国通貨コース）年２回決算型	982,609円
野村日本ブランド株投資（アジア通貨コース）年２回決算型	982,609円
野村ＰＩＭＣＯ新興国インフラ関連債券投信（円コース）毎月分配型	982,607円
野村ＰＩＭＣＯ新興国インフラ関連債券投信（資源国通貨コース）毎月分配型	982,607円
野村ＰＩＭＣＯ新興国インフラ関連債券投信（アジア通貨コース）毎月分配型	982,608円
野村ＰＩＭＣＯ新興国インフラ関連債券投信（円コース）年２回決算型	98,261円
野村ＰＩＭＣＯ新興国インフラ関連債券投信（資源国通貨コース）年２回決算型	98,261円
野村ＰＩＭＣＯ新興国インフラ関連債券投信（アジア通貨コース）年２回決算型	98,261円
野村米国ブランド株投資（円コース）毎月分配型	98,261円
野村米国ブランド株投資（資源国通貨コース）毎月分配型	983,768円
野村米国ブランド株投資（アジア通貨コース）毎月分配型	983,768円
野村米国ブランド株投資（円コース）年２回決算型	983,768円
野村米国ブランド株投資（資源国通貨コース）年２回決算型	983,768円
野村米国ブランド株投資（アジア通貨コース）年２回決算型	983,768円
ノムラ・グローバルトレンド（円コース）毎月分配型	983,672円

ノムラ・グローバルトレンド（資源国通貨コース）毎月分配型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド（アジア通貨コース）毎月分配型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド（円コース）年２回決算型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド（資源国通貨コース）年２回決算型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド（アジア通貨コース）年２回決算型	983,672円
野村テンプルトン・トータル・リターン　Ａコース	983,381円
野村テンプルトン・トータル・リターン　Ｂコース	98,261円
野村テンプルトン・トータル・リターン　Ｃコース	983,381円
野村テンプルトン・トータル・リターン　Ｄコース	983,381円
野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,609円
野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年２回決算型	98,262円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,609円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型	98,261円
野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年２回決算型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年２回決算型	983,091円
野村アジアハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（アジア通貨セレクトコース）毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（円コース）年２回決算型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年２回決算型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（アジア通貨セレクトコース）年２回決算型	982,898円
野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	982,801円
野村豪ドル債オープン・プレミアム年２回決算型	491,401円
野村グローバルＲＥＩＴプレミアム（円コース）毎月分配型	982,608円
野村グローバルＲＥＩＴプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,608円
野村グローバルＲＥＩＴプレミアム（円コース）年２回決算型	982,608円
野村グローバルＲＥＩＴプレミアム（通貨セレクトコース）年２回決算型	982,608円
野村日本高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム（円コース）年２回決算型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年２回決算型	982,415円
野村高配当インフラ関連株プレミアム（円コース）毎月分配型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム（円コース）年２回決算型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム（通貨セレクトコース）年２回決算型	982,029円
野村カルミニャック・ファンド　Ａコース	981,547円
野村カルミニャック・ファンド　Ｂコース	981,547円
野村通貨選択日本株投信（米ドルコース）毎月分配型	981,451円
野村通貨選択日本株投信（豪ドルコース）毎月分配型	177,539円
野村通貨選択日本株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型	398,357円
野村通貨選択日本株投信（メキシコペソコース）毎月分配型	626,503円
野村通貨選択日本株投信（米ドルコース）年２回決算型	981,451円
野村通貨選択日本株投信（豪ドルコース）年２回決算型	132,547円
野村通貨選択日本株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型	100,946円
野村通貨選択日本株投信（メキシコペソコース）年２回決算型	373,897円
野村エマージング債券プレミアム毎月分配型	981,451円
野村エマージング債券プレミアム年２回決算型	981,451円
ノムラ　ＴＨＥ　ＵＳＡ　Ａコース	981,258円
ノムラ　ＴＨＥ　ＵＳＡ　Ｂコース	981,258円
野村日本ブランド株投資（米ドルコース）毎月分配型	9,809円
野村日本ブランド株投資（メキシコペソコース）毎月分配型	9,809円
野村日本ブランド株投資（米ドルコース）年２回決算型	9,809円
野村日本ブランド株投資（メキシコペソコース）年２回決算型	9,809円
野村アジアハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型	9,808円
野村アジアハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年２回決算型	9,808円
野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型	9,808円
野村米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年２回決算型	9,808円
野村米国ブランド株投資（米ドルコース）毎月分配型	9,807円
野村米国ブランド株投資（米ドルコース）年２回決算型	9,807円
野村ＰＩＭＣＯ新興国インフラ関連債券投信（米ドルコース）毎月分配型	9,807円
野村ＰＩＭＣＯ新興国インフラ関連債券投信（米ドルコース）年２回決算型	9,807円
野村グローバルボンド投信　Ａコース	98,049円
野村グローバルボンド投信　Ｂコース	980,489円
野村グローバルボンド投信　Ｃコース	98,049円
野村グローバルボンド投信　Ｄコース	980,489円
野村グローバルボンド投信　Ｅコース	98,049円
野村グローバルボンド投信　Ｆコース	980,489円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型	9,805円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型	9,805円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年２回決算型	9,805円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（メキシコペソコース）年２回決算型	9,805円

野村高配当インフラ関連株ファンド（円コース）毎月分配型	9,803円
野村高配当インフラ関連株ファンド（米ドルコース）毎月分配型	980,297円
野村高配当インフラ関連株ファンド（通貨セレクトコース）毎月分配型	980,297円
野村高配当インフラ関連株ファンド（円コース）年２回決算型	9,803円
野村高配当インフラ関連株ファンド（米ドルコース）年２回決算型	980,297円
野村高配当インフラ関連株ファンド（通貨セレクトコース）年２回決算型	9,803円
ノムラ新興国債券ファンズ（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,801円
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,801円
グローバル・ストック　Ａコース	97,953円
グローバル・ストック　Ｂコース	979,528円
グローバル・ストック　Ｃコース	97,953円
グローバル・ストック　Ｄコース	116,529円
野村グローバル・クオリティ・グロース　Ａコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,794円
野村グローバル・クオリティ・グロース　Ｂコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,794円
野村ＭＦＳグローバル・リサーチ・フォーカス株式　Ａコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,794円
野村ＭＦＳグローバル・リサーチ・フォーカス株式　Ｂコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,794円
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795円
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795円
野村ＰＩＭＣＯ米国投資適格債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）毎月分配型	9,797円
野村ＰＩＭＣＯ米国投資適格債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）年２回決算型	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド　Ａコース	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド　Ｂコース	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド　Ｃコース	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド　Ｄコース	9,797円
（年３％目標払出）のむラップ・ファンド（普通型）	98,001円
（年６％目標払出）のむラップ・ファンド（普通型）	98,001円
野村ブラックロック循環経済関連株投信　Ａコース	98,011円
野村ブラックロック循環経済関連株投信　Ｂコース	98,011円
野村環境リーダーズ戦略ファンド　Ａコース	98,020円
野村環境リーダーズ戦略ファンド　Ｂコース	98,020円
マイライフ・エール（資産成長型）	98,049円
マイライフ・エール（年２％目標払出型）	98,049円
マイライフ・エール（年６％目標払出型）	98,049円
野村ＰＩＭＣＯ・トレンド戦略ファンド　Ａコース	98,059円
野村ＰＩＭＣＯ・トレンド戦略ファンド　Ｂコース	98,059円
ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド　Ａコース	98,078円
ウエリントン・企業価値共創世界株ファンド　Ｂコース	98,078円
野村ＰＩＭＣＯ・トレンド戦略ファンド（米ドル売り円買い）（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,808円
野村アバンティス米国小型株ファンド　Ａコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,809円
野村アバンティス米国小型株ファンド　Ｂコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,809円
野村アバンティス新興国株ファンド　Ａコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,809円
野村アバンティス新興国株ファンド　Ｂコース（野村ＳＭＡ・ＥＷ向け）	9,809円
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド３０（非課税適格機関投資家専用）	291,440,122円
野村アンジェロ・ゴードンＢＤＣファンド（為替ヘッジあり）２２１０（適格機関投資家転売制限付）	482,423,970円
ノムラ・プライベート・シリーズＴＰＧアンジェロ・ゴードンＢＤＣファンド（為替ヘッジあり）２４０２（適格機関投資家転売制限付）	290,366,883円
野村Ｊ－ＲＥＩＴバリュー投信２４０３（適格機関投資家専用）	2,913,478,517円
野村ＤＣ運用戦略ファンド	85,180,134円
野村ＤＣテンプルトン・トータル・リターン　Ａコース	9,818円
野村ＤＣテンプルトン・トータル・リターン　Ｂコース	9,818円
野村ＤＣ運用戦略ファンド（マイルド）	7,492,405円

＊は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

附属明細表

第1　有価証券明細表

(1)株式(2024年3月21日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2024年3月21日現在)

（単位:円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
地方債証券	日本円	神奈川県　公募第２０８回	10,000,000	10,013,354	
		兵庫県　公募（１２年）第１回	10,000,000	10,028,410	

		静岡県　公募（５年）令和元年度第６回	50,000,000	49,999,968	
		愛知県　公募平成２６年度第６回	20,000,000	20,032,360	
		埼玉県　公募平成３１年度第２回	10,000,000	10,000,200	
		大阪市　公募令和元年度第１回	30,000,000	30,000,000	
	小計	銘柄数：6 組入時価比率：1.5%	130,000,000	130,074,292 53.7%	
	合計			130,074,292	
特殊債券	日本円	日本高速道路保有・債務返済機構債券　政府保証債第２２２回	32,000,000	32,070,876	
		政保　地方公共団体金融機構債券第５９回	60,000,000	60,026,376	
		公営企業債券（２０年）　第７回財投機関債	10,000,000	10,001,190	
	小計	銘柄数：3 組入時価比率：1.2%	102,000,000	102,098,442 42.2%	
	合計			102,098,442	
社債券	日本円	関西電力　第５３２回	10,000,000	10,004,290	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.1%	10,000,000	10,004,290 4.1%	
	合計			10,004,290	
合計				242,177,024	

(注1)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第２　デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

２【ファンドの現況】

【純資産額計算書】

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	1,427,065,997円
Ⅱ　負債総額	10,900,196円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	1,416,165,801円
Ⅳ　発行済口数	1,214,707,209口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.1658円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年２回決算型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	1,721,093,278円
Ⅱ　負債総額	119,956,010円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	1,601,137,268円
Ⅳ　発行済口数	864,650,972口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.8518円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	91,302,291,474円
Ⅱ　負債総額	189,033,909円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	91,113,257,565円
Ⅳ　発行済口数	61,289,197,424口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.4866円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年２回決算型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	15,838,719,466円
Ⅱ　負債総額	74,495,995円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	15,764,223,471円
Ⅳ　発行済口数	3,804,301,614口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	4.1438円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	3,299,113,767円
Ⅱ　負債総額	5,865,870円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	3,293,247,897円
Ⅳ　発行済口数	3,046,316,169口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.0811円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年２回決算型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	771,778,081円
Ⅱ　負債総額	10,967,179円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	760,810,902円
Ⅳ　発行済口数	247,443,165口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	3.0747円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	11,264,518,609円
Ⅱ　負債総額	33,332,292円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	11,231,186,317円
Ⅳ　発行済口数	16,198,153,571口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	0.6934円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年２回決算型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	676,605,423円
Ⅱ　負債総額	673,306円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	675,932,117円
Ⅳ　発行済口数	221,359,450口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	3.0535円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	3,640,312,203円
Ⅱ　負債総額	756,011円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	3,639,556,192円
Ⅳ　発行済口数	3,239,180,543口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.1236円

野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年２回決算型

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	898,245,060円
Ⅱ　負債総額	861,017円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	897,384,043円
Ⅳ　発行済口数	261,335,566口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	3.4338円

（参考）野村マネー　マザーファンド

2024年4月30日現在

Ⅰ　資産総額	5,260,507,573円

Ⅱ　負債総額	201,915,000円
Ⅲ　純資産総額（Ⅰ－Ⅱ）	5,058,592,573円
Ⅳ　発行済口数	4,961,965,945口
Ⅴ　１口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.0195円

第４【内国投資信託受益証券事務の概要】

(1)受益証券の名義書換えの事務等

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定まり、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

なお、受益者は、委託者がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

(2)受益者に対する特典

該当事項はありません。

(3)受益権の譲渡

①受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

②上記①の申請のある場合には、上記①の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記①の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等(当該他の振替機関等の上位機関を含みます。)に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。

③上記①の振替について、委託者は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めたときまたはやむをえない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

(4)受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができません。

(5)受益権の再分割

委託者は、受託者と協議のうえ、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

(6)質権口記載又は記録の受益権の取り扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第二部【委託会社等の情報】

第１【委託会社等の概況】

１【委託会社等の概況】

(1)資本金の額

2024年4月末現在、17,180百万円

会社が発行する株式総数　　20,000,000株

発行済株式総数　　5,150,693株

過去５年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

(2)会社の機構

(a)会社の意思決定機構

当社は監査等委員会設置会社であり、会社の機関として株主総会、取締役会のほか代表取締役および監査等委員会を設けております。各機関の権限は以下のとおりです。

株主総会

株主により構成され、取締役・会計監査人の選任・解任、剰余金の配当の承認、定款変更・合併等の重要事項の承認等を行います。

取締役会

取締役により構成され、当社の業務につき意思決定を行います。また代表取締役等を選任し、取締役の職務の執行を監督します。

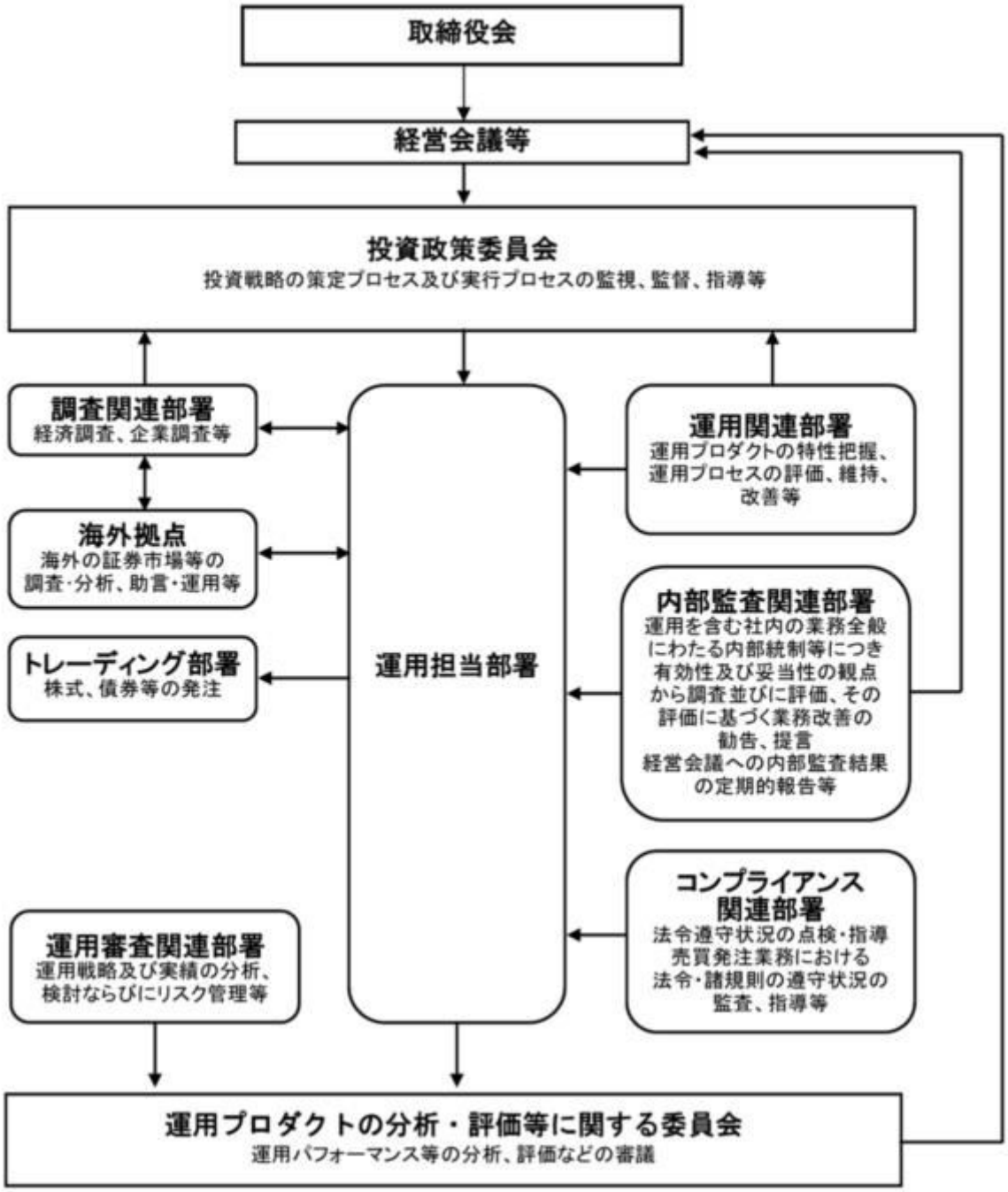
代表取締役・業務執行取締役

代表取締役を含む各業務執行取締役は、当社の業務の執行を行います。代表取締役は当社を代表いたします。また取締役会により委任された一定の事項について、代表取締役を含む業務執行取締役で構成される経営会議が意思決定を行います。なお、当社は執行役員制度を導入しており、経営会議の構成員には執行役員が含まれます。

監査等委員会

監査等委員である取締役３名以上（但し、過半数は社外取締役）で構成され、取締役の職務執行の適法性および妥当性に関する監査を行うとともに、株主総会に提出する会計監査人の選任・解任・不再任に関する議案の内容や監査等委員である取締役以外の取締役の選任・解任・辞任および報酬等についての監査等委員会としての意見を決定します。

(b)投資信託の運用体制



2【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は2024年3月29日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)。

種類	本数	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	999	54,367,722

単位型株式投資信託	170	648,033
追加型公社債投資信託	14	7,027,080
単位型公社債投資信託	445	870,253
合計	1,628	62,913,087

3【委託会社等の経理状況】

1．委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
委託会社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

2．財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

3．委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の財務諸表ならびに中間会計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査及び中間監査を受けております。

（1）【貸借対照表】

		前事業年度 (2022年3月31日)		当事業年度 (2023年3月31日)	
区分	注記番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金・預金			2,006		1,865
金銭の信託			35,894		42,108
有価証券			29,300		21,900
前払金			11		11
前払費用			454		775
未収入金			694		1,775
未収委託者報酬			27,176		26,116
未収運用受託報酬			4,002		3,780
短期貸付金			1,835		1,001
未収還付法人税等			-		2,083
その他			57		84
貸倒引当金			△15		△15
流動資産計			101,417		101,486
固定資産					
有形固定資産			1,744		1,335
建物	※2	1,219		906	

器具備品	※２	525		428	
無形固定資産			5,210		5,563
ソフトウェア		5,209		5,562	
その他		0		0	
投資その他の資産			16,067		16,336
投資有価証券		2,201		1,793	
関係会社株式		9,214		10,025	
長期差入保証金		443		520	
長期前払費用		13		10	
前払年金費用		1,297		1,553	
繰延税金資産		2,784		2,340	
その他		112		92	
固定資産計			23,023		23,235
資産合計			124,440		124,722

		前事業年度 (2022年3月31日)		当事業年度 (2023年3月31日)	
区分	注記番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			120		124
未払金			17,615		17,879
未払収益分配金		0		0	
未払償還金		17		57	
未払手数料		8,357		8,409	
関係会社未払金		8,149		8,911	
その他未払金		1,089		500	
未払費用	※１		9,512		9,682
未払法人税等			1,319		1,024
前受収益			22		22
賞与引当金			4,416		3,635
その他			121		46
流動負債計			33,127		32,414
固定負債					
退職給付引当金			3,194		2,940
時効後支払損引当金			588		595
資産除去債務			1,123		1,123
固定負債計			4,905		4,659
負債合計			38,033		37,074
(純資産の部)					
株主資本			86,232		87,419
資本金			17,180		17,180
資本剰余金			13,729		13,729
資本準備金		11,729		11,729	
その他資本剰余金		2,000		2,000	
利益剰余金			55,322		56,509
利益準備金		685		685	
その他利益剰余金		54,637		55,823	
別途積立金		24,606		24,606	
繰越利益剰余金		30,030		31,217	
評価・換算差額等			174		229
その他有価証券評価差額金			174		229

純資産合計			86,407		87,648
負債・純資産合計			124,440		124,722

（２）【損益計算書】

		前事業年度 (自　2021年4月1日 至　2022年3月31日)		当事業年度 (自　2022年4月1日 至　2023年3月31日)	
区分	注記番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
営業収益					
委託者報酬			115,733		113,491
運用受託報酬			17,671		18,198
その他営業収益			530		331
営業収益計			133,935		132,021
営業費用					
支払手数料			39,087		38,684
広告宣伝費			804		1,187
公告費			0		0
調査費			26,650		29,050
調査費		4,867		6,045	
委託調査費		21,783		23,004	
委託計算費			1,384		1,363
営業雑経費			3,094		3,302
通信費		72		89	
印刷費		918		903	
協会費		79		83	
諸経費		2,023		2,225	
営業費用計			71,021		73,587
一般管理費					
給料			12,033		11,316
役員報酬		229		226	
給料・手当		7,375		7,752	
賞与		4,427		3,337	
交際費			47		78
寄付金			73		115
旅費交通費			65		283
租税公課			1,049		963
不動産賃借料			1,432		1,232
退職給付費用			1,212		829
固定資産減価償却費			2,525		2,409
諸経費			11,116		12,439
一般管理費計			29,556		29,669
営業利益			33,357		28,763

		前事業年度 (自　2021年4月1日 至　2022年3月31日)	当事業年度 (自　2022年4月1日 至　2023年3月31日)

区分	注記番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	※１	3,530		7,645	
受取利息		10		45	
為替差益		-		49	
その他		1,268		637	
営業外収益計			4,809		8,377
営業外費用					
金銭の信託運用損		1,387		1,736	
時効後支払損引当金繰入額		12		10	
為替差損		23		-	
その他		266		8	
営業外費用計			1,689		1,755
経常利益			36,477		35,385
特別利益					
投資有価証券等売却益		26		10	
株式報酬受入益		53		46	
固定資産売却益		9		-	
資産除去債務履行差額		141		-	
特別利益計			230		57
特別損失					
投資有価証券等売却損		0		16	
関係会社株式評価損		727		-	
固定資産除却損	※２	374		52	
資産除去債務履行差額		0		-	
事務所移転費用		54		-	
特別損失計			1,158		69
税引前当期純利益			35,549		35,374
法人税、住民税及び事業税			10,474		8,890
法人税等調整額			171		419
当期純利益			24,904		26,064

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自　2021年4月１日　至　2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	31,395	56,686	87,596
当期変動額									
剰余金の配当							△26,268	△26,268	△26,268

当期純利益							24,904	24,904	24,904
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	－	－	－	－	－	－	△1,364	△1,364	△1,364
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,030	55,322	86,232

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	57	57	87,654
当期変動額			
剰余金の配当			△26,268
当期純利益			24,904
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	116	116	116
当期変動額合計	116	116	△1,247
当期末残高	174	174	86,407

当事業年度(自　2022年4月1日　至　2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,030	55,322	86,232
当期変動額									
剰余金の配当							△24,877	△24,877	△24,877
当期純利益							26,064	26,064	26,064
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	－	－	－	－	－	－	1,186	1,186	1,186
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	31,217	56,509	87,419

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	174	174	86,407
当期変動額			
剰余金の配当			△24,877
当期純利益			26,064
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	54	54	54
当期変動額合計	54	54	1,240
当期末残高	229	229	87,648

[重要な会計方針]

1．有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 … 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの … 時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) 市場価格のない株式等 … 移動平均法による原価法
2．金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3．デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	時価法
4．外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5．固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。 主な耐用年数は以下の通りであります。 建物 6年 附属設備 6～15年 器具備品 4～15年 (2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(５年)に基づく定額法によっております。
6．引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。

	(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 ① 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 ② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。 (4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。
7．収益及び費用の計上基準	当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。 ① 委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年４回、もしくは年２回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。 ② 運用受託報酬 運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧問口座によって主に年４回、もしくは年２回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。 ③ 成功報酬 成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。

[会計上の見積りに関する注記]

該当事項はありません。

[会計方針の変更]

（時価の算定に関する会計基準の適用）
「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27－２項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。
これにより、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うこととしました。
なお、「金融商品関係」注記の金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項における投資信託に関する注記事項においては、時価算定会計基準適用指針第27－３項に従って、前事業年度に係るものについては記載しておりません。

［未適用の会計基準等]

該当事項はありません。

[注記事項]

◇　貸借対照表関係

前事業年度末 (2022年3月31日)	当事業年度末 (2023年3月31日)
※１．関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。 未払費用　1,223百万円 ※２．有形固定資産より控除した減価償却累計額 建物　589百万円 器具備品　618 合計　1,207	※１．関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。 未払費用　1,350百万円 ※２．有形固定資産より控除した減価償却累計額 建物　901百万円 器具備品　657 合計　1,559

◇　損益計算書関係

前事業年度 (自　2021年4月１日 至　2022年3月31日)	当事業年度 (自　2022年4月１日 至　2023年3月31日)
※１．関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金　3,525百万円 ※２．固定資産除却損 建物　346百万円 器具備品　28 ソフトウェア　- 合計　374	※１．関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金　7,634百万円 ※２．固定資産除却損 建物　0百万円 器具備品　0 ソフトウェア　52 合計　52

◇　株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自　2021年4月１日　至　2022年3月31日)

１．発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数

普通株式	5,150,693株	－	－	5,150,693株

２．剰余金の配当に関する事項

（１）配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2021年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	26,268百万円
配当の原資	利益剰余金
１株当たり配当額	5,100円
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年6月30日

（２）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2022年5月18日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	24,877百万円
配当の原資	利益剰余金
１株当たり配当額	4,830円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月30日

当事業年度(自　2022年4月１日　至　2023年3月31日)

１．発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	－	－	5,150,693株

２．剰余金の配当に関する事項

（１）配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2022年5月18日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	24,877百万円
配当の原資	利益剰余金
１株当たり配当額	4,830円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月30日

（２）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2023年5月23日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	55,782百万円
配当の原資	利益剰余金
１株当たり配当額	10,830円
基準日	2023年3月31日
効力発生日	2023年6月30日

◇　金融商品関係

前事業年度（自 2021年4月１日　至 2022年3月31日）

１．金融商品の状況に関する事項

（１）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバディブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（２）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

２．金融商品の時価等に関する事項

2022年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	35,894	35,894	-
資産計	35,894	35,894	-
(2)その他（デリバティブ取引）	121	121	-
負債計	121	121	-

（注1）　現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、有価証券、短期貸付金、未払金、未払費用、未払法人税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注2）　投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	前事業年度（百万円）
市場価格のない株式等（※）1．2	9,529
組合出資金等	1,886
合計	11,415

（※）1　市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。
　　2　非上場株式等について、前事業年度において727百万円減損処理を行っております。

（注3）　金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
預金	2,006	-	-	-
金銭の信託	35,894	-	-	-
未収委託者報酬	27,176	-	-	-
未収運用受託報酬	4,002	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	29,300	-	-	-
短期貸付金	1,835			
合計	100,215	-	-	-

３．金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

区分	貸借対照表計上額　(単位：百万円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）（※）	-	1,736	-	1,736
資産計	-	1,736	-	1,736
デリバティブ取引（通貨関連）	-	121	-	121
負債計	-	121	-	121

（※）時価算定適用指針第26項に従い経過措置を適用し、投資信託を主要な構成物とする金銭の信託34,157百万円は表中に含まれておりません。

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出しており、レベル２の時価に分類しております。

当事業年度（自 2022年4月１日　至 2023年3月31日）

１．金融商品の状況に関する事項

（１）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバディブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（２）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約

に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

２．金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	42,108	42,108	-
資産計	42,108	42,108	-
(2)その他（デリバティブ取引）	46	46	-
負債計	46	46	-

（注1）　現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、有価証券、短期貸付金、未払金、未払費用、未払法人税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注2）　投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	当事業年度（百万円）
市場価格のない株式等（※）	10,261
組合出資金等	1,557
合計	11,819

（※）市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

（注3）　金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	1,865	-	-	-
金銭の信託	42,108	-	-	-
未収委託者報酬	26,116	-	-	-
未収運用受託報酬	3,780	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	21,900	-	-	-
短期貸付金	1,001			
合計	96,772	-	-	-

３．金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

区分	貸借対照表計上額　(単位：百万円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）	-	42,108	-	42,108
資産計	-	42,108	-	42,108
デリバティブ取引（通貨関連）	-	46	-	46
負債計	-	46	-	46

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。構成物のレベルに基づき、レベル２の時価に分類しております。

デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出しており、レベル２の時価に分類しております。

◇　有価証券関係

前事業年度　（自　2021年4月１日　至　2022年3月31日）

１．売買目的有価証券(2022年3月31日)

該当事項はありません。

２．満期保有目的の債券(2022年3月31日)

該当事項はありません。

３．子会社株式及び関連会社株式(2022年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

区分	前事業年度 （百万円）
子会社株式	9,107
関連会社株式	106

４．その他有価証券(2022年3月31日)

区分	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			

株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	29,300	29,300	-
小計	29,300	29,300	-
合計	29,300	29,300	-

※市場価格のない株式等（貸借対照表計上額315百万円）及び組合出資金等（貸借対照表計上額1,886百万円）は、記載しておりません。

５．事業年度中に売却したその他有価証券（自 2021年4月１日　至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度 （自 2022年4月１日　至 2023年3月31日）

１．売買目的有価証券(2023年3月31日)

該当事項はありません。

２．満期保有目的の債券(2023年3月31日)

該当事項はありません。

３．子会社株式及び関連会社株式(2023年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

区分	当事業年度 （百万円）
子会社株式	9,919
関連会社株式	106

４．その他有価証券(2023年3月31日)

区分	貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	21,900	21,900	-
小計	21,900	21,900	-
合計	21,900	21,900	-

※市場価格のない株式等（貸借対照表計上額235百万円）及び組合出資金等（貸借対照表計上額1,557百万円）は、記載しておりません。

５．事業年度中に売却したその他有価証券（自 2022年4月1日　至 2023年3月31日）

区分	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	66	-	16
合計	66	-	16

◇　デリバティブ取引関係

１．　ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

（1）通貨関連

前事業年度　（自　2021年4月１日　至　2022年3月31日）

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち一年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	1,714	-	△121	△121

当事業年度　（自　2022年4月１日　至　2023年3月31日）

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち一年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	952	-	△46	△46

◇　退職給付関係

前事業年度(自　2021年4月1日　至　2022年3月31日)

１．採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企業年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

２．確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	23,270 百万円
勤務費用	961
利息費用	176
数理計算上の差異の発生額	△1,521
退職給付の支払額	△904
その他	△14
退職給付債務の期末残高	21,967

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	19,349 百万円
期待運用収益	454
数理計算上の差異の発生額	△258
事業主からの拠出額	814
退職給付の支払額	△672
年金資産の期末残高	19,687

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	18,807 百万円
年金資産	△19,687
	△879
非積立型制度の退職給付債務	3,159
未積立退職給付債務	2,279
未認識数理計算上の差異	△489
未認識過去勤務費用	106
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,896
退職給付引当金	3,194
前払年金費用	△1,297
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,896

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	961 百万円
利息費用	176
期待運用収益	△454
数理計算上の差異の費用処理額	322
過去勤務費用の費用処理額	△45
確定給付制度に係る退職給付費用	959

(5) 年金資産に関する事項

①年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	51%
株式	32%
生保一般勘定	10%
生保特別勘定	6%
その他	1%
合計	100%

②長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企業年金制度の割引率	0.9%
退職一時金制度の割引率	0.6%
長期期待運用収益率	2.35%

３．確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、197百万円でした。

当事業年度(自　2022年4月1日　至　2023年3月31日)

１．採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企業年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

２．確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	21,967 百万円
勤務費用	853
利息費用	188
数理計算上の差異の発生額	△1,476
退職給付の支払額	△1,133
その他	△83
退職給付債務の期末残高	20,314

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	19,687 百万円
期待運用収益	462
数理計算上の差異の発生額	△716
事業主からの拠出額	819
退職給付の支払額	△874
年金資産の期末残高	19,378

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	17,386 百万円
年金資産	△19,378
	△1,991
非積立型制度の退職給付債務	2,927
未積立退職給付債務	935
未認識数理計算上の差異	398
未認識過去勤務費用	53
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,387
退職給付引当金	2,940
前払年金費用	△1,553
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,387

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	853 百万円
利息費用	188
期待運用収益	△462
数理計算上の差異の費用処理額	127
過去勤務費用の費用処理額	△52
確定給付制度に係る退職給付費用	653

(5) 年金資産に関する事項

①年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	34%
株式	27%
生保一般勘定	11%
生保特別勘定	7%
その他	21%
合計	100%

②長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企業年金制度の割引率	1.4%
退職一時金制度の割引率	1.1%
長期期待運用収益率	2.35%

３．確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、202百万円でした。

◇　税効果会計関係

１．　繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

前事業年度末 (2022年3月31日)	当事業年度末 (2023年3月31日)
１．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	１．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
繰延税金資産　百万円	繰延税金資産　百万円
賞与引当金　1,381	賞与引当金　1,138
退職給付引当金　990	退職給付引当金　911
関係会社株式評価減　1,010	関係会社株式評価減　1,010
未払事業税　285	未払事業税　227
投資有価証券評価減　110	投資有価証券評価減　11
減価償却超過額　272	減価償却超過額　331
時効後支払損引当金　182	時効後支払損引当金　184
関係会社株式売却損　505	関係会社株式売却損　505
ゴルフ会員権評価減　92	ゴルフ会員権評価減　78
資産除去債務　348	資産除去債務　348
未払社会保険料　114	未払社会保険料　85
その他　84	その他　44
繰延税金資産小計　5,376	繰延税金資産小計　4,878
評価性引当額　△1,795	評価性引当額　△1,696
繰延税金資産合計　3,581	繰延税金資産合計　3,181
繰延税金負債	繰延税金負債
資産除去債務に対応する除去費用　△233	資産除去債務に対応する除去費用　△171
関係会社株式評価益　△81	関係会社株式評価益　△84
その他有価証券評価差額金　△78	その他有価証券評価差額金　△102
前払年金費用　△402	前払年金費用　△481
繰延税金負債合計　△796	繰延税金負債合計　△840
繰延税金資産の純額　2,784	繰延税金資産の純額　2,340
２．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	２．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳
法定実効税率　31.0%	法定実効税率　31.0%
(調整)	(調整)
交際費等永久に損金に算入されない項目　0.0%	交際費等永久に損金に算入されない項目　0.3%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目　△2.9%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目　△6.4%
タックスヘイブン税制　1.8%	タックスヘイブン税制　2.1%
外国税額控除　△0.5%	外国税額控除　△0.6%
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税　0.4%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税　0.7%
その他　0.1%	その他　△0.8%
税効果会計適用後の法人税等の負担率　29.9%	税効果会計適用後の法人税等の負担率　26.3%

２．　法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場

合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号　2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

◇　資産除去債務関係

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

１．当該資産除去債務の概要

本社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

２．当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を当該不動産賃貸借契約期間とし、割引率は0.0%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

３．当該資産除去債務の総額の増減

（単位：百万円）

	前事業年度 自　2021年4月 1日 至　2022年3月31日	当事業年度 自　2022年4月 1日 至　2023年3月31日
期首残高	1,371	1,123
有形固定資産の取得に伴う増加	48	-
資産除去債務の履行による減少	△296	-
期末残高	1,123	1,123

◇　収益認識に関する注記

１．顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度　（自 2021年4月１日　至 2022年3月31日）

区分	前事業年度 （自　2021年4月 1日 至　2022年3月31日）
委託者報酬	115,670百万円
運用受託報酬	16,675百万円
成功報酬（注）	1,058百万円
その他営業収益	530百万円
合計	133,935百万円

（注）成功報酬は、損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

当事業年度　（自 2022年4月１日　至 2023年3月31日）

区分	当事業年度 （自　2022年4月 1日 至　2023年3月31日）
委託者報酬	113,491百万円
運用受託報酬	17,245百万円
成功報酬（注）	952百万円
その他営業収益	331百万円
合計	132,021百万円

（注）成功報酬は、損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

２．顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

[重要な会計方針] 7．収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

３．顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

◇　セグメント情報等

前事業年度(自　2021年4月１日　至　2022年3月31日)

１．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

２．関連情報

（１）製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

（２）地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

当事業年度(自　2022年4月１日　至　2023年3月31日)

１．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

２．関連情報

（１）製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

（２）地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

◇　関連当事者情報

前事業年度(自　2021年4月１日　至　2022年3月31日)

１．関連当事者との取引

（ア）親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

（イ）子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	ノムラ・エーエム・ファイナンス・インク	ケイマン	2,500(米ドル)	資金管理	直接100%	資産の賃貸借	資金の貸付	3,427	短期貸付金	1,835
							資金の返済	1,709		
							貸付金利息	9	未収利息	4

（ウ）兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社の子会社	野村證券株式会社	東京都中央区	10,000(百万円)	証券業	－	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払（*1）	29,119	未払手数料	6,013

（エ）役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) １．上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。
２．取引条件及び取引条件の決定方針等
(*１)　投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

２．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（１）親会社情報

野村ホールディングス㈱（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

（２）重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

当事業年度(自　2022年4月１日　至　2023年3月31日)

１．関連当事者との取引

（ア）親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

（イ）子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	ノムラ・エーエム・ファイナンス・インク	ケイマン	2,500(米ドル)	資金管理	直接100%	資産の賃貸借	資金の貸付	5,736	短期貸付金	1,001
							資金の返済	6,489		
							貸付金利息	44	未収利息	11

（ウ）兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社の子会社	野村證券株式会社	東京都中央区	10,000(百万円)	証券業	―	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払（*1）	27,180	未払手数料	5,773

（エ）役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) １．上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。
２．取引条件及び取引条件の決定方針等
(*１)　投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

２．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（１）親会社情報

野村ホールディングス㈱（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

（２）重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

◇　１株当たり情報

前事業年度 （自　2021年4月1日 至　2022年3月31日）	当事業年度 （自　2022年4月1日 至　2023年3月31日）
１株当たり純資産額　16,775円81銭 １株当たり当期純利益　4,835円10銭	１株当たり純資産額　17,016円74銭 １株当たり当期純利益　5,060円34銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 １株当たり当期純利益の算定上の基礎 損益計算書上の当期純利益　24,904百万円 普通株式に係る当期純利益　24,904百万円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。 普通株式の期中平均株式数　5,150,693株	潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 １株当たり当期純利益の算定上の基礎 損益計算書上の当期純利益　26,064百万円 普通株式に係る当期純利益　26,064百万円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。 普通株式の期中平均株式数　5,150,693株

中間財務諸表

◇　中間貸借対照表

		2023年9月30日現在
区分	注記番号	金額(百万円)
（資産の部）		
流動資産		
現金・預金		7,755
金銭の信託		42,741
未収委託者報酬		28,981
未収運用受託報酬		5,565
短期貸付金		747
その他		1,398
貸倒引当金		△17
流動資産計		87,173
固定資産		
有形固定資産	※１	1,140
無形固定資産		5,519
ソフトウェア		5,518
その他		0
投資その他の資産		16,784
投資有価証券		1,862
関係会社株式		10,025
長期差入保証金		519
前払年金費用		1,721
繰延税金資産		1,761
その他		893
固定資産計		23,444
資産合計		110,617

		2023年9月30日現在
区分	注記番号	金額(百万円)
（負債の部）		
流動負債		
短期借入金		29,900
未払金		12,829
未払収益分配金		1
未払償還金		40
未払手数料		9,305

関係会社未払金		2,395
その他未払金	※２	1,085
未払費用		10,122
未払法人税等		2,521
賞与引当金		1,993
その他		201
流動負債計		57,568
固定負債		
退職給付引当金		2,855
時効後支払損引当金		601
資産除去債務		1,123
固定負債計		4,579
負債合計		62,148
(純資産の部)		
株主資本		48,142
資本金		17,180
資本剰余金		13,729
資本準備金		11,729
その他資本剰余金		2,000
利益剰余金		17,232
利益準備金		685
その他利益剰余金		16,547
繰越利益剰余金		16,547
評価・換算差額等		325
その他有価証券評価差額金		325
純資産合計		48,468
負債・純資産合計		110,617

◇　中間損益計算書

		自　2023年4月 1日 至　2023年9月30日
区分	注記番号	金額(百万円)
営業収益		
委託者報酬		59,892
運用受託報酬		10,062
その他営業収益		156
営業収益計		70,111
営業費用		
支払手数料		20,743
調査費		15,670
その他営業費用		2,845
営業費用計		39,259
一般管理費	※１	15,475
営業利益		15,376
営業外収益	※２	7,161
営業外費用	※３	715
経常利益		21,822

特別利益	※４	11
特別損失	※５	10
税引前中間純利益		21,823
法人税、住民税及び事業税		4,781
法人税等調整額		536
中間純利益		16,505

◇　中間株主資本等変動計算書
当中間会計期間(自　2023年4月1日　至　2023年9月30日)

（単位：百万円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	31,217	56,509	87,419
当中間期変動額									
剰余金の配当							△55,782	△55,782	△55,782
中間純利益							16,505	16,505	16,505
別途積立金の取崩						△24,606	24,606	－	－
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）									
当中間期変動額合計	－	－	－	－	－	△24,606	△14,669	△39,276	△39,276
当中間期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	－	16,547	17,232	48,142

（単位：百万円）

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	229	229	87,648
当中間期変動額			
剰余金の配当			△55,782
中間純利益			16,505
別途積立金の取崩			－

株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	96	96	96
当中間期変動額合計	96	96	△39,179
当中間期末残高	325	325	48,468

[重要な会計方針]

1．有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 … 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの … 時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定） 市場価格のない株式等 … 移動平均法による原価法
2．金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3．デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	時価法
4．外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5．固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。 主な耐用年数は以下の通りであります。 建物 6年 附属設備 6～15年 器具備品 4～15年 (2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(５年)に基づく定額法によっております。
6．引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額に基づき当中間会計期間に見合う分を計上しております。

	(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。 ① 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 ② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。 (4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。
7．収益及び費用の計上基準	当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。 ① 委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年４回、もしくは年２回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。 ② 運用受託報酬 運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧問口座によって主に年４回、もしくは年２回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。 ③ 成功報酬 成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。

[注記事項]

◇ 中間貸借対照表関係

2023年9月30日現在
※１ 有形固定資産の減価償却累計額 1,754百万円 ※２ 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他未払金」に含めて表示しております。

◇　中間損益計算書関係

自　2023年4月 1日
至　2023年9月30日

※１　減価償却実施額

有形固定資産	196百万円
無形固定資産	958百万円

※２　営業外収益のうち主要なもの

受取配当金	6,692百万円

※３　営業外費用のうち主要なもの

金銭の信託運用損	627百万円

※４　特別利益の内訳

株式報酬受入益	11百万円

※５　特別損失の内訳

固定資産除却損	10百万円

◇　中間株主資本等変動計算書関係

自　2023年4月 1日
至　2023年9月30日

１　発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末
普通株式	5,150,693株	－	－	5,150,693株

２　配当に関する事項

配当金支払額

2023年5月23日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(1) 配当金の総額	55,782百万円
(2) 1株当たり配当額	10,830円
(3) 基準日	2023年3月31日
(4) 効力発生日	2023年6月30日

◇　金融商品関係

１．金融商品の時価等に関する事項

2023年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	42,741	42,741	-
資産計	42,741	42,741	-
(2)その他（デリバティブ取引）	60	60	-
負債計	60	60	-

(注1)　現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、短期貸付金、短期借入金、未払金、未払費用、未払法人税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2)　投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の中間貸借対照表計上額は以下のとおりでありま

す。

	中間貸借対照表計上額 （百万円）
市場価格のない株式等（※）	10,266
組合出資金等	1,621
合計	11,888

（※）市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

２．金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。
レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価
レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価
レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価
時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

区分	中間貸借対照表計上額　（単位：百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）	-	42,741	-	42,741
資産計	-	42,741	-	42,741
デリバティブ取引（通貨関連）	-	60	-	60
負債計	-	60	-	60

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭の信託
信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。
信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。構成物のレベルに基づき、レベル２の時価に分類しております。

デリバティブ取引
時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出しており、レベル２の時価に分類しております。

◇　有価証券関係

当中間会計期間末　（2023年9月30日）

１．売買目的有価証券(2023年9月30日)

該当事項はありません。

２．満期保有目的の債券(2023年9月30日)

該当事項はありません。

３．子会社株式及び関連会社株式(2023年9月30日)

市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額

区分	中間貸借対照表 計上額（百万円）
子会社株式	9,919
関連会社株式	106

４．その他有価証券(2023年9月30日)

該当事項はありません。

◇　デリバティブ取引関係

１．ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

（1）通貨関連

当中間会計期間　（2023年9月30日）

区分	取引の種類	契約額等 （百万円）	契約額等のうち一年超 （百万円）	時価 （百万円）	評価損益 （百万円）
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	684	-	△60	△60

◇資産除去債務関係

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

当該資産除去債務の総額の増減　　（単位：百万円）

	自　2023年4月 1日 至　2023年9月30日
期首残高	1,123
有形固定資産の取得に伴う増加	-
時の経過による調整額	-
中間期末残高	1,123

◇　収益認識に関する注記

１．顧客との契約から生じる収益を分解した情報

区分	当中間会計期間 （自2023年4月 1日 至2023年9月30日）
委託者報酬	59,884百万円
運用受託報酬	9,422百万円
成功報酬（注）	646百万円
その他営業収益	156百万円
合計	70,111百万円

（注）成功報酬は、中間損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

２．顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

[重要な会計方針] 7．収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

３．顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

◇　セグメント情報等

当中間会計期間(自　2023年4月1日　至　2023年9月30日)

１．セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

２．関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

① 営業収益

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先が識別されていないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

◇　１株当たり情報

自　2023年4月 1日 至　2023年9月30日	
１株当たり純資産額	9,410円05銭
１株当たり中間純利益	3,204円61銭

(注) １.潜在株式調整後１株当たり中間純利益につきましては、潜在株式がないため、記載しておりません。

２.１株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

中間純利益	16,505百万円
普通株主に帰属しない金額	―
普通株式に係る中間純利益	16,505百万円
期中平均株式数	5,150千株

４【利害関係人との取引制限】

委託者は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

①自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)。

②運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)。

③通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託者の親法人等(委

託者の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下④⑤において同じ。)又は子法人等(委託者が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引又は店頭デリバティブ取引を行うこと。

④委託者の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

⑤上記③④に掲げるもののほか、委託者の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

5【その他】

(1)定款の変更

委託者の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

(2)訴訟事件その他の重要事項

委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託者

(a)名称	(b)資本金の額*	(c)事業の内容
野村信託銀行株式会社	50,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

＊　2024年3月末現在

(2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額*	(c)事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	19,495百万円	

＊　2024年3月末現在

2【関係業務の概要】

(1) 受託者

ファンドの受託会社（受託者）として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行ないます。

(2) 販売会社

ファンドの取扱販売会社として、募集の取扱いを行ない、信託契約の一部解約に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行ないます。

3【資本関係】

(2023年9月末現在の持株比率5.0%以上を記載します。)

(1) 受託者

該当事項はありません。

(2) 販売会社

該当事項はありません。

第3【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が提出されております。

提出年月日	提出書類
2023年11月30日	臨時報告書
2023年12月15日	有価証券届出書
2023年12月15日	有価証券報告書
2024年 3月 1日	臨時報告書

独立監査人の監査報告書

２０２３年6月9日

野村アセットマネジメント株式会社
取　締　役　会　　御　中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　水　永　　真太郎

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の２０２２年４月１日から２０２３年３月３１日までの第６４期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の２０２３年３月３１日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用

することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）　１．上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
２．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型の２０２３年9月２１日から２０２４年3月２１日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）毎月分配型の２０２４年3月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年2回決算型の２０２３年９月２１日から２０２４年３月２１日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（円コース）年2回決算型の２０２４年３月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型の２０２３年９月２１日から２０２４年３月２１日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）毎月分配型の２０２４年３月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年2回決算型の２０２３年９月２１日から２０２４年３月２１日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（米ドルコース）年2回決算型の２０２４年３月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型の２０２３年９月２１日から２０２４年３月２１日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）毎月分配型の２０２４年３月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年2回決算型の２０２３年９月２１日から２０２４年３月２１日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（豪ドルコース）年2回決算型の２０２４年３月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型の２０２３年9月２１日から２０２４年3月２１日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）毎月分配型の２０２４年3月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年2回決算型の２０２３年９月２１日から２０２４年３月２１日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（ブラジルレアルコース）年2回決算型の２０２４年３月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型の２０２３年9月２１日から２０２４年3月２１日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型の２０２４年3月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

２０２４年5月２８日

野村アセットマネジメント株式会社
取 締 役 会　御　　中

EY新日本有限責任監査法人
東　京　事　務　所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年2回決算型の２０２３年９月２１日から２０２４年３月２１日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年2回決算型の２０２４年３月２１日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・　不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
・　財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
・　経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
・　経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
・　財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

（注）1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

２０２３年１１月２４日

野村アセットマネジメント株式会社
取　締　役　会　　御　中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　湯　原　　尚

指定有限責任社員
業務執行社員　　公認会計士　　水　永　真太郎

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第１９３条の２第１項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の２０２３年４月１日から２０２４年３月３１日までの第６５期事業年度の中間会計期間（２０２３年４月１日から２０２３年９月３０日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の２０２３年９月３０日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（２０２３年４月１日から２０２３年９月３０日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を

開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。

・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　　上

(注)　1．上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2．XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。